

令和3年度
宮崎県循環型社会推進計画進行管理事業に係る
実態調査報告書
(令和2年度実績)

令和4年3月

株式会社 グリーンエコ

目 次

第1章 調査の概要	1
第1節 調査の目的	1
第2節 調査に関する基本的事項	1
1. 調査対象期間	1
2. 調査対象廃棄物	1
3. 調査対象業種	2
4. 調査対象区域	4
5. 発生・排出及び処理・処分状況	6
第3節 調査の方法	8
1. 調査方法の概要	8
2. 標本調査について	9
第4節 調査結果の利用上の留意事項	11
1. 産業廃棄物の種類の区分について	11
2. 委託中間処理後の残さ量について	11
3. 建設業の地域別発生量について	11
4. 単位と数値に関する処理	11
第5節 標本抽出・回収結果	12
第2章 産業廃棄物の現状	14
第1節 家畜ふん尿を除く調査結果の概要	14
第2節 発生・排出状況（家畜ふん尿を除く）	15
1. 種類別の発生・排出状況	15
2. 業種別の発生・排出状況	16
3. 地域別の発生・排出状況（農業を除く）	17
第3節 処理・処分状況（家畜ふん尿を除く）	18
1. 処理・処分状況の概要	18
2. 自己中間処理状況	20
3. 委託処理状況	21
4. 資源化、再生利用状況	22
5. 最終処分状況	24
第4節 家畜ふん尿を含む調査結果（農業を含む）	25
1. 種類別の発生・排出状況	25
2. 業種別の発生・排出状況	26

第5節	業種別の発生・排出及び処理・処分状況(排出量が1万トン以上の業種)	27
1.	農業(家畜ふん尿を除く)	27
2.	建設業	28
3.	製造業	29
4.	電気・水道業	30
5.	卸・小売業	31
第6節	特別管理産業廃棄物	32
1.	発生・排出状況	32
2.	処理・処分状況	34
第7節	産業廃棄物の移動状況(第1次産業を除く)	36
1.	搬出量の移動状況	36
2.	委託処理量の移動状況	37
3.	広域の移動状況(県外からの搬入)	39
第3章	産業廃棄物の推移と目標の達成状況	42
第1節	計画の現況値(平成25年度)との比較	42
1.	排出状況の比較(家畜ふん尿を除く)	42
2.	処理・処分状況の比較(家畜ふん尿を除く)	43
第2節	目標の達成状況	44
1.	家畜ふん尿を除く目標値に対する評価	44
2.	家畜ふん尿を含む目標値に対する評価	46
3.	目標達成率と評価及び今後の対応	48

統計表

第1章 調査の概要

第1節 調査の目的

本調査は、令和2年度の宮崎県内における産業廃棄物の発生、処理状況等の実態を把握するとともに、平成28年3月に策定した「宮崎県環境計画（改定計画）」の産業廃棄物に係る目標（令和2年度）の進捗状況を評価・検討することを目的とする。

第2節 調査に関する基本的事項

1. 調査対象期間

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの1年間

2. 調査対象廃棄物

調査対象廃棄物は、廃棄物処理法及び同法施行令に規定する産業廃棄物（特別管理産業廃棄物を含む）とし、表1-2-1に示す分類に区分した。なお、これらのうち、汚泥、廃油、廃プラスチック類、がれき類については、廃棄物の性状に応じて細区分し、分類が困難な廃棄物（感染性産業廃棄物、建設混合廃棄物、シュレッダーダスト等）については、「その他産業廃棄物」として捉えた。

表1-2-1 調査対象廃棄物（その1）

産業廃棄物の分類	（ ）内は、細区分。
①燃え殻 ②汚泥（有機性汚泥、無機性汚泥） ③廃油（一般廃油、廃溶剤、固形油、油でい、油付着物類） ④廃酸 ⑤廃アルカリ ⑥廃プラスチック類（廃プラスチック、廃タイヤ） ⑦紙くず ⑧木くず ⑨繊維くず ⑩動植物性残さ ⑪動物系固形不要物 ⑫ゴムくず ⑬金属くず ⑭ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず [注：本報告書では「ガラス・コンクリート・陶磁器くず」と略した] ⑮鉱さい ⑯がれき類（コンクリート片、廃アスファルト、その他） ⑰ばいじん ⑱家畜ふん尿 ⑲家畜の死体 ⑳産業廃棄物を処分するために処理したもの [注：本報告書では「13号廃棄物」と略した]	
※上記の種類に分類できない廃棄物等は「その他産業廃棄物」とした。	

表 1-2-1 調査対象廃棄物（その2）

特別管理産業廃棄物の分類
①廃油（揮発油類、灯油類、軽油類）
②廃酸（pHが2.0以下の廃酸）
③廃アルカリ（pHが12.5以上の廃アルカリ）
④感染性廃棄物
⑤廃石綿等
⑥特定有害廃棄物（廃石綿等を除く）

また、調査に当たって、有償物・副産物、発生時の廃棄物の種類等については、下記に示す取り扱いをした。

- (1) 法令上は廃棄物とされていないもの、いわゆる有償物（事業場内等で生じたものであって、中間処理されることなく、他者に有償で売却したもの及び他者に有償で売却できるものを自己利用したもの）については、今後の社会情勢等の変化によっては産業廃棄物となる可能性があるため、調査対象とした。
- (2) 紙くず、木くず（木製パレット、パレットへの貨物の積付けのために使用したこん包の木材を除く）、繊維くず、動植物性残さ、動物系固形不要物は、廃棄物処理法で産業廃棄物となる業種（動物系固形不要物は、と畜場及び食鳥処理場に限り）が指定されており、指定された業種以外で生じた上記廃棄物については、事業系一般廃棄物となるため、原則として調査対象から除外した。
- (3) 下水道または公共用水域へ直接放流することを目的として事業場内で、酸性またはアルカリ性を呈する廃水を中和処理（一般の廃水処理）している場合は、中和処理後に生じた沈でん物（汚泥）を発生時の産業廃棄物として捉え、中和処理前の酸性またはアルカリ性廃水は、調査対象から除外した。
- (4) 事業場内で産業廃棄物を焼却処理した後に生じる燃え殻、ばいじんについては、焼却処理前の産業廃棄物の種類（発生時の種類）で捉えた。

3. 調査対象業種

調査対象業種は、「日本標準産業分類（総務省）」の業種区分を基本とし、表1-2-2に示す業種を調査対象とした。

また、調査対象業種の名称については、本報告書では略称で統一し表記した。

なお、統計表については、巻末の統計資料に示すとおりである。

表1-2-2 調査対象業種

業種名	略称
農林業	農林業
農業	農業
林業	林業
漁業	漁業
鉱業、採石業、砂利採取業	鉱業
建設業	建設業
製造業	製造業
食料品製造業	食料品
飲料・たばこ・飼料製造業	飲料・飼料
繊維工業	繊維
木材・木製品製造業(家具を除く)	木材・木製品
家具・装備品製造業	家具・装備品
パルプ・紙・紙加工品製造業	パルプ・紙
印刷・同関連業	印刷
化学工業	化学
石油製品・石炭製品製造業	石油・石炭
プラスチック製品製造業	プラスチック
ゴム製品製造業	ゴム
なめし革・同製品・毛皮製造業	皮革
窯業・土石製品製造業	窯業・土石
鉄鋼業	鉄鋼
非鉄金属製造業	非鉄金属
金属製品製造業	金属
はん用機械器具製造業	はん用機器
生産用機械器具製造業	生産用機器
業務用機械器具製造業	業務用機器
電子部品・デバイス・電子回路製造業	電子部品等
電気機械器具製造業	電気機器
情報通信機械器具製造業	情報通信機器
輸送用機械器具製造業	輸送機器
その他の製造業	その他
電気・ガス・熱供給・水道業	電気・水道業
電気業	電気業
ガス業	ガス業
熱供給業	熱供給業
上水道業	上水道業
下水道業	下水道業
情報通信業	情報通信業
運輸業、郵便業	運輸・郵便業
卸売業、小売業	卸・小売業
不動産業、物品賃貸業	不動産業、物品賃貸業
学術研究、専門・技術サービス業	学術研究、専門・技術サービス業
宿泊業、飲食サービス業	飲食・宿泊
生活関連サービス業、娯楽業	生活関連・娯楽
教育、学習支援業	教育・学習支援
医療、福祉	医療、福祉
複合サービス事業	複合サービス事業
サービス業(他に分類されないもの)	サービス
公務	公務

4. 調査対象区域

調査対象区域は、宮崎県全域とした。なお、本調査では産業廃棄物の発生等の地域特性を把握するため、県内を表1-2-3に示す6地域に区分した。

表1-2-3 調査対象地域区分表

地 域 名	市 町 村 名
宮崎県北部地域	延岡市、日向市 東臼杵郡（門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村） 西臼杵郡（高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町）
西都・児湯地域	西都市 児湯郡（高鍋町、新富町、西米良村、木城町、川南町、都農町）
宮崎・東諸県地域	宮崎市 東諸県郡（国富町、綾町）
日南・串間地域	日南市、串間市
都城・北諸県地域	都城市 北諸県郡（三股町）
西諸県地域	小林市、えびの市 西諸県郡（高原町）

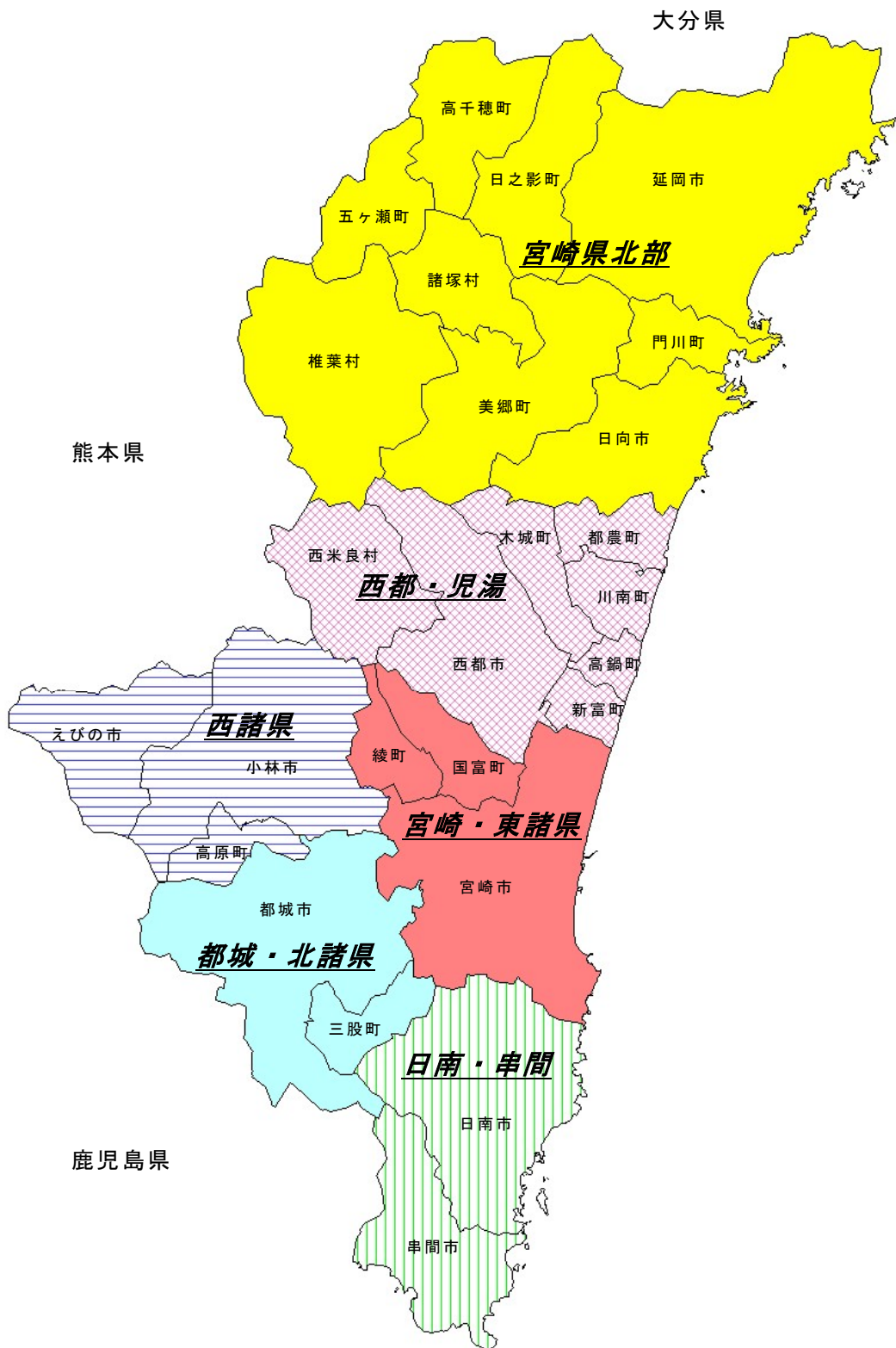


図1-2-1 調査対象地域区分

5. 発生・排出及び処理・処分状況

調査の集計・推計結果は、図1-2-2に示す発生・排出及び処理・処分状況の流れ図にとりまとめた。

なお、この流れ図に用いた各項目の定義については、表1-2-4に示すとおりである。

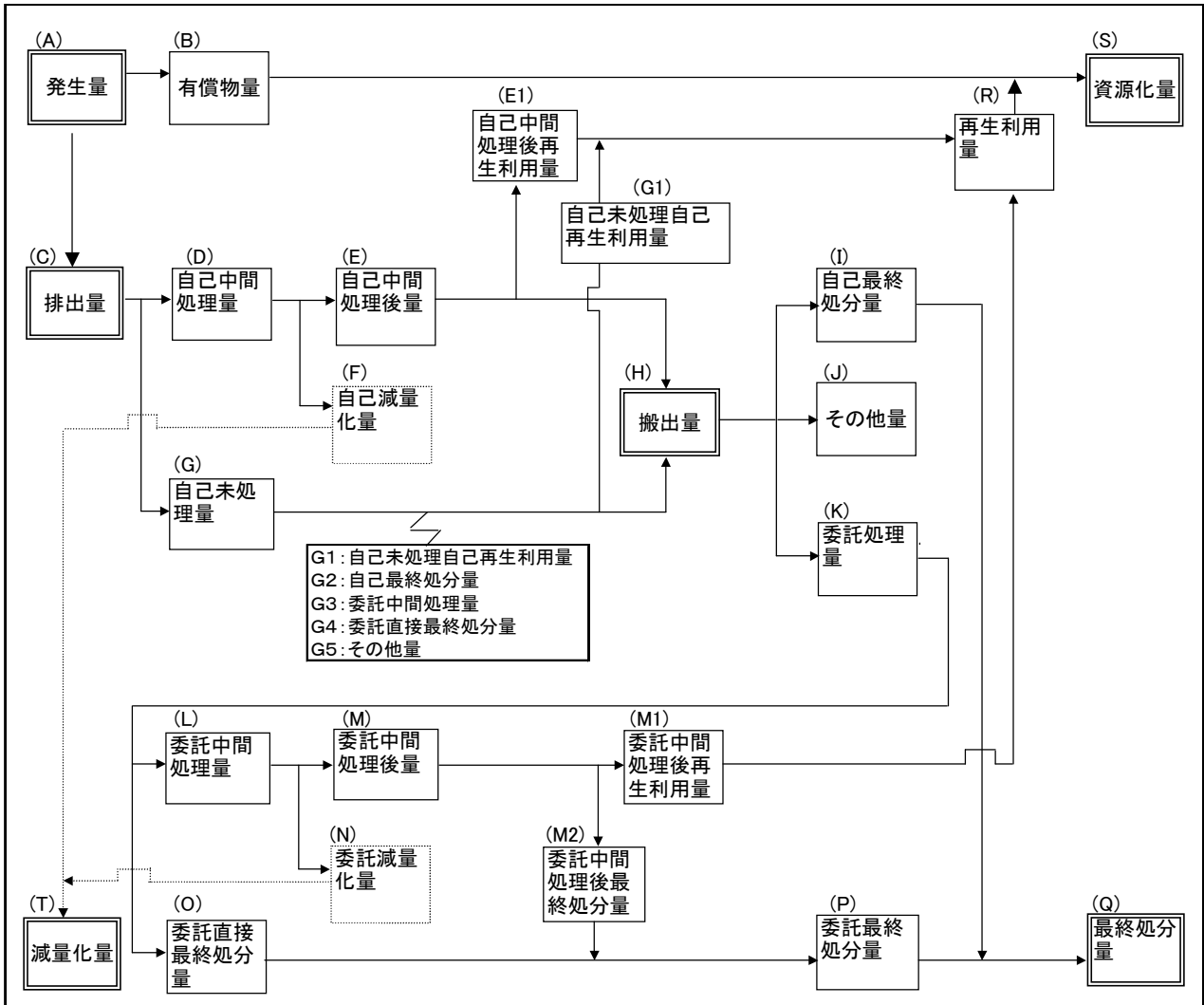


図1-2-2 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図

表1-2-4 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図に関する用語の定義

項 目	定 義
(A) 発生量	事業場内等で生じた産業廃棄物量及び有償物量
(B) 有償物量	発生量のうち、中間処理されることなく、他者に有償で売却した量（他者に有償で売却できるものを自己利用した場合を含む）
(C) 排出量	発生量のうち、有償物量を除いた量
(D) 自己中間処理量	排出量のうち、排出事業者自らが中間処理した廃棄物量で処理前の量
(G) 自己未処理量	排出量のうち、自己中間処理されなかった量
(G1) 自己未処理自己再生利用量	自己未処理量のうち、他者に有償売却できないものを自ら利用した量
(G2) 自己未処理自己最終処分量	自己最終処分量のうち、自己未処理で自己最終処分した量
(G3) 自己未処理委託中間処理量	委託中間処理量のうち、自己未処理で委託中間処理した量
(G4) 自己未処理委託直接最終処分量	委託直接最終処分量のうち、自己未処理で委託直接最終処分された量
(G5) 自己未処理その他量	その他量のうち、自己未処理のその他量
(E) 自己中間処理後量	自己で中間処理した後の廃棄物量
(E1) 自己中間処理後再生利用量	自己中間処理後量のうち、自ら利用し、または他者に有償で売却した量
(F) 自己減量化量	自己中間処理量から自己中間処理後量を差し引いた量
(H) 搬出量	自己最終処分量、その他量及び委託処理量の合計
(I) 自己最終処分量	自己の埋立地に処分した量
(J) その他量	事業場内等に保管されている量等
(K) 委託処理量	中間処理及び最終処分を他者に委託した量
(L) 委託中間処理量	委託処理量のうち、処理業者等で中間処理された量
(M) 委託中間処理後量	委託中間処理された後の廃棄物量
(M1) 委託中間処理後再生利用量	委託中間処理後量のうち、処理業者等で自ら利用しまたは他者に有償で売却した量
(M2) 委託中間処理後最終処分量	委託中間処理後量のうち、最終処分された量
(N) 委託減量化量	委託中間処理量から委託中間処理後量を差し引いた量
(O) 委託直接最終処分量	委託処理量のうち、処理業者等で中間処理されることなく最終処分された量
(P) 委託最終処分量	処理業者等で最終処分された量
(Q) 最終処分量	排出事業者と処理業者等の最終処分量の合計
(R) 再生利用量	排出事業者または処理業者等で再生利用された量
(S) 資源化量	有償物量と再生利用量の合計
(T) 減量化量	排出事業者または処理業者等の中間処理により減量された量

第1章 調査の概要

第3節 調査の方法

1. 調査方法の概要

本調査は、郵送によるアンケート調査と県保有の既存資料に基づく資料調査等をベースとしており、アンケート調査によって得られた産業廃棄物の発生及び処理状況に関する内容（集計値）と産業廃棄物の発生量に関連した指標（活動量指標：従業者数、製造品出荷額等）を基に、県内における産業廃棄物の発生量等の推計を行うものである。

なお、調査にあたっては、発生事業場（業種）の特性等を勘案し、表1-3-1に示す調査方法を基本とした。

表1-3-1 調査方法の概要

業種	調査方法			備 考
	全数調査	標本調査	資料調査	
農業			○	家畜ふん尿、家畜の死体、農業用廃プラスチック類を調査対象廃棄物とし、既存資料を用いて調査する。
林業		○		
漁業		○		
鉱業		○		
建設業		○		
製造業		○		
電気・水道業	○			関係部局の名簿等を基に、火力発電所、ガス製造所、浄水場、下水処理場を全数抽出し、すべての施設より回答を得ることを原則とする。 このため、活動量指標を用いた原単位による推計は行わず、アンケートで集計した発生量及び処理状況の実績量をそのまま用いる。
情報通信業		○		
運輸業		○		
卸・小売業		○		
飲食店、 宿泊業		○		
医療、福祉		○		
学習支援業		○		
複合サービス 事業		○		
サービス業		○		
公務	○			自衛隊

注1) 全数調査とは、産業廃棄物の発生量及び処理状況の実態をより正確に把握するため、特定の業種あるいは事業所等を調査対象として全数を抽出・回収し、その発生量及び処理状況の実績量を把握する方法。

注2) 標本調査とは、標本調査対象業種に分類される事業所から一部の調査事業所を抽出し、抽出された排出事業所からのアンケート調査に基づいて産業廃棄物の実態を把握する方法。

注3) 資料調査とは、関係部局等が調査した発生原単位等の資料を用いて発生量等の実績量を把握する方法。

2. 標本調査について

(1) 標本抽出方法

標本（概ね1,100件）の抽出に当たっては、産業廃棄物関連データ（令和2年度実績：多量排出事業者の産業廃棄物処理計画実施状況報告書、産業廃棄物管理票交付等状況報告書）をもとに、業種別、種類別に産業廃棄物の排出量の多い事業所（寄与率が高い）を選定し、「令和2年度宮崎県循環型社会推進計画進行管理事業に係る実態調査報告書」の抽出事業所（1,125件）との精査（種類別上位排出量の漏れ、業種別事業所数のバランス等）を行った上で、総務省統計局の事業所母集団情報（令和元年次フレーム）から該当事業所を有意に抽出した。

(2) アンケート調査項目

調査票の項目や形式は、業種による産業廃棄物の発生及び処理・処分状況等の特性を考慮し、①建設業、②鉱業、製造業、電気・水道業、公務、③医療、福祉、④林業、漁業、情報通信業、卸・小売業、飲食・宿泊業、教育・学習支援業、複合サービス事業、サービス業、⑤運輸・郵便業、卸・小売業のうち自動車の整備を行う業種、⑥産業廃棄物処理業者の6種類とした。なお、排出事業者の事務処理軽減を目的として、電子マニフェストを採用し、提出している事業所に関しては、電子マニフェスト報告分以外の記載で済むよう、電子マニフェスト用調査票を別途作成。電子マニフェストでは把握できない項目（活動量指標、有償物量、自己処理量等）のみ記載する電子マニフェスト提出事業所用調査票（建設業用、建設業以外用）を2種用意した。

(3) 発生原単位の作成と調査対象全体の発生量の推計方法

1) 発生原単位の算出

発生原単位とは、活動量指標単位当たりの産業廃棄物発生量を示すものであり、アンケート調査等によって得られた標本の業種別、種類別の集計産業廃棄物量と業種別の集計活動量指標から、図1-3-1に示すA式によって算出する。

2) 調査対象全体の発生量の推計方法

1)で算出された発生原単位と、業種別の調査対象全体（最新年度の母集団）における調査当該年度の活動量指標を用いて、図1-3-1に示すB式によって調査対象全体の産業廃棄物の発生量を推計した。

①発生原単位の算出		
A式	$\alpha = W / O$	α : 産業廃棄物の発生原単位 W : 標本に基づく集計産業廃棄物発生量 O : 標本に基づく集計活動量指標
②調査対象全体の発生量の推計方法		
B式	$W' = \alpha \times O'$	W' : 調査当該年度の推計産業廃棄物発生量 O' : 調査当該年度の母集団の活動量指標

図1-3-1 発生原単位と発生量の推計方法

3) 活動量指標

母集団（県全体）の推計に用いた活動量指標は、次のとおりである。

表1-3-2 業種別の活動量指標

業種	活動量指標	出典
林業	従業者数	事業所母集団情報（総務省統計局）
漁業	従業者数	事業所母集団情報（総務省統計局）
鉱業	従業者数	事業所母集団情報（総務省統計局）
建設業	元請完成工事高	建設工事施工統計調査報告（国土交通省総合政策局）
製造業	製造品出荷額等	工業統計調査（経済産業省）
情報通信業	従業者数	事業所母集団情報（総務省統計局）
運輸・郵便業	従業者数	事業所母集団情報（総務省統計局）
卸・小売業	従業者数	事業所母集団情報（総務省統計局）
飲食・宿泊業	従業者数	事業所母集団情報（総務省統計局）
医療，福祉 （病院）	従業者数 （病床数）	事業所母集団情報（総務省統計局） （医療施設調査病院報告書：厚生労働省統計情報部）
教育・学習支援業	従業者数	事業所母集団情報（総務省統計局）
複合サービス事業	従業者数	事業所母集団情報（総務省統計局）
サービス業	従業者数	事業所母集団情報（総務省統計局）

第4節 調査結果の利用上の留意事項

本調査結果を利用する際の留意事項については、以下のとおりである。

1. 産業廃棄物の種類の区分について

本報告書では、産業廃棄物の種類を次に示す3段階で設定し、表記している。

1段階	発生時点の種類
2段階	排出事業場で中間処理され、変化した処理後の種類 例1；木くず→（焼却）→〔燃え殻〕 例2；廃酸 →（中和）→〔汚泥〕 注）1段階時点の種類と事業場の中間処理方法を用いて推定した。
3段階	委託中間処理により、変化した処理後の種類 注）2段階時点の種類と委託中間処理方法を用いて推定した。

なお、解析等の都合上、中間処理後も廃棄物の種類を変化させずに集計した場合（例：発生時の種類のまま；木くず→（焼却）→木くず）は、図表中に「種別：無変換」と表記した。

2. 委託中間処理後の残さ量について

委託中間処理後の残さ量は、アンケートの回答結果を用いることを原則とした。なお、残さ量の回答が無いものについては、産業廃棄物の種類ごとに、委託中間処理方法による残さ率から電算処理を行い算出した。

3. 建設業の地域別発生量について

建設業における地域別の産業廃棄物の発生量については、アンケートで得られた工事現場ごとの発生量の割合を基に、県全体の推計値を按分することにより算出した。

4. 単位と数値に関する処理

(1) 単位に関する表示

本報告書の調査結果表においては、すべて1年間の量であることを明らかにするため、図表の単位は「千 t/年」で表示しているが、文章中においては、原則として「千トン」で記述している。

(2) 報告書における数値の処理

本文に記載されている千トン表示及び構成比（％）の数値は、四捨五入の関係で合計と個々の数値の計とが一致しないものがある。

なお、本文の図表及び巻末統計表の空欄は、該当値がないものを示す。

第5節 標本抽出・回収結果

今回の調査では、産業廃棄物関連データ（令和元年度実績）をもとに、業種別、種類別に産業廃棄物の排出量の多い事業所を選定し、1,145件を総務省統計局の事業所母集団情報（令和元年次フレーム）から有意抽出（調査対象事業所12,326に対する抽出率9.3%）し、アンケート調査を実施した。

回収された調査票は、898件（回収率79.0%）で、このうち廃業・休業、及び建設業においては元請工事が無いなどの調査票を除いた有効調査票は、856件となっている。

回収された調査票等から集計された廃棄物量は1,616千トンとなっており、原単位法により推計された廃棄物量(2,208千トン)に対する捕捉率は73.2%である。

標本の抽出及び回収結果は、表1-5-1、表1-5-2に示すとおりである。

表1-5-1 標本抽出・回収結果

業種	区分	(A) 調査対象事業所数	(B) 抽出事業所数	(C) 抽出率 (B)÷(A)	(D) 回収事業所数	(E) 宛先不明等	(F) 回収率 (D)÷((B)-(E))	(G) 有効調査票数
合計		12,326	1,145	9.3%	898	9	79.0%	856
林業		134	3	2.2%	3	0	100.0%	3
漁業		137	7	5.1%	5	0	71.4%	5
鉱業		4	4	100.0%	1	0	25.0%	1
建設業		2,415	204	8.4%	161	3	80.1%	137
製造業		1,666	409	24.5%	294	5	72.8%	284
電気・水道業		45	45	100.0%	40	0	88.9%	39
情報通信業		147	17	11.6%	14	0	82.4%	14
運輸・郵便業		578	47	8.1%	37	0	78.7%	37
卸・小売業		3,175	63	2.0%	54	0	85.7%	48
不動産業、物品賃貸業		157	5	3.2%	4	0	80.0%	3
学術研究、専門・技術サービス業		304	12	3.9%	12	0	100.0%	12
飲食・宿泊		225	8	3.6%	6	0	75.0%	6
生活関連・娯楽		90	3	3.3%	2	0	66.7%	2
教育・学習支援		17	5	29.4%	4	0	80.0%	4
医療、福祉		2,705	74	2.7%	70	0	94.6%	70
複合サービス事業		130	6	4.6%	5	0	83.3%	5
サービス		394	230	58.4%	184	1	80.3%	184
公務		3	3	100.0%	2	0	66.7%	2

注) サービス業は、処理業者を含む。

表1-5-2 指標カバー率と捕捉率

業種	区分	(H)	(I)	(J)	(K)	(L)	(M)
		集計活動量指標	母集団の活動量 指標値	指標カバー率 (H)÷(I)	集計廃棄物量 <t>	推定廃棄物量 <t>	捕捉率 (K)/(L)
合計		-	-	-	1,616,380	2,208,183	73.2%
林業		145	2,097	6.9%	0	0	-
漁業		122	550	22.2%	26	183	14.5%
鉱業		18	82	21.9%	0	0	-
建設業		16,703	46,626	35.8%	316,924	669,923	47.3%
製造業		104,868	152,312	68.9%	707,074	880,252	80.3%
電気・水道業		-	-	-	582,147	582,147	100.0%
情報通信業		1,439	4,907	29.3%	129	218	59.3%
運輸・郵便業		3,056	13,909	22.0%	808	4,531	17.8%
卸・小売業		4,048	49,353	8.2%	3,085	49,767	6.2%
不動産業、物品賃貸業		150	2,163	6.9%	57	815	6.9%
学術研究、専門・技術サービス業		432	7,023	6.2%	51	585	8.7%
飲食・宿泊		870	3,936	22.1%	280	1,269	22.1%
生活関連・娯楽		215	2,463	8.7%	66	758	8.7%
教育・学習支援		1,265	2,585	48.9%	237	485	48.9%
医療、福祉		1,665	39,718	4.2%	3,224	8,881	36.3%
病院		11,238	18,585	60.5%			
複合サービス事業		901	3,303	27.3%	21	78	27.3%
サービス		383	3,032	12.6%	1,563	6,266	25.0%
公務		2,159	6,377	33.9%	686	2,025	33.9%

(活動量指標の内容)建設業:元請完成工事高(千万円) 製造業:製造品出荷額等(千万円)
医療、福祉のうち、病院:病床数(床)、その他の業種:従業者数(人)
※表中の数値は、四捨五入の関係で収支が合わない場合がある。

第2章 産業廃棄物の現状

令和2年度の宮崎県内における産業廃棄物の発生・排出及び処理・処分状況は、以下のとおりである。

第1節 家畜ふん尿を除く調査結果の概要

令和2年度の1年間に宮崎県で発生した産業廃棄物の発生量（家畜ふん尿を除く）は2,224千トンであり、有償物量の101千トン（発生量の4.5%）を除いた産業廃棄物の排出量は2,123千トン（95.5%）となっている。

排出量のうち、脱水や焼却など中間処理された量は2,006千トン（排出量の94.5%）、中間処理を経ず直接再生利用された量は11千トン（0.5%）、直接最終処分された量は106千トン（5.0%）等となっている。

排出量ベースで見ると、中間処理によって1,129千トン（排出量の53.2%）が減量化され、855千トン（40.3%）が再生利用されることで、結果的に30千トン（1.4%）が最終処分されている。

なお、事業場内での保管等のその他量は、未処理及び中間処理後を合わせて2千トンとなっている。

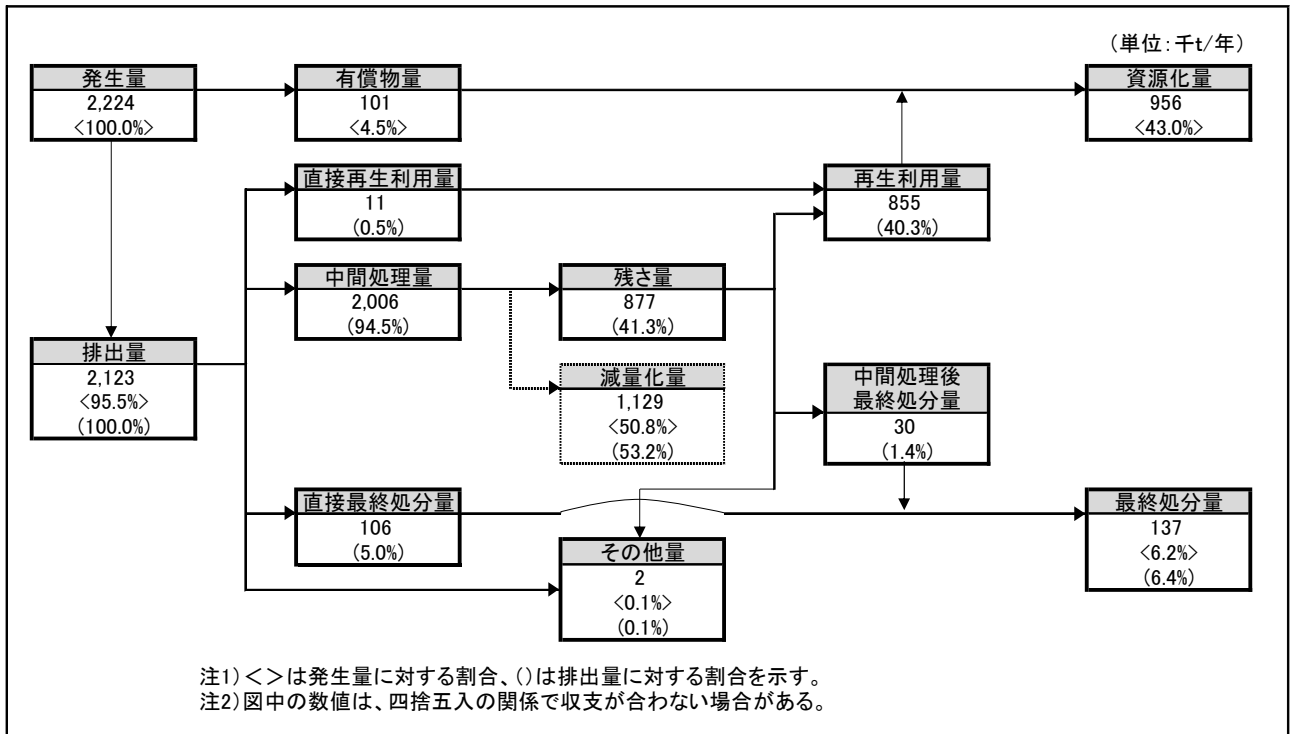


図2-1-1 発生・排出及び処理・処分の状況（家畜ふん尿を除く）

第2節 発生・排出状況（家畜ふん尿を除く）

1. 種類別の発生・排出状況

種類別の発生・排出状況は、図2-2-1～3に示すとおりである。

発生量(2,224千トン)を種類別にみると、汚泥が822千トン(発生量の37.0%)で最も多く、次いで、がれき類が568千トン(25.6%)、廃酸が243千トン(10.9%)、木くずが148千トン(6.7%)、廃プラスチック類が74千トン(3.3%)、ばいじんが60千トン(2.7%)等となっており、これら6種類で発生量の86.2%を占めている。

排出量(2,123千トン)を種類別にみると、汚泥が821千トン(排出量の38.7%)で最も多く、次いで、がれき類が568千トン(26.8%)、廃酸が237千トン(11.2%)、木くずが108千トン(5.1%)、廃プラスチック類が66千トン(3.1%)、ばいじんが60千トン(2.8%)等となっており、これら6種類で排出量の87.7%を占めている。

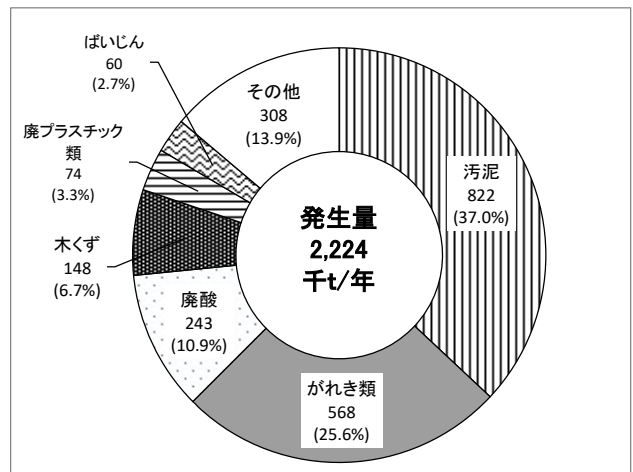


図2-2-1 種類別の発生量 (家畜ふん尿を除く)

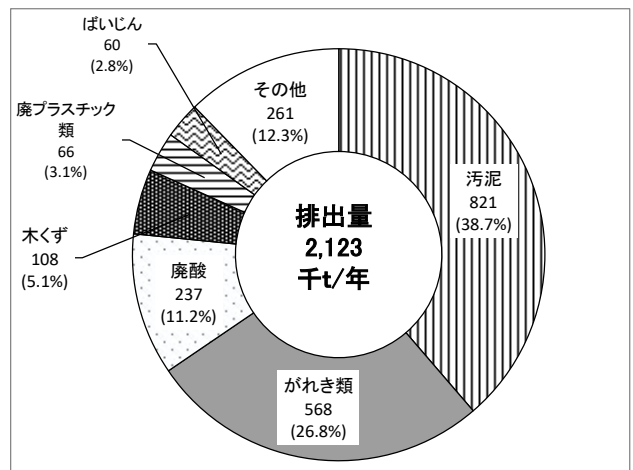


図2-2-2 種類別の排出量 (家畜ふん尿を除く)

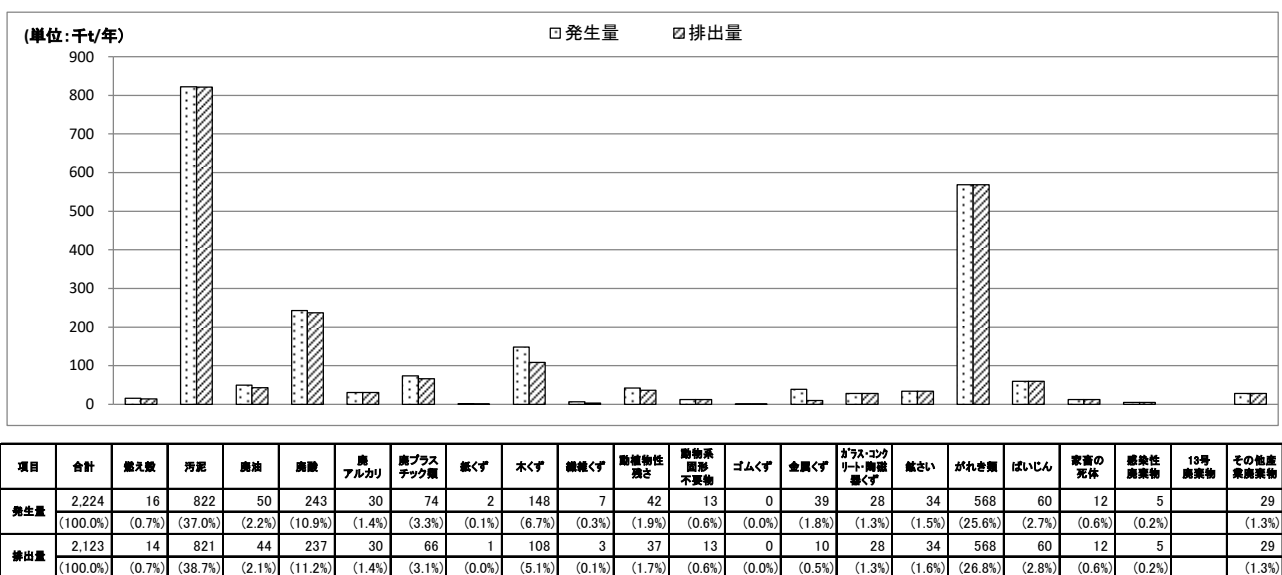


図2-2-3 種類別の発生量、排出量 (家畜ふん尿を除く)

第2章 産業廃棄物の現状

2. 業種別の発生・排出状況

業種別の発生・排出状況は、図2-2-4～6に示すとおりである。

発生量(2,224千トン)を業種別にみると製造業が880千トン(発生量の39.6%)で最も多く、次いで、建設業が670千トン(30.1%)、電気・水道業が582千トン(26.2%)等となっており、これら3業種で発生量の95.9%を占めている。

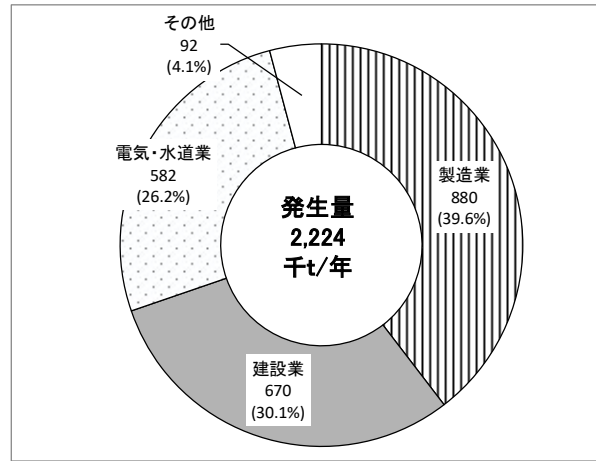


図2-2-4 業種別の発生量 (家畜ふん尿を除く)

排出量(2,123千トン)を業種別にみると、製造業が782千トン(排出量の36.8%)で最も多く、次いで、建設業が669千トン(31.5%)、電気・水道業が580千トン(27.3%)等となっており、これら3業種で排出量の95.6%を占めている。

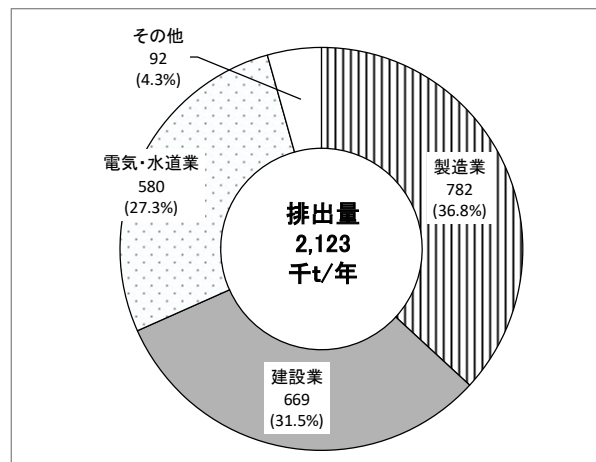
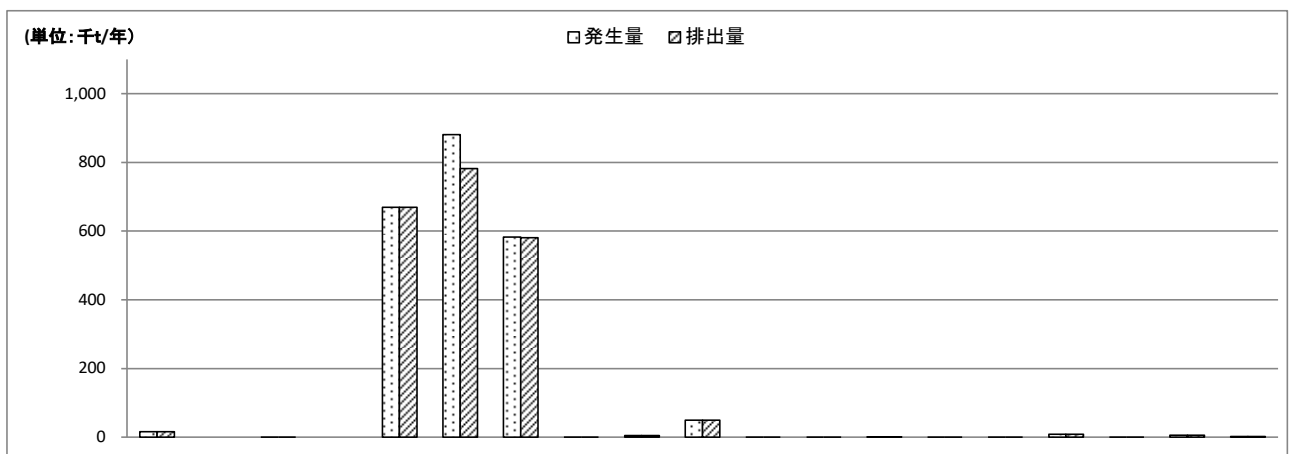


図2-2-5 業種別の排出量 (家畜ふん尿を除く)



項目	合計	業種別																		
		農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸・郵便業	卸・小売業	不動産業・物品賃貸業	学術研究・専門・技術サービス業	飲食・宿泊業	生活関連・娯楽業	教育・学習支援	医療・福祉	複合サービス事業	サービス	公務
発生量	2,224 (100.0%)	16 (0.7%)		0 (0.0%)		670 (30.1%)	880 (39.6%)	582 (26.2%)	0 (0.0%)	5 (0.2%)	50 (2.2%)	1 (0.0%)	1 (0.0%)	1 (0.1%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (0.4%)	0 (0.0%)	6 (0.3%)	2 (0.1%)
排出量	2,123 (100.0%)	16 (0.8%)		0 (0.0%)		669 (31.5%)	782 (36.8%)	580 (27.3%)	0 (0.0%)	4 (0.2%)	50 (2.3%)	1 (0.0%)	1 (0.0%)	1 (0.1%)	1 (0.0%)	0 (0.0%)	9 (0.4%)	0 (0.0%)	6 (0.3%)	2 (0.1%)

図2-2-6 業種別の発生量、排出量 (家畜ふん尿を除く)

3. 地域別の発生・排出状況（農業を除く）

地域別の発生・排出状況は、図2-2-7～9に示すとおりである。

発生量（2,224千トン）を地域別にみると、宮崎・東諸県が660千トン（発生量の29.7%）で最も多く、次いで宮崎県北部が573千トン（25.8%）、都城・北諸県が461千トン（20.7%）、西都・児湯が247千トン（11.1%）、日南・串間が161千トン（7.2%）、西諸県が122千トン（5.5%）となっている。

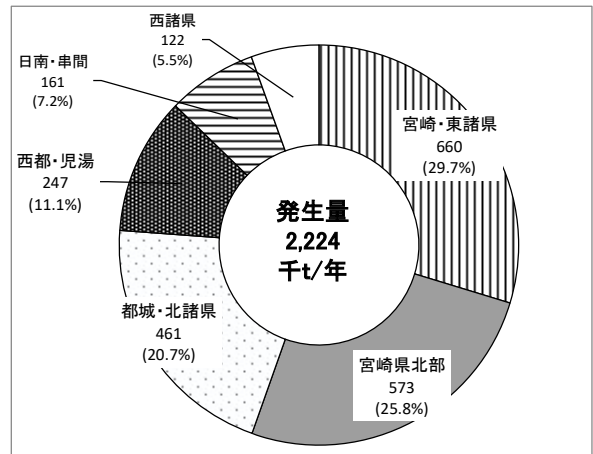


図2-2-7 地域別の発生量（農業を除く）

排出量（2,123千トン）を地域別にみると、宮崎・東諸県が652千トン（排出量の30.7%）で最も多く、次いで、宮崎県北部が552千トン（26.0%）、都城・北諸県が416千トン（19.6%）、西都・児湯が240千トン（11.3%）、日南・串間が147千トン（6.9%）、西諸県が117千トン（5.5%）となっている。

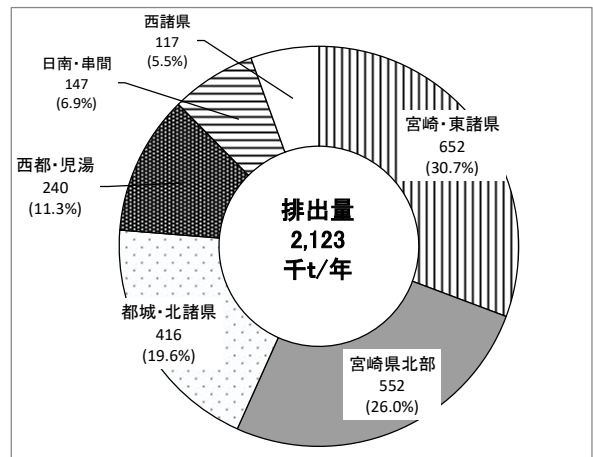


図2-2-8 地域別の排出量（農業を除く）

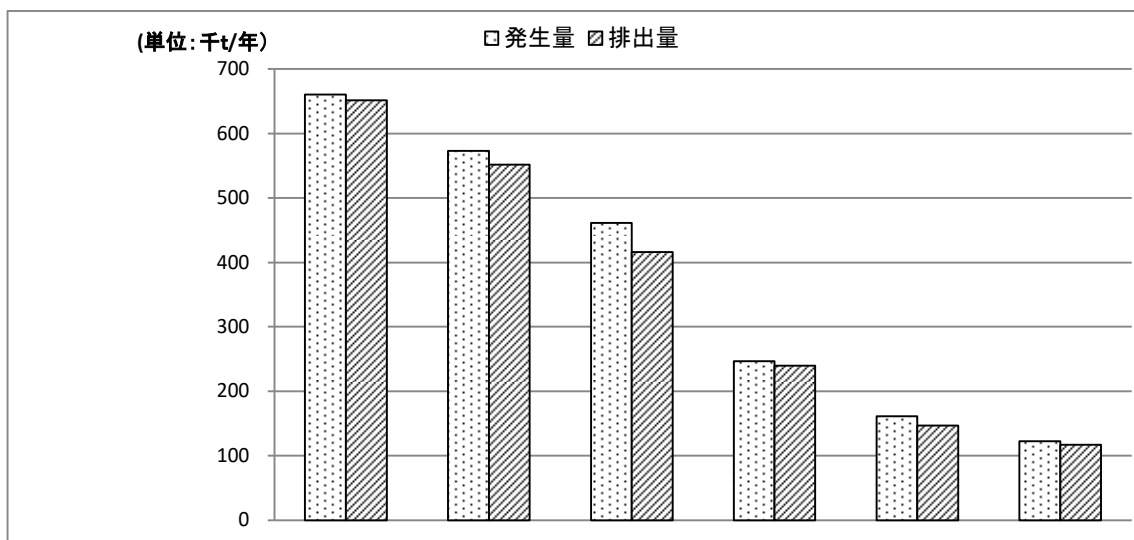


図2-2-9 地域別の発生量、排出量（農業を除く）

第3節 処理・処分状況（家畜ふん尿を除く）

1. 処理・処分状況の概要

産業廃棄物の発生・排出から処理・処分の流れは、図2-3-1に示すとおりである。令和2年度の処理・処分状況をみると、排出量2,123千トンのうち、再生利用量は855千トン（40.3%）、中間処理による減量化量は1,129千トン（53.2%）、最終処分量は137千トン（6.4%）、保管等のその他量は2千トン（0.1%）となっている。

排出量に対する再生利用量、減量化量、最終処分量の割合を種類別、業種別にみると、図2-3-2、3に示すとおりである。

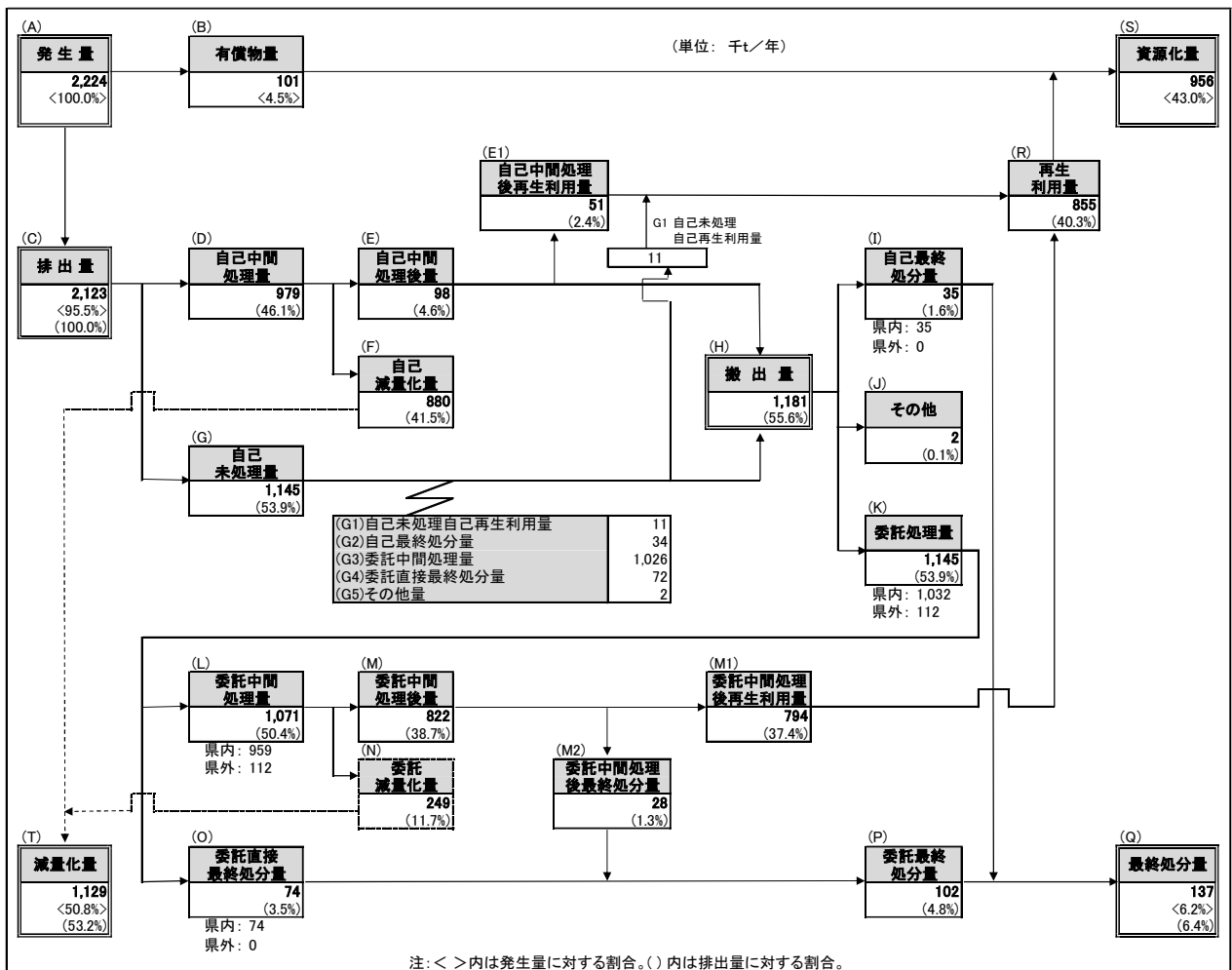
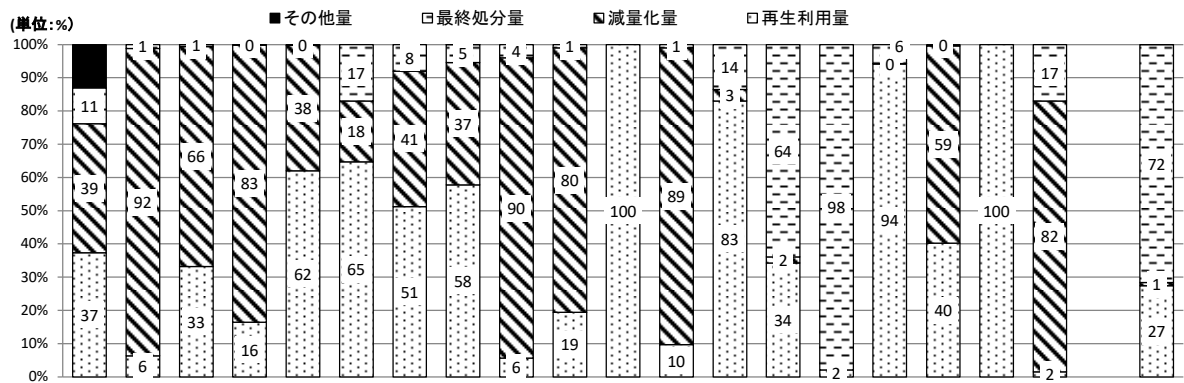


図2-3-1 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図（家畜ふん尿を除く）

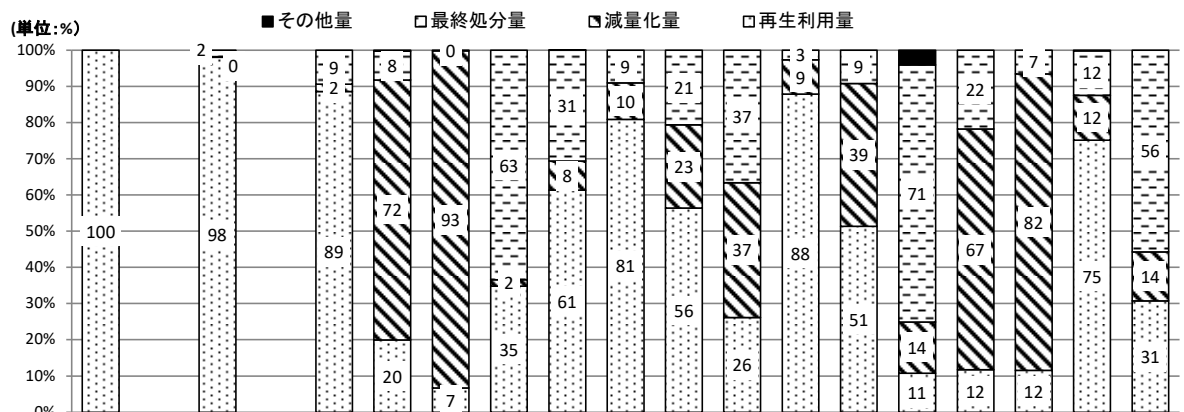


(単位: 千t/年)

項目	合計	紙くず	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不燃物	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	紙さい	がれき類	ばいじん	家畜の死体	感染性廃棄物	13号廃棄物	その他産業廃棄物
排出量	2,123	14	821	44	237	30	66	1	108	3	37	13	0	10	28	34	568	60	12	5		29
再生利用量	855	5	52	14	39	19	43	0	63	0	7	13	0	9	10	1	535	24	12	0		8
減量化量	1,129	6	760	29	198	11	12	0	40	3	29		0	0	0		0	36		4		0
最終処分量	137	2	10	0	0	0	11	0	6	0	0		0	1	18	34	33			1		20
その他量	2	2	0	0					0													0

注1) 図表中の廃棄物の種類は、排出量に対する処理の割合を示すために、中間処理により種類が変わった場合であっても、発生時の種類で捉えている。【種類別: 無変換】

図 2 - 3 - 2 種類別の排出量に対する処理・処分量の割合（家畜ふん尿を除く）



(単位: 千t/年)

項目	合計	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸・郵便業	卸・小売業	不動産業、物品賃貸業	学術研究、専門・技術サービス業	飲食・宿泊	生活関連・娯楽	教育・学習支援	医療・福祉	複合サービス事業	サービス	公務
排出量	2,123	16		0		669	782	580	0	4	50	1	1	1	1	0	9	0	6	2
再生利用量	855	16		0		593	156	39	0	3	40	0	0	1	0	0	1	0	5	1
減量化量	1,129			0		14	562	541	0	0	5	0	0	0	0	0	6	0	1	0
最終処分量	137			0		63	62	1	0	1	5	0	0	0	0	0	2	0	1	1
その他量	2						2										0			0

図 2 - 3 - 3 業種別の排出量に対する処理・処分量の割合（家畜ふん尿を除く）

2. 自己中間処理状況

排出事業者自らが中間処理を行った自己中間処理量は、979千トンであり、排出量(2,123千トン)の46.1%を占めている。

自己中間処理量を種類別にみると、図2-3-4に示すとおり、汚泥が660千トン(67.4%)で最も多く、次いで、廃酸が210千トン(21.5%)、がれき類が35千トン(3.6%)、木くずが35千トン(3.6%)等となっている。

また、排出量に対する自己中間処理量の割合(自己中間処理率)及び自己中間処理量に対する自己減量化量の割合(自己減量化率)についてみると、図2-3-5に示すとおりである。

自己中間処理率が高い種類は、廃酸(88.6%)、汚泥(80.3%)、廃油(48.0%)等となっており、自己減量化率が高い種類では、廃油(99.9%)、汚泥(95.4%)、廃酸(91.1%)等となっている。

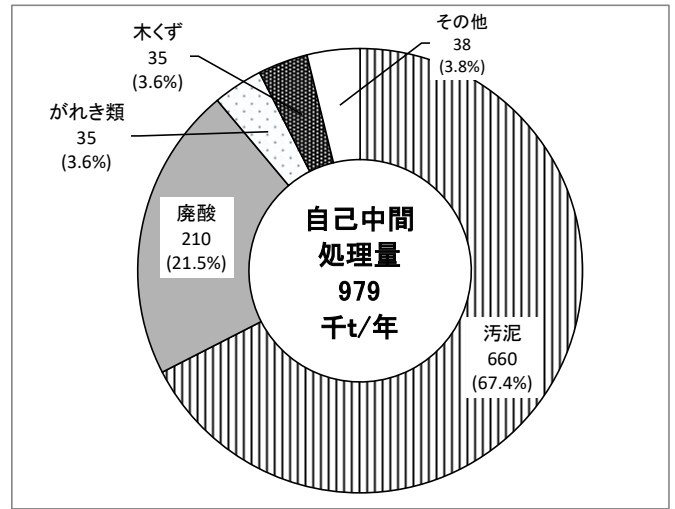


図2-3-4 自己中間処理量 (家畜ふん尿を除く)

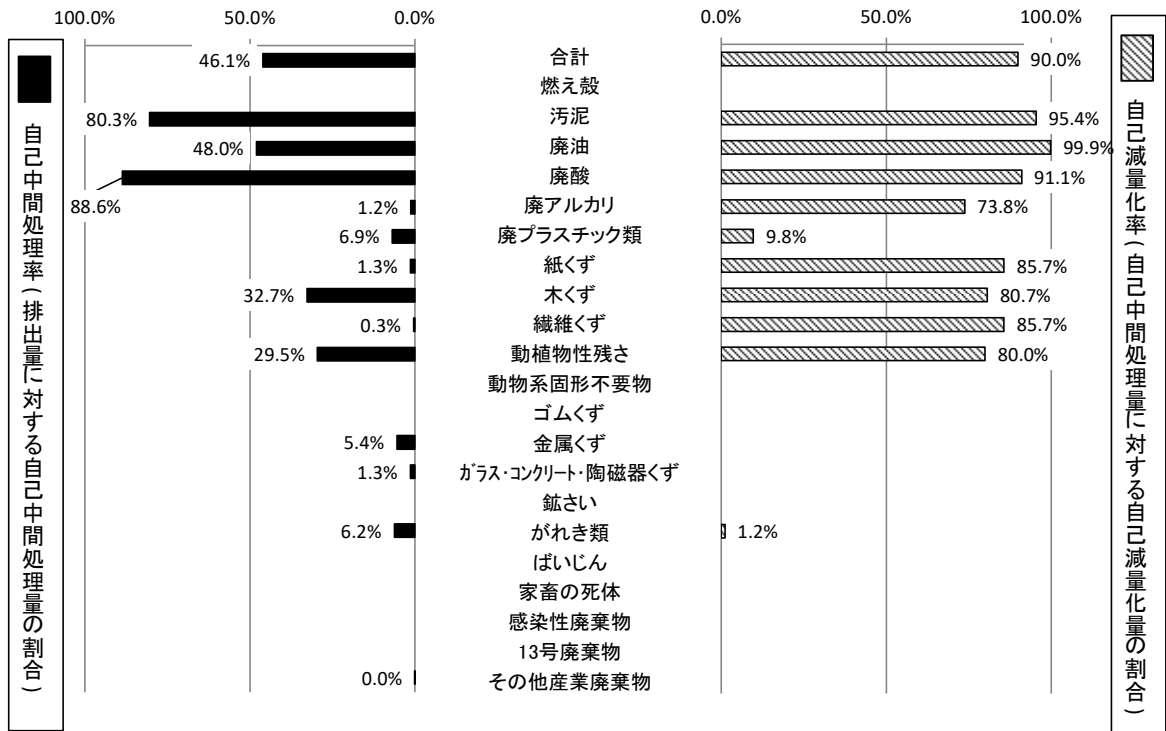


図2-3-5 種類別の排出量に対する自己中間処理量、自己減量化量の割合 (家畜ふん尿を除く)

3. 委託処理状況

処理業者等によって処理(中間処理、最終処分を含む)された委託処理量は、1,145千トンであり、排出量(2,123千トン)の53.9%を占めている。

委託処理量を種類別にみると、図2-3-6、7に示すとおり、がれき類が533千トン(46.5%)で最も多く、次いで汚泥が184千トン(16.1%)、木くずが73千トン(6.4%)、廃プラスチック類が66千トン(5.7%)、ばいじんが62千トン(5.4%)、その他産業廃棄物が34千トン(2.9%)等となっている。

また、委託処理量を処理方法別にみると、

中間処理量は1,071千トン(93.5%)、直接最終処分量は74千トン(6.5%)となっている。

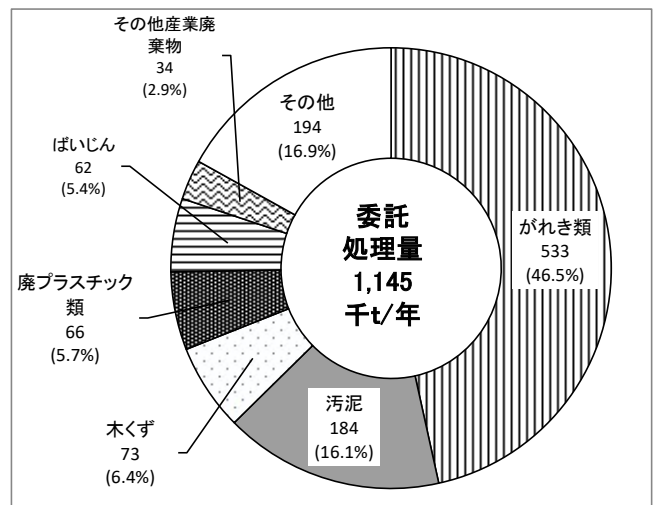
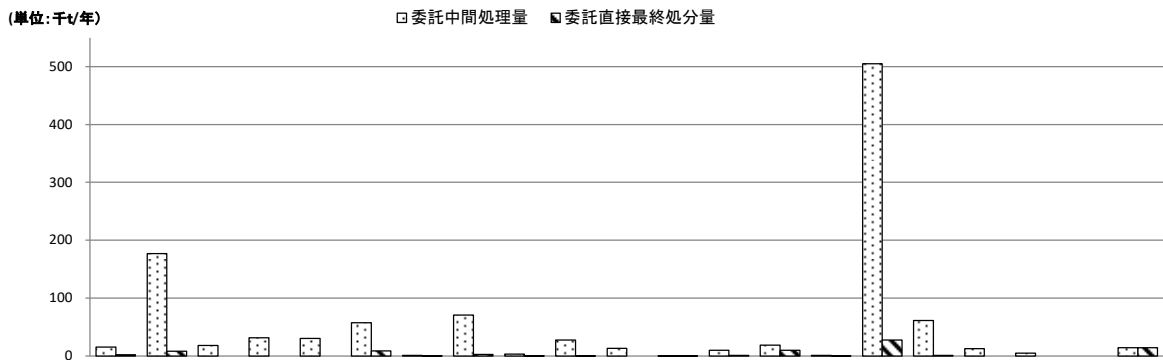


図2-3-6 委託処理量 (家畜ふん尿を除く)



項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	陶磁器類	ガラス製容器類	ゴムくず	金属くず	がれき類	ばいじん	家畜の死体	感染性廃棄物	18号廃棄物	その他産業廃棄物	
委託処理量	1,145	18	184	18	31	30	66	1	73	3	28	13	0	10	28	1	533	62	12	5	29
委託中間処理量	1,071	16	177	18	31	30	57	1	71	3	28	13	0	9	18	1	505	61	12	5	14
委託直接最終処分量	74	2	8				8	0	2	0	0		0	1	10	0	27	1			14

図2-3-7 種類別委託処理量の内訳 (家畜ふん尿を除く)

4. 資源化、再生利用状況

(1) 資源化状況

資源化量は、956 千トンであり、発生量(2,224 千トン)の43.0%を占めている。

資源化量を種類別にみると、図2-3-8、9に示すとおり、がれき類が535千トン(56.0%)で最も多く、次いで、木くずが102千トン(10.7%)、汚泥が55千トン(5.7%)、廃プラスチック類が50千トン(5.2%)、廃酸が44千トン(4.6%)、金属くずが37千トン(3.9%)等となっている。

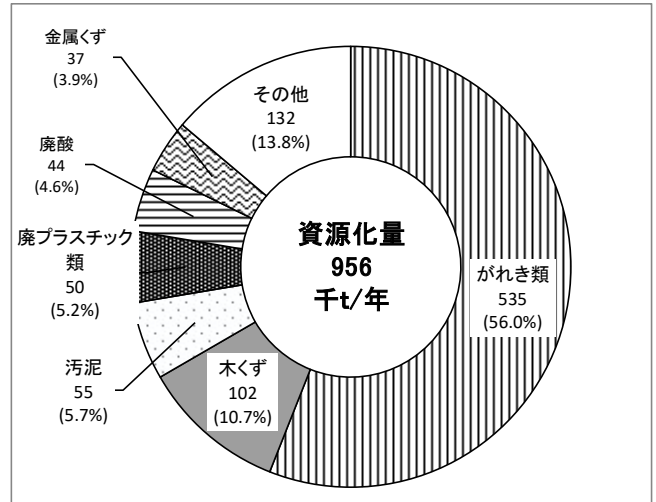


図2-3-8 資源化量
(家畜ふん尿を除く)

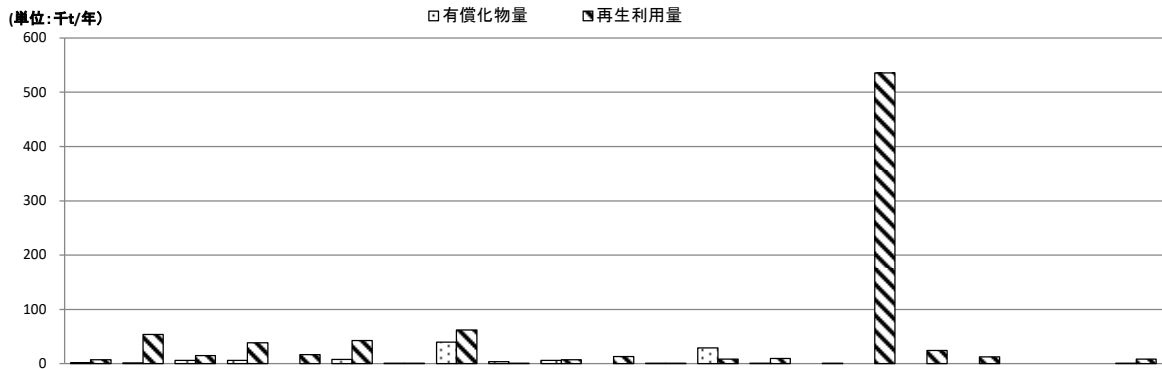


図2-3-9 種類別資源化量の内訳 (家畜ふん尿を除く)

(2) 再生利用状況

資源化量のうち有償物量を除く再生利用量は 855 千トンであり、排出量 (2,123 千トン) の 40.3%を占めている。

再生利用量を種類別にみると、図 2-3-10 に示すとおり、がれき類が 535 千トン(62.6%) で最も多く、次いで、木くずが 62 千トン(7.3%)、汚泥が 54 千トン (6.3%)、廃プラスチック類が 42 千トン (5.0%)、廃酸が 38 千トン (4.5%)、ばいじんが 24 千トン (2.9%) 等となっている。

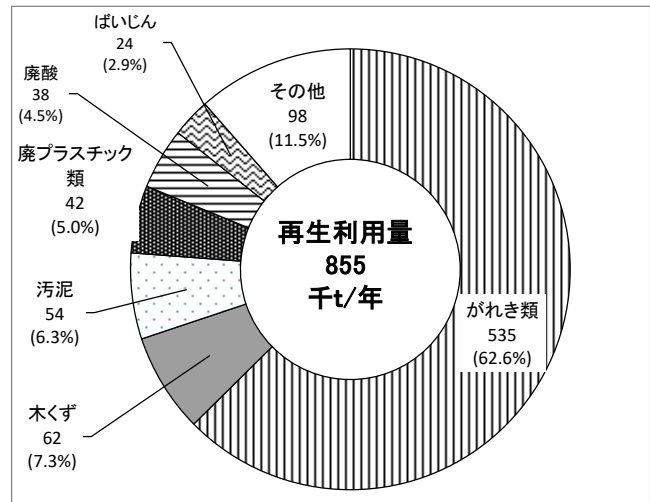


図 2-3-10 再生利用量 (家畜ふん尿を除く)

なお、用途別にみた再生利用状況は、表 2-3-1 に示すとおりであり、再生骨材・再生路盤材が 438 千トン(51.2%) で最も多く、次いで、土木・建設資材が 108 千トン (12.6%)、肥料又はその原(材)料が 84 千トン(9.8%) 等となっている。

表 2-3-1 用途別にみた再生利用状況

種類	(単位:千t/年)												
	用途	合計	再生骨材・再生路盤材	肥料又はその原(材)料	セメント原材料	飼料又はその原(材)料	土木・建設資材	燃料又はその原(材)料	鉄鋼原(材)料	その原(材)紙又は	その土壌改良材又は	プラスチック原	その他
合計		855 (100.0%)	438 (51.2%)	84 (9.8%)	27 (3.1%)	34 (4.0%)	108 (12.6%)	79 (9.2%)	8 (1.0%)	5 (0.5%)	22 (2.6%)	10 (1.1%)	41 (4.8%)
燃え殻		7	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
汚泥		54	0	23	9	0	5	0	0	0	16	0	0
廃油		14	0	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0
廃酸		38	0	3	0	32	0	3	0	0	0	0	0
廃アルカリ		17	0	0	17	0	0	0	0	0	0	0	0
廃プラスチック類		42	0	0	0	0	0	33	0	0	0	9	0
紙くず		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
木くず		62	0	32	0	0	2	21	0	4	3	0	0
繊維くず		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
動植物性残さ		7	0	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0
動物系固形不要物		13	0	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ゴムくず		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金属くず		9	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0
ガラス・コンクリート・陶磁器くず		10	3	0	0	0	2	0	0	1	0	0	3
鋳さい		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
がれき類		535	433	0	0	0	99	0	0	0	3	0	0
ばいじん		24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24
家畜の死体		12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
その他産業廃棄物		8	0	0	0	0	0	6	0	0	0	1	0

5. 最終処分状況

最終処分量は、137千トンであり、排出量（2,123千トン）の6.4%を占めている。

最終処分量を種類別にみると、図2-3-11、12に示すとおり、鉱さいが34千トン（24.7%）で最も多く、次いで、がれき類が33千トン（23.8%）、その他産業廃棄物が20千トン（15.0%）、ガラス・コンクリート・陶磁器くずが18千トン（13.1%）、廃プラスチック類が11千トン（7.9%）、汚泥が9千トン（6.8%）、燃え殻が6千トン（4.7%）等となっている。

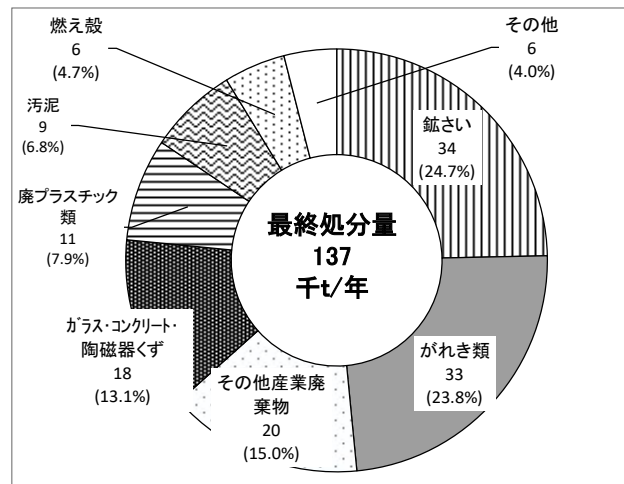
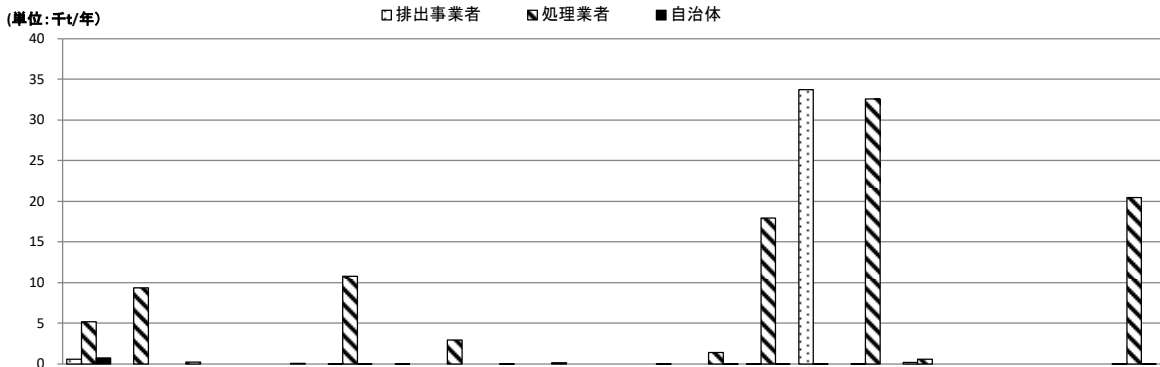


図2-3-11 最終処分量 (家畜ふん尿を除く)

また、処分主体別にみると、排出事業者による自己最終処分量が35千トン（25.2%）、処理業者による最終処分量102千トン（74.2%）となっている。



項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動物性廃棄物	動物系固形不燃物	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	家畜の死体	感染性廃棄物	19号廃棄物	その他産業廃棄物
最終処分量	137	6	9	0	0	0	11	0	3	0	0	0	0	1	18	34	33	1	0	0	0	20
排出事業者	35	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	34	0	0	0	0	0	0
処理業者	102	5	9	0	0	0	11	0	3	0	0	0	0	1	18	0	33	1	0	0	0	20
自治体	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

図2-3-12 処分主体別の最終処分量 (家畜ふん尿を除く)

第4節 家畜ふん尿を含む調査結果（農業を含む）

1. 種類別の発生・排出状況

種類別の発生・排出状況は、図2-4-1～3に示すとおりである。

発生量(6,247千トン)を種類別にみると、家畜ふん尿が4,022千トン(64.4%)で最も多く、次いで汚泥が822千トン(13.2%)、がれき類が568千トン(9.1%)、廃酸が243千トン(3.9%)、木くずが148千トン(2.4%)となっており、これら5種類で発生量の93.0%を占めている。

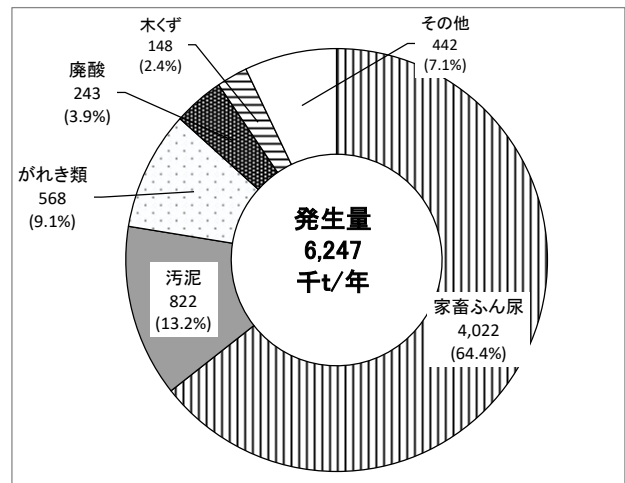


図2-4-1 種類別の発生量 (農業を含む)

排出量(5,845千トン)を種類別にみると、家畜ふん尿が3,722千トン(63.7%)で最も多く、次いで汚泥が821千トン(14.1%)、がれき類が568千トン(9.7%)、廃酸が237千トン(4.1%)、木くずが108千トン(1.9%)となっており、これら5種類で排出量の93.5%を占めている。

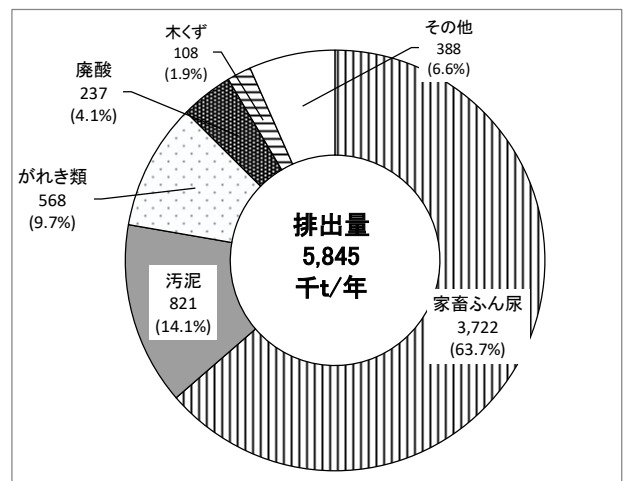
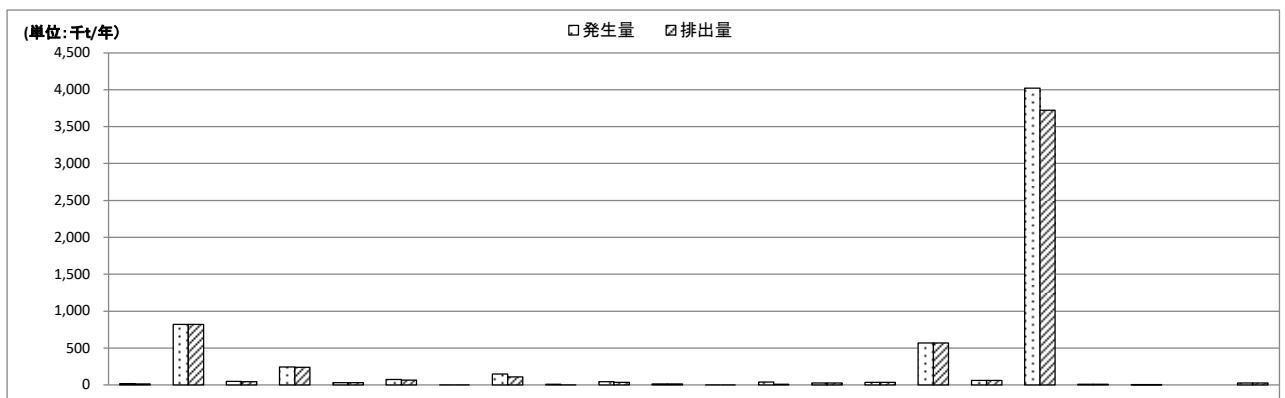


図2-4-2 種類別の排出量 (農業を含む)



項目	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	炭酸アルカリ	炭酸ナトリウム	紙くず	木くず	繊維くず	動物性残渣	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	ばいじん	がれき類	ばいじん	家畜のふん尿	家畜の死体	燃焼性廃棄物	13号廃棄物	その他産業廃棄物
発生量	6,247	16	822	50	243	30	74	2	148	7	42	13	0	39	28	34	568	60	4,022	12	5		29
	(100.0%)	(0.3%)	(13.2%)	(0.8%)	(3.9%)	(0.5%)	(1.2%)	(0.0%)	(2.4%)	(0.1%)	(0.7%)	(0.2%)	(0.0%)	(0.6%)	(0.5%)	(0.6%)	(9.1%)	(1.0%)	(64.4%)	(0.2%)	(0.1%)		(0.5%)
排出量	5,845	14	821	44	237	30	66	1	108	3	37	13	0	10	28	34	568	60	3,722	12	5		29
	(100.0%)	(0.2%)	(14.1%)	(0.7%)	(4.1%)	(0.5%)	(1.1%)	(0.0%)	(1.9%)	(0.1%)	(0.6%)	(0.2%)	(0.0%)	(0.2%)	(0.5%)	(0.6%)	(9.7%)	(1.0%)	(63.7%)	(0.2%)	(0.1%)		(0.5%)

図2-4-3 種類別の発生量、排出量 (農業を含む)

2. 業種別の発生・排出状況

業種別の発生・排出状況は、図2-4-4～6に示すとおりである。

発生量(6,247千トン)を業種別にみると、農業が4,038千トン(64.6%)で最も多く、次いで、製造業が880千トン(14.1%)、建設業が670千トン(10.7%)、電気・水道業が582千トン(9.3%)となっており、これら4業種で発生量の98.7%を占めている。

排出量(5,845千トン)を業種別にみると、農業が3,738千トン(64.0%)で最も多く、次いで、製造業が782千トン(13.4%)、建設業が669千トン(11.4%)、電気・水道業が580千トン(9.9%)となっており、これら4業種で排出量の98.7%を占めている。

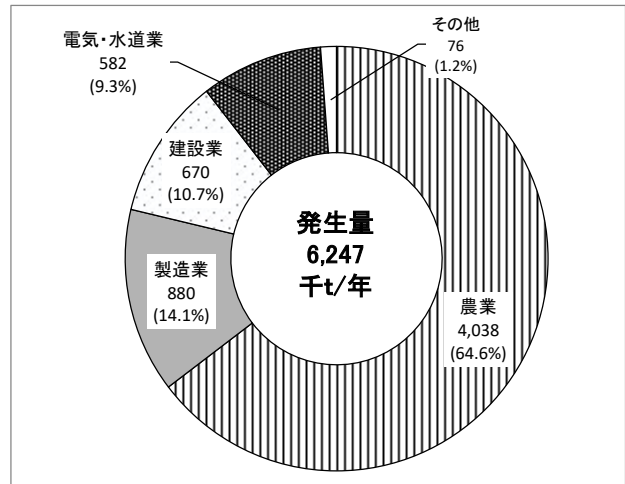


図2-4-4 業種別の発生量 (農業を含む)

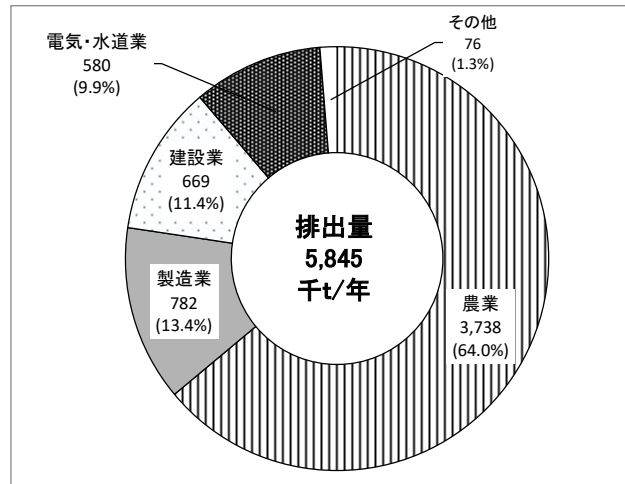


図2-4-5 業種別の排出量 (農業を含む)

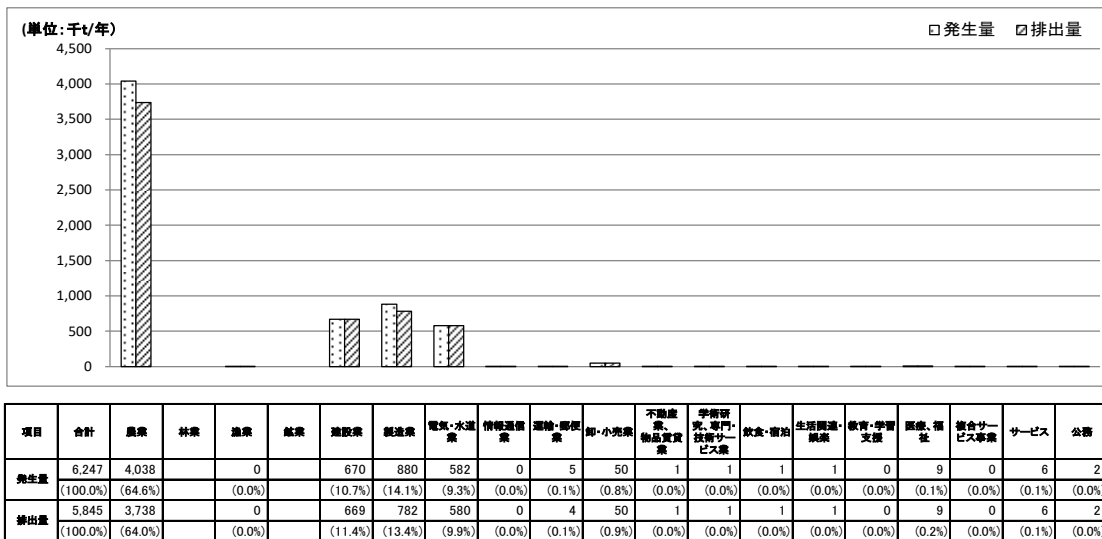


図2-4-6 業種別の発生量・排出量 (農業を含む)

第5節 業種別の発生・排出及び処理・処分状況（排出量が1万トン以上の業種）

排出量1万トン以上の業種大分類に関する処理・処分状況は、以下のとおりである。

1. 農業（家畜ふん尿を除く）

農業からの排出量は、16千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、図2-5-1に示すように家畜の死体が12千トン(76.9%)、廃プラスチック類が4千トン(23.1%)となっている。農業から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図2-5-2に示すとおりである。

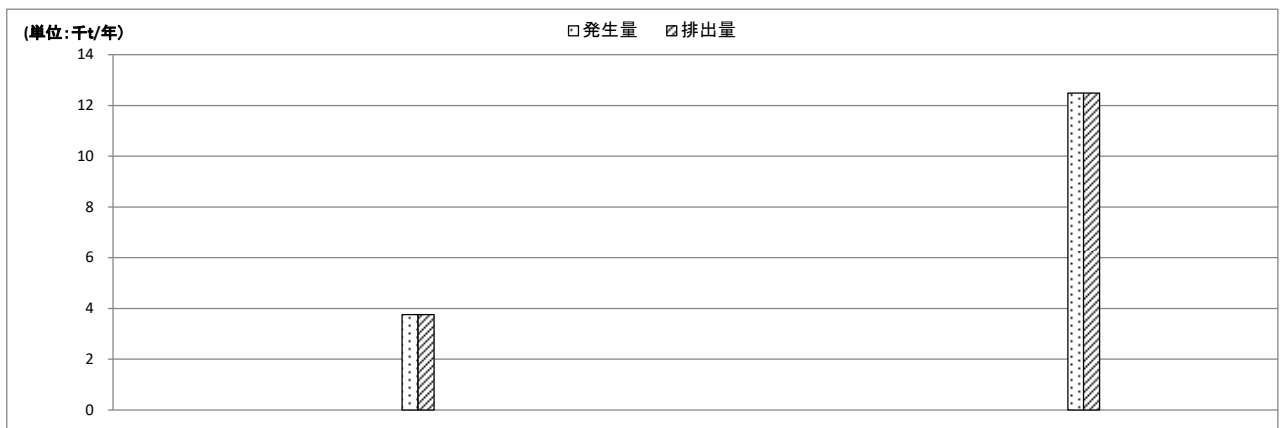


図2-5-1 種類別の発生量、排出量<農業：家畜ふん尿を除く>

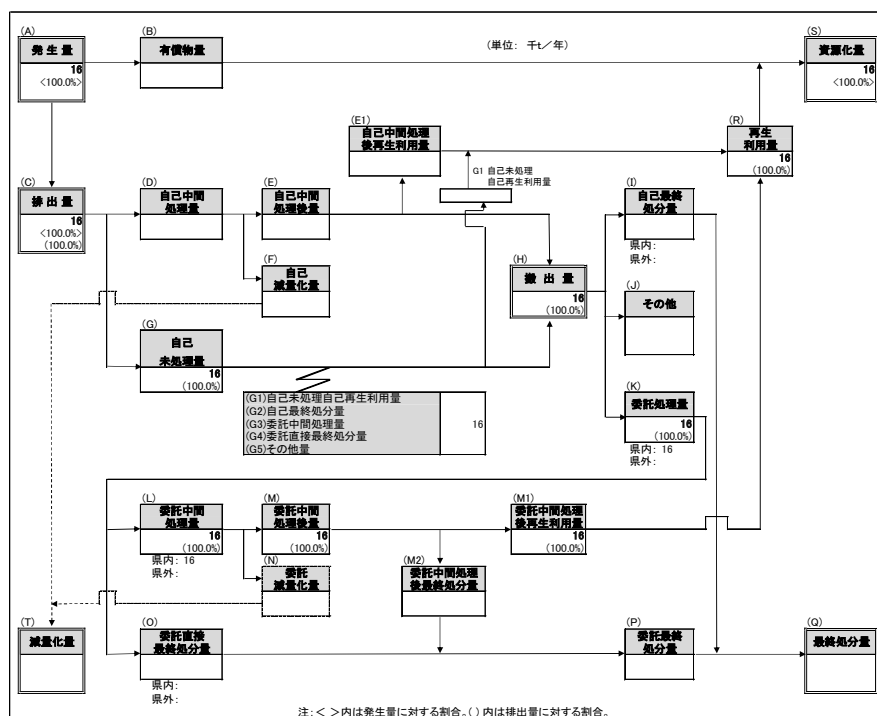


図2-5-2 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図<農業：家畜ふん尿を除く>

第2章 産業廃棄物の現状

2. 建設業

建設業からの排出量は、669千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、図2-5-3に示すように、がれき類が537千トン(80.3%)で最も多く、次いで、木くずが65千トン(9.8%)、汚泥が23千トン(3.4%)、その他産業廃棄物が17千トン(2.6%)等となっている。

建設業から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図2-5-4に示すとおりである。

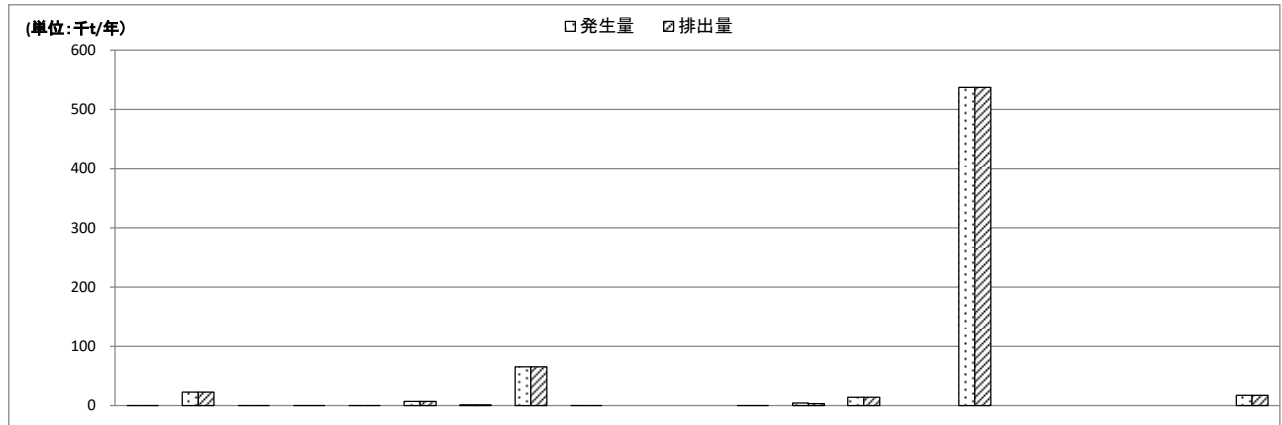


図2-5-3 種類別の発生量、排出量<建設業>

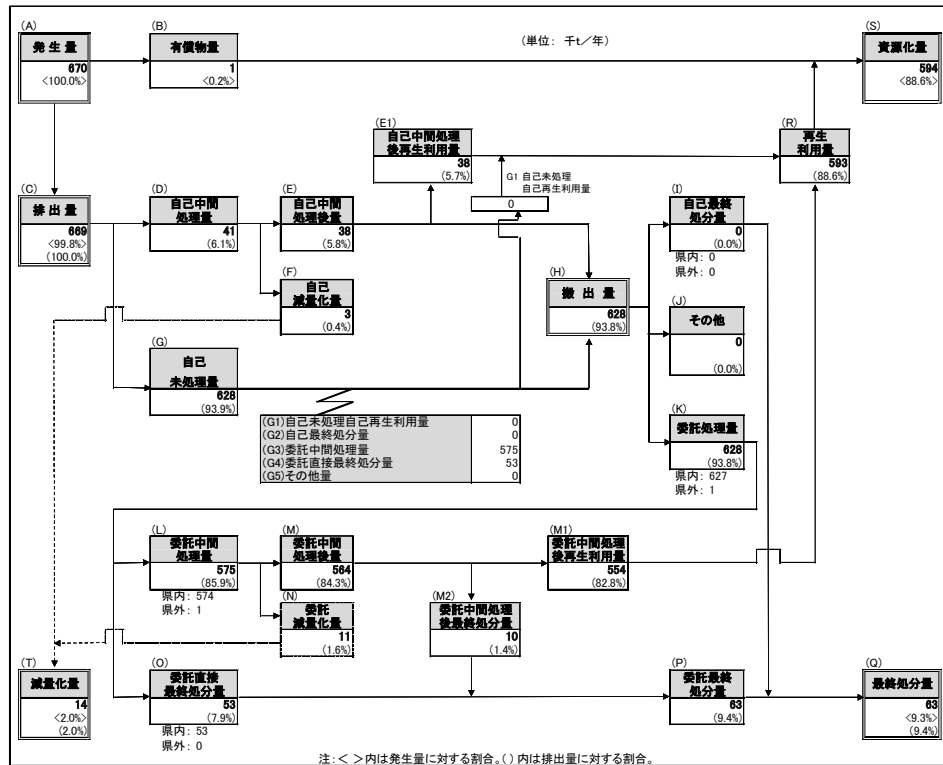


図2-5-4 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図<建設業>

3. 製造業

製造業からの排出量は、782千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、図2-5-5に示すように汚泥が267千トン(34.2%)で最も多く、次いで、廃酸が237千トン(30.3%)、動植物性残さが37千トン(4.7%)、廃油が35千トン(4.5%)等となっている。

製造業から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図2-5-6に示すとおりである。

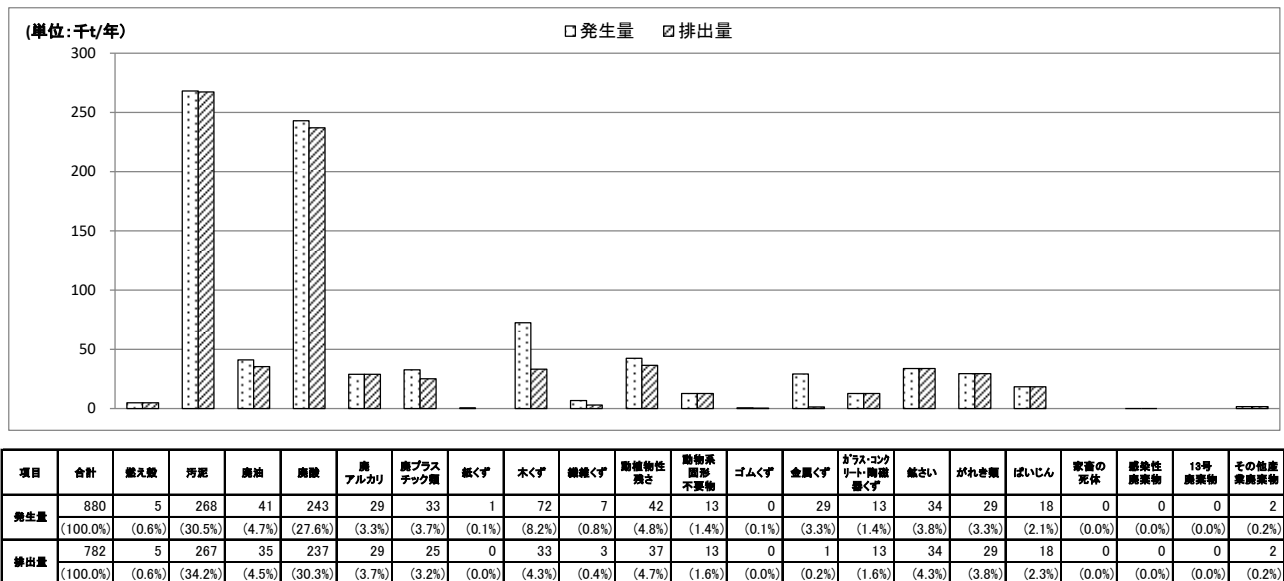


図2-5-5 種類別の発生量、排出量<製造業>

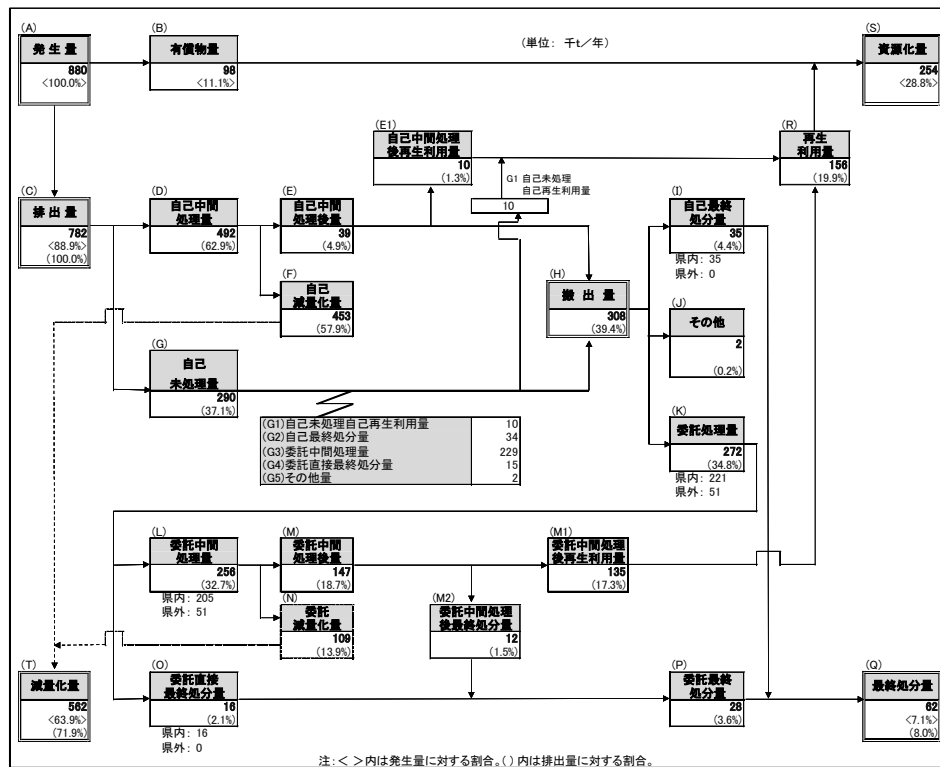


図2-5-6 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図<製造業>

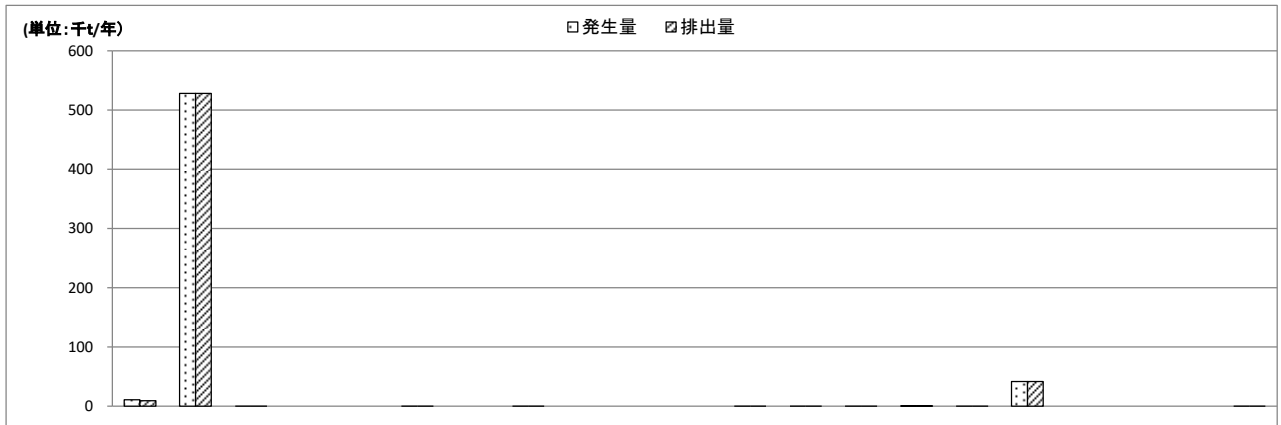
第2章 産業廃棄物の現状

4. 電気・水道業

電気・水道業からの排出量は、580千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、図2-5-7に示すように汚泥が528千トン(91.0%)で最も多く、次いで、ばいじんが42千トン(7.2%)、燃え殻が9千トン(1.5%)等となっている。

電気・水道業から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図2-5-8に示すとおりである。



項目	合計	燃え殻	汚泥	炭油	炭酸	炭アルカリ	炭プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残さ	動物系固形不要物	ゴムくず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	家畜の死体	感染性廃棄物	13号廃棄物	その他産業廃棄物
発生量	582	11	528	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	42	0	0	0	0
	(100.0%)	(1.8%)	(90.8%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.1%)	(0.0%)	(7.2%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)
排出量	580	9	528	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	42	0	0	0	0
	(100.0%)	(1.5%)	(91.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.1%)	(0.0%)	(7.2%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)

図2-5-7 種類別の発生量、排出量<電気・水道業>

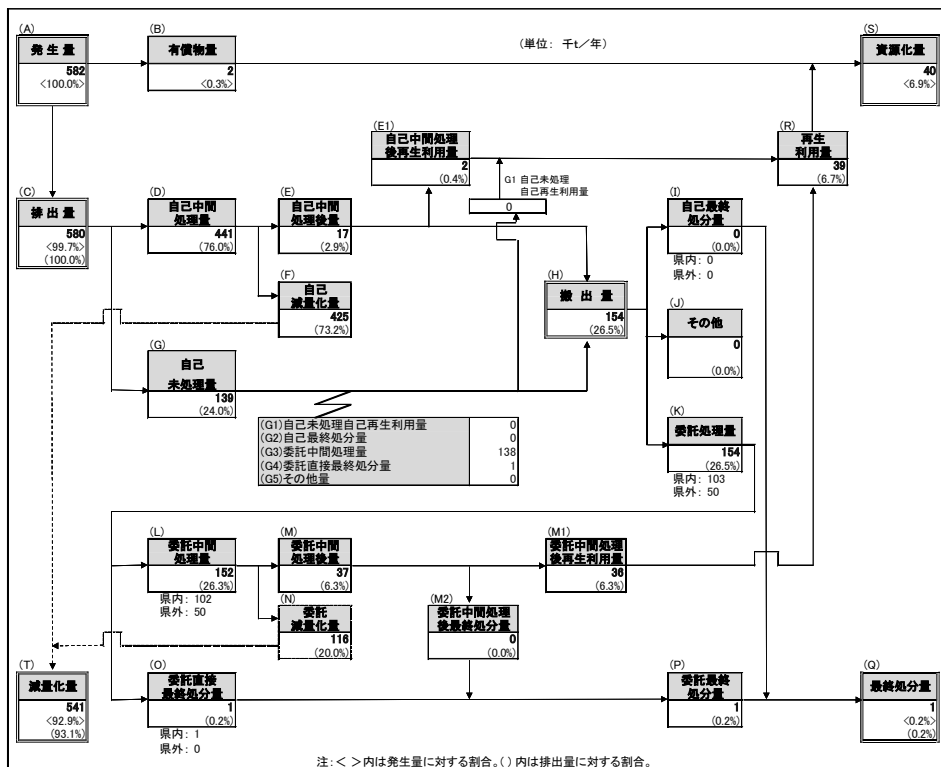


図2-5-8 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図<電気・水道業>

5. 卸・小売業

卸・小売業からの排出量は、50千トンとなっている。

排出量を種類別にみると、図2-5-9に示すように廃プラスチック類が23千トン(47.1%)で最も多く、次いで、その他産業廃棄物が8千トン(15.6%)、廃油が7千トン(13.7%)等となっている。

卸・小売業から排出される産業廃棄物の処理・処分状況については、図2-5-10に示すとおりである。

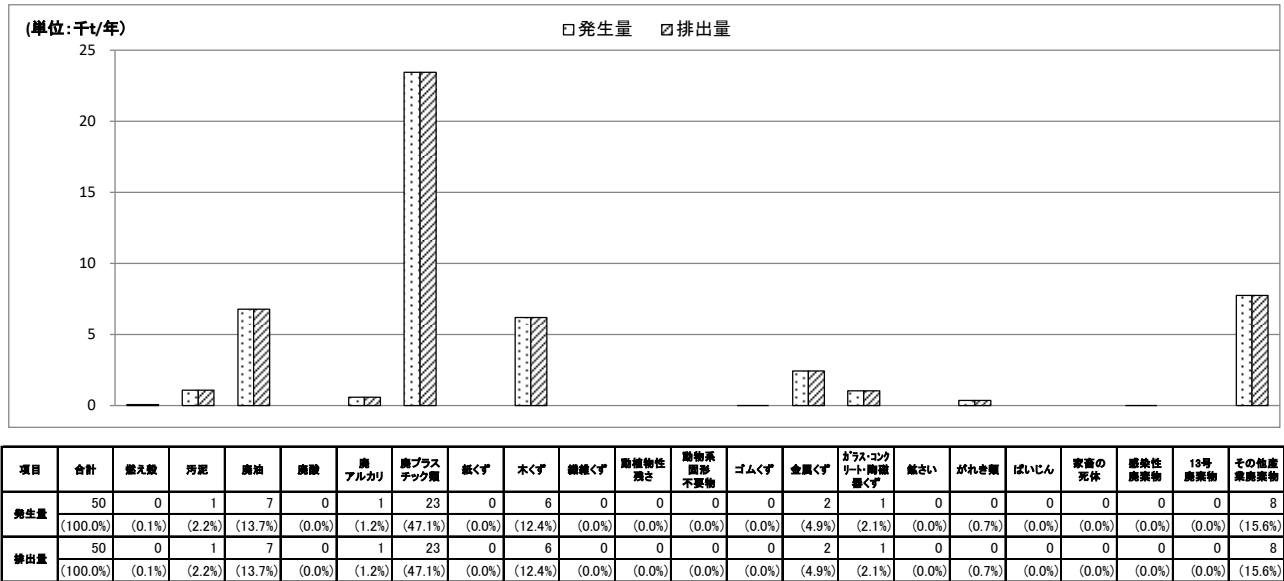


図2-5-9 種類別の発生量、排出量<卸・小売業>

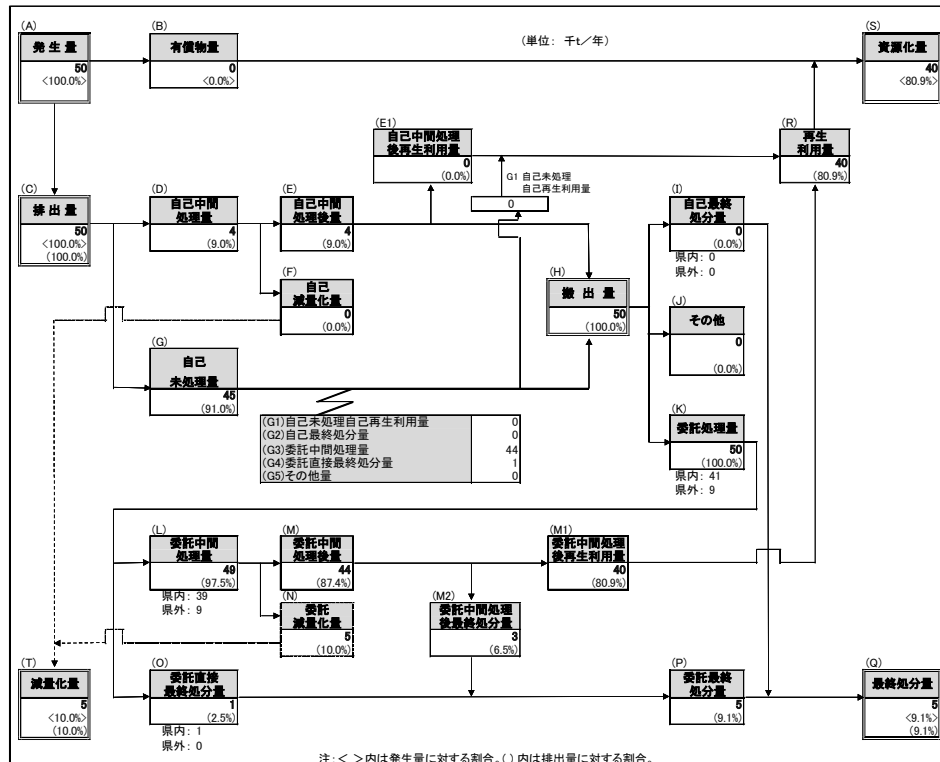


図2-5-10 発生・排出及び処理・処分状況の流れ図<卸・小売業>

第6節 特別管理産業廃棄物

前節までは、特別管理産業廃棄物を含む産業廃棄物全体の状況をみてきたが、ここでは、特別管理産業廃棄物(単位：t/年)について、その発生及び処理・処分状況をまとめる。

1. 発生・排出状況

特別管理産業廃棄物の発生・排出状況は、図2-6-1～4に示すとおりである。

発生量(20,233トン)を種類別にみると、廃石綿等を除く特定有害廃棄物が11,171トン(55.2%)で最も多く、次いで、感染性廃棄物が4,993トン(24.7%)、廃油が1,635トン(8.1%)、廃アルカリが1,559トン(7.7%)、廃酸が871トン(4.3%)、廃石綿等が6トン(0.0%)となっている。

また、業種別にみると、製造業が15,155トン(74.9%)で最も多く、次いで、医療、福祉が4,830トン(23.9%)等となっている。

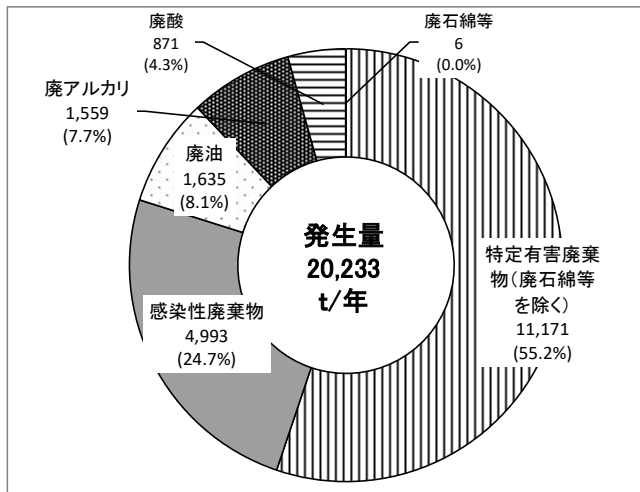


図2-6-1 種類別の発生量
＜特別管理産業廃棄物＞

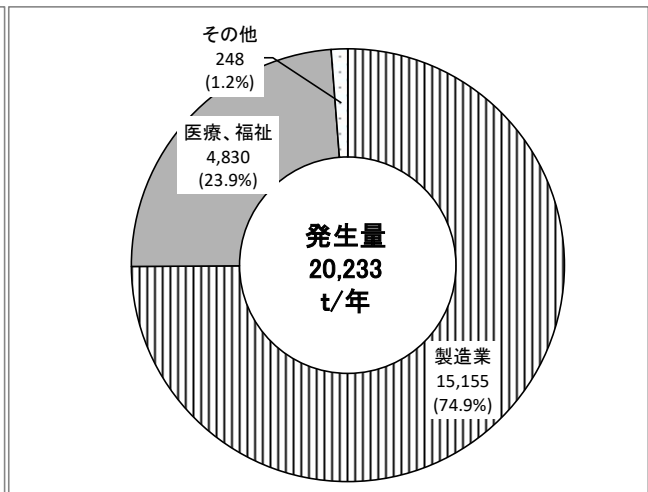
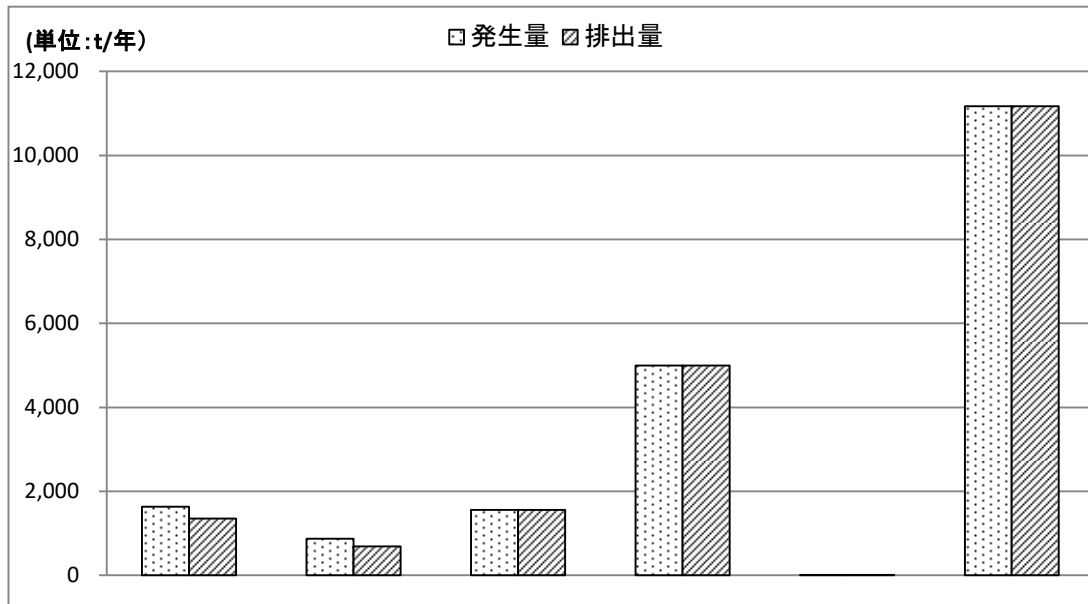


図2-6-2 業種別の発生量
＜特別管理産業廃棄物＞



項目	合計	廃油	廃酸	廃アルカリ	感染性廃棄物	廃石綿等	特定有害廃棄物 (廃石綿等を除く)
発生量	20,233	1,635	871	1,559	4,993	6	11,171
	(100.0%)	(8.1%)	(4.3%)	(7.7%)	(24.7%)	(0.0%)	(55.2%)
排出量	19,765	1,347	689	1,559	4,993	6	11,171
	(100.0%)	(6.8%)	(3.5%)	(7.9%)	(25.3%)	(0.0%)	(56.5%)

図2-6-3 種類別の特別管理産業廃棄物の発生量、排出量

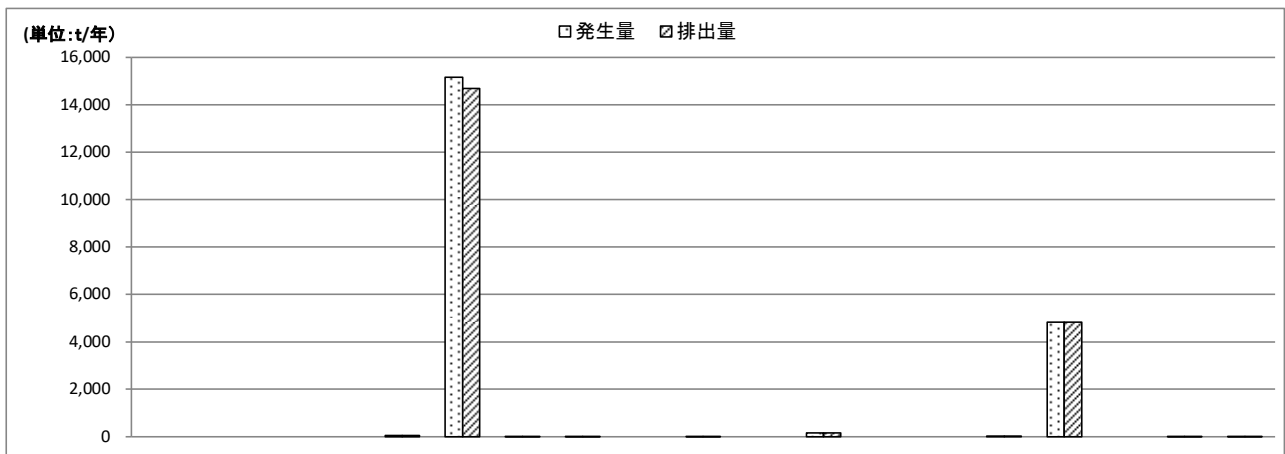


図2-6-4 業種別の特別管理産業廃棄物の発生量、排出量

2. 処理・処分状況

特別管理産業廃棄物の発生・排出から処理・処分状況の流れは、図2-6-5に示すとおりである。なお、特別管理産業廃棄物のうち、感染性廃棄物についての処理・処分状況は、図2-6-6に示すとおりである。

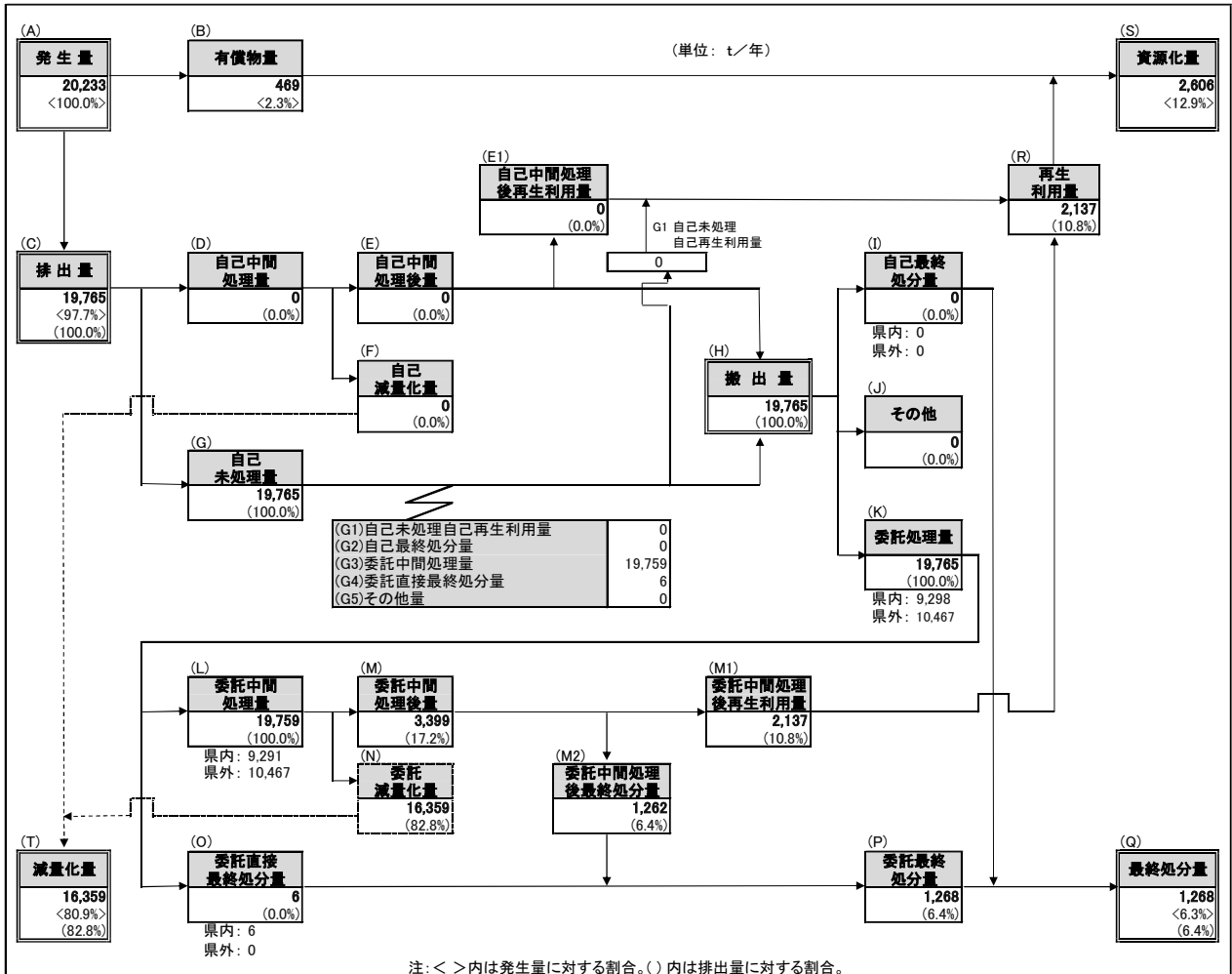


図2-6-5 特別管理産業廃棄物の発生・排出及び処理・処分の状況

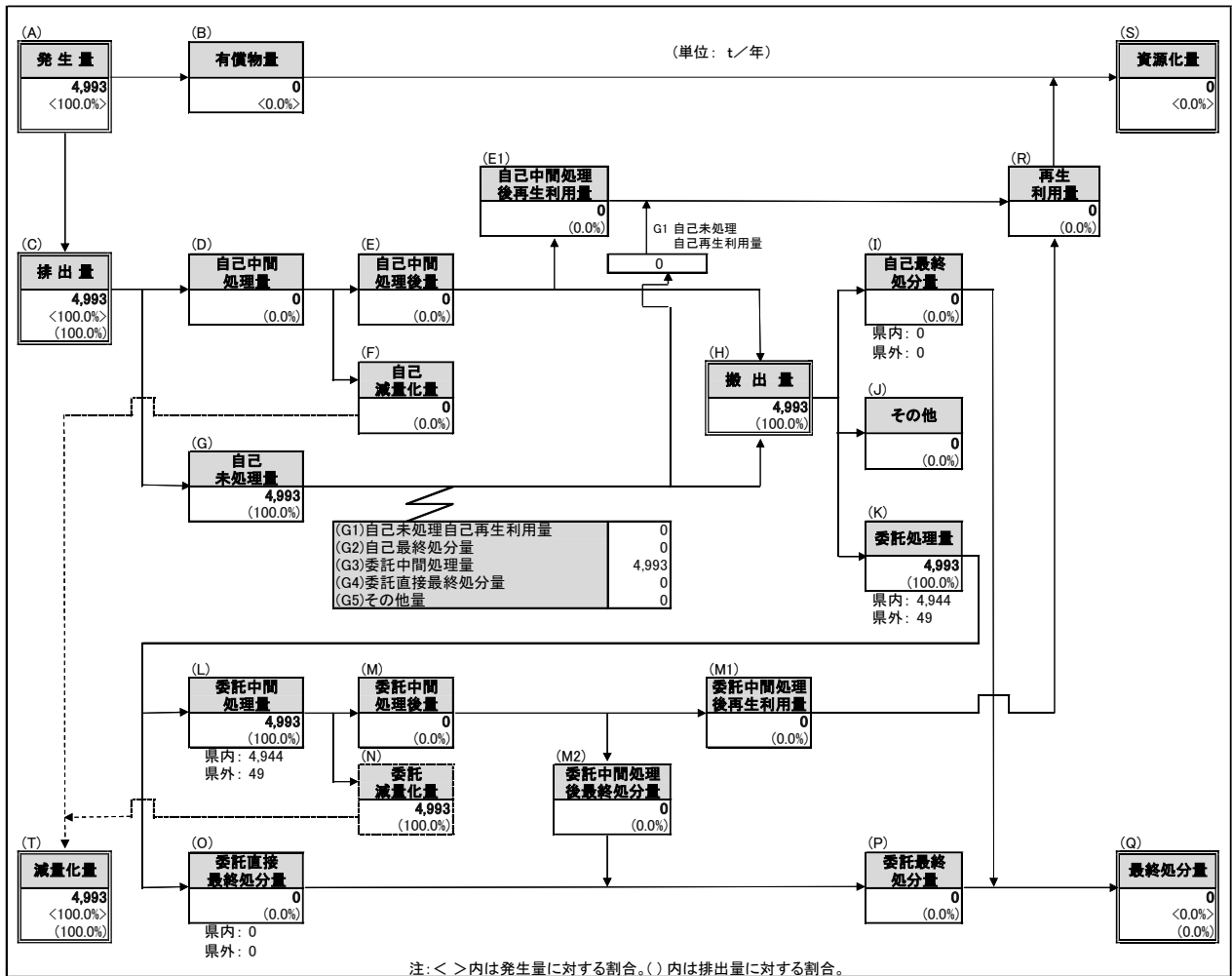


図 2 - 6 - 6 感染性廃棄物の発生・排出及び処理・処分の状況

第2章 産業廃棄物の現状

第7節 産業廃棄物の移動状況（第1次産業を除く）

1. 搬出量の移動状況

産業廃棄物の発生量 2,208 千トン（第1次産業を除く）のうち、処理・処分を目的として事業場から搬出された産業廃棄物量（以下、搬出量という）は、1,165 千トンとなっている。この搬出量の移動状況については、表 2-7-1、図 2-7-1 に示すとおりである。

搬出量 1,165 千トンのうち、県内で処理・処分された量は 1,052 千トン（90.3%）、県外で処理・処分された量は 112 千トン（9.7%）となっており、搬出量の約 9 割が県内で処理・処分されている。なお、海洋投入処分は行なわれていない。

県内地域間の移動状況をみると、県内自地域内で処理・処分された量は 741 千トン（搬出量の 63.6%）、県内他地域で処理・処分された量は 312 千トン（26.8%）となっている。

表 2-7-1 産業廃棄物の移動状況（第1次産業を除く）

		(単位: 千t/年)							
発生		合計	宮崎県北部	西都・児湯	宮崎・東諸県	日南・串間	都城・北諸県	西諸県	
処分	搬出量	1,165 (100.0%)	405 (100.0%)	137 (100.0%)	280 (100.0%)	89 (100.0%)	158 (100.0%)	95 (100.0%)	
	自己最終処分量	35	34		0	1	0	0	
	委託中間処理量	1,055	343	129	262	82	146	92	
	委託直接最終処分量	74	28	8	18	4	12	3	
	その他量	2	0		0	2			
県内自地域	搬出量	741 (63.6%)	215 (53.1%)	74 (54.1%)	202 (72.1%)	51 (57.0%)	120 (76.1%)	78 (82.2%)	
	自己最終処分量	35	34		0	1	0	0	
	委託中間処理量	661	163	71	193	45	112	76	
	委託直接最終処分量	43	18	3	9	3	9	2	
	その他量	2	0		0	2			
県内他地域	搬出量	312 (26.8%)	123 (30.4%)	61 (44.8%)	58 (20.5%)	26 (29.0%)	31 (19.7%)	13 (13.3%)	
	自己最終処分量								
	委託中間処理量	281	112	57	48	25	28	12	
	委託直接最終処分量	30	11	5	10	1	4	1	
	その他量								
県外計	搬出量	112 (9.7%)	67 (16.5%)	2 (1.2%)	21 (7.3%)	13 (14.0%)	7 (4.2%)	4 (4.5%)	
	自己最終処分量								
	委託中間処理量	112	67	2	21	13	7	4	
	委託直接最終処分量	0					0		
	その他量								

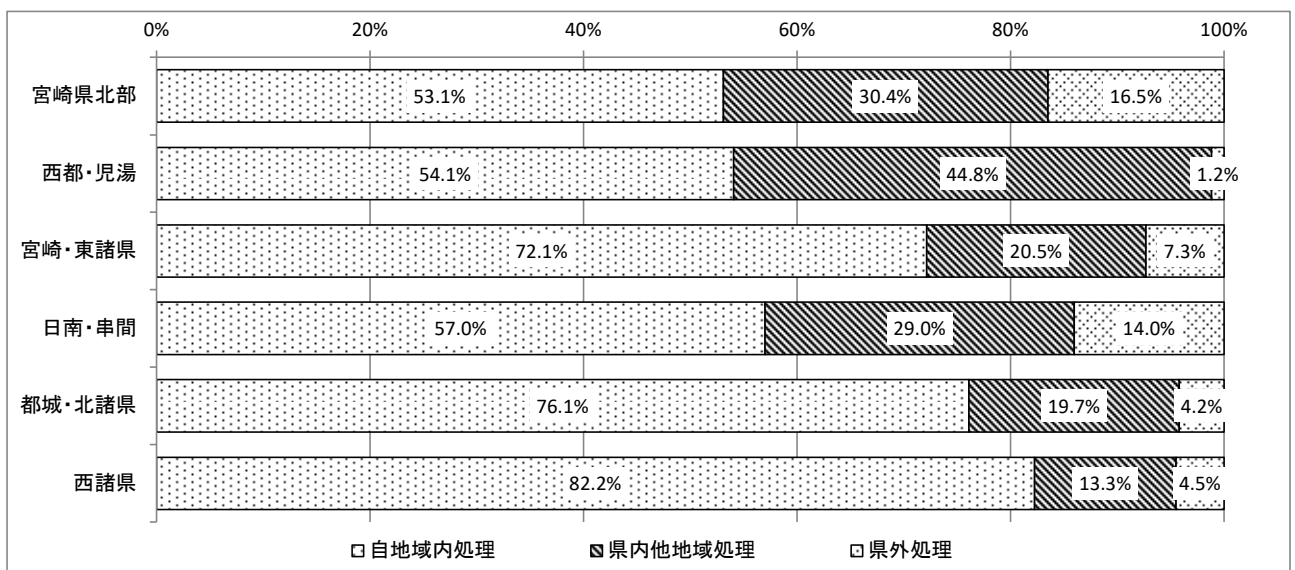


図 2-7-1 県内地域間の移動状況（第1次産業を除く）

2. 委託処理量の移動状況

搬出量 1,165 千トン（第1次産業を除く）のうち、処理業者等で委託処理された産業廃棄物は、中間処理量（再生利用量含む）が 1,055 千トン、直接最終処分量が 74 千トンの計 1,128 千トンとなっている。この移動状況については、表 2-7-2、表 2-7-3 に示すとおりである。

表 2-7-2 産業廃棄物の移動状況（委託中間処理量）

(単位:千t/年)

処分	発生	合計	宮崎県北部	西都・児湯	宮崎・東諸県	日南・串間	都城・北諸県	西諸県
委託 中間 処理	合計	1,055	343	129	262	82	146	92
	自治体	1	0		1	0	0	0
	処理業者	1,054	343	129	261	82	146	92
	宮崎県北部	173	163	7	2	0	0	0
	自治体	0	0					
	処理業者	173	163	7	2	0	0	0
	西都・児湯	138	48	71	14	0	5	0
	自治体							
	処理業者	138	48	71	14	0	5	0
	宮崎・東諸県	316	51	32	193	18	14	7
	自治体	1			1			
	処理業者	315	51	32	193	18	14	7
	日南・串間	51		2	0	45	4	
	自治体	0				0		
	処理業者	51		2	0	45	4	
	都城・北諸県	174	9	15	27	6	112	5
	自治体	0					0	
	処理業者	174	9	15	27	6	112	5
	西諸県	91	4	1	5	0	5	76
	自治体	0						0
	処理業者	91	4	1	5	0	5	76
	県内計	942	276	128	241	70	139	88
	自治体	1	0		1	0	0	0
	処理業者	941	276	128	241	70	139	88
	県外計	112	67	2	21	13	7	4
	自治体							
処理業者	112	67	2	21	13	7	4	

表 2-7-3 産業廃棄物の移動状況（委託直接最終処分量）

(単位:千t/年)

処分	発生	合計	宮崎県北部	西都・児湯	宮崎・東諸県	日南・串間	都城・北諸県	西諸県
委託 直接 最終 処分量	合計	74	28	8	18	4	12	3
	自治体	1		0	1			
	処理業者	73	28	8	18	4	12	3
	宮崎県北部	19	18	1	1			
	自治体							
	処理業者	19	18	1	1			
	西都・児湯	6	3	3	0		0	
	自治体	0		0				
	処理業者	6	3	3	0		0	
	宮崎・東諸県	16	2	3	9	0	2	0
	自治体	1			1			
	処理業者	15	2	3	8	0	2	0
	日南・串間	3				3		
	自治体							
	処理業者	3				3		
	都城・北諸県	19	4	0	6	0	9	0
	自治体							
	処理業者	19	4	0	6	0	9	0
	西諸県	11	2	1	3	1	2	2
	自治体							
	処理業者	11	2	1	3	1	2	2
	県内計	74	28	8	18	4	12	3
	自治体	1	0	0	1			
	処理業者	73	28	8	18	4	12	3
	県外計	0						0
	自治体							
処理業者	0						0	

第2章 産業廃棄物の現状

県内の委託直接最終処分先地域（処理業者等 74 千トン）をみると、都城・北諸県が 19 千トン（県内委託直接最終処分量の 26.0%）で最も多く、以下、宮崎県北部が 19 千トン（25.4%）、宮崎・東諸県が 16 千トン（21.5%）、西諸県が 11 千トン（14.5%）等となっており、これら 4 地域で全体の 87.4%を占めている。

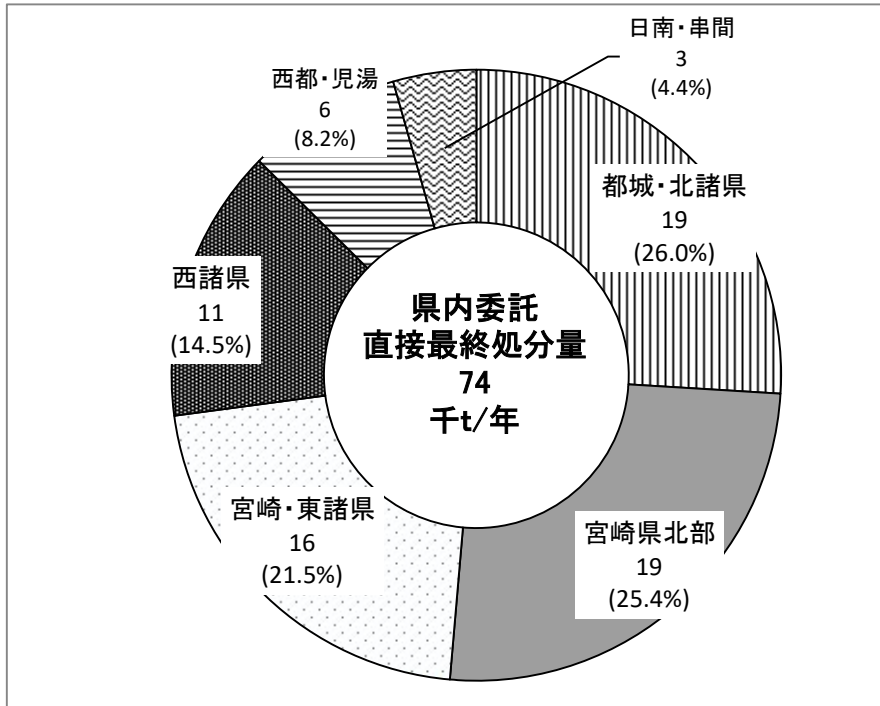


図 2-7-2 委託直接最終処分量の移動状況 [県内地域]
(令和 2 年度)

委託直接最終処分量 74 千トン（自治体含む）のうち、県外に搬出され最終処分された量は約 8 トン（委託直接最終処分量の 0.01%）となっており、搬出先は福岡県、種類ではガラス・コンクリート・陶磁器くずとなっている。

表 2-7-4 県外への移動状況（第 1 次産業を除く）

(単位:t/年)

種類	処分先	合計	福岡県
合計		8	8
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	8	8

3. 広域の移動状況（県外からの搬入）

県外からの産業廃棄物の搬入状況については、表2-7-5、図2-7-3～4に示すように123千トンとなっている。これを県別の搬入元でみると、鹿児島県が36千トン（搬入量の29.4%）で最も多く、次いで福岡県が34千トン（27.4%）、熊本県が33千トン（26.9%）、沖縄県が10千トン（8.2%）等となっており、これら4県で全体の91.9%を占めている。なお、九州外からは2百トン（0.1%）となっている。

種類別では、ガラス・コンクリート・陶磁器くずが39千トン（搬入量の31.7%）で最も多く、次いで廃プラスチック類が35千トン（28.5%）、燃え殻が14千トン（11.3%）、家畜のふん尿が9千トン（7.4%）等となっており、これら4種類で全体の78.9%を占めている。

表2-7-5 県外からの搬入状況（中間処理目的+最終処分目的）

(単位:t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチック類	木くず	動植物性残さ	金属くず	陶磁器くず ガラス・コンクリート・	がれき類	家畜の死体	家畜のふん尿	シュレッターダスト
福岡県	33,826	2,982	190			21,627		6		5,846	2,577		53	547
佐賀県	3,071		59			1,798		119					1,095	
長崎県	3,645	2,380	22			203		87	9	147			797	
熊本県	33,191	2,636	1,562	12	1,850	3,125		39		22,647		216	353	751
大分県	3,111	1,246	127			1,677		3	31				27	
鹿児島県	36,242	4,541	4,969	415	3,632	6,591	15	887	102	2,416	547	4,665	6,758	703
沖縄県	10,128	219	1			4				8,035				1,869
九州内	123,214	14,003	6,929	427	5,482	35,026	15	1,141	142	39,091	3,123	4,881	9,083	3,870
九州外	172					172								
合計	123,386	14,003	6,929	427	5,482	35,198	15	1,141	142	39,091	3,123	4,881	9,083	3,870

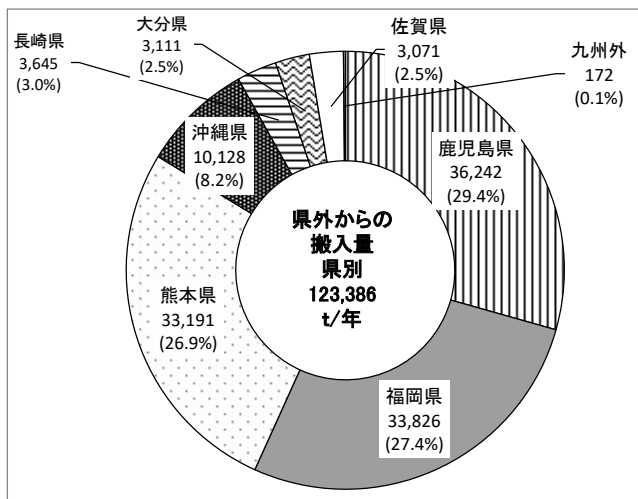


図2-7-3 県外からの県別搬入量 (令和2年度)

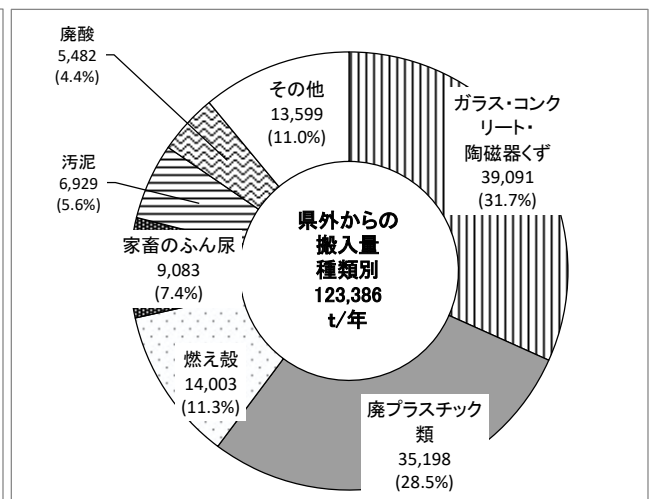


図2-7-4 県外からの種類別搬入量 (令和2年度)

第2章 産業廃棄物の現状

中間処理目的の搬入状況では、表2-7-6、図2-7-5～6に示すように47千トンとなっている。県別の搬入元をみると、鹿児島県が27千トン（搬入量の57.9%）で最も多く、次いで熊本県が7千トン（15.3%）、福岡県が5千トン（10.8%）等となっており、これら3県で全体の84.0%を占めている。なお、九州外からは2百トン（0.4%）となっている。

種類別では、廃プラスチック類が17千トン（搬入量の37.2%）で最も多く、次いで家畜のふん尿が9千トン（19.4%）、汚泥が7千トン（14.8%）等となっており、これら3種類で全体の71.4%を占めている。

表2-7-6 県外からの搬入状況（中間処理目的）

(単位:t/年)	合計	燃え殻	汚泥	廃油	廃酸	廃プラスチック類	木くず	動植物性残さ	金属くず	がれき類	家畜の死体	家畜のふん尿
福岡県	5,042		190			4,793		6				53
佐賀県	3,071		59			1,798		119				1,095
長崎県	1,118		22			203		87	9			797
熊本県	7,157		1,562	12	1,850	3,125		39			216	353
大分県	3,111	1,246	127			1,677		3	31			27
鹿児島県	27,089		4,969	415	3,632	5,636	15	887	102	10	4,665	6,758
沖縄県	5		1			4						
九州内	46,593	1,246	6,929	427	5,482	17,236	15	1,141	142	10	4,881	9,083
九州外	172					172						
合計	46,765	1,246	6,929	427	5,482	17,408	15	1,141	142	10	4,881	9,083

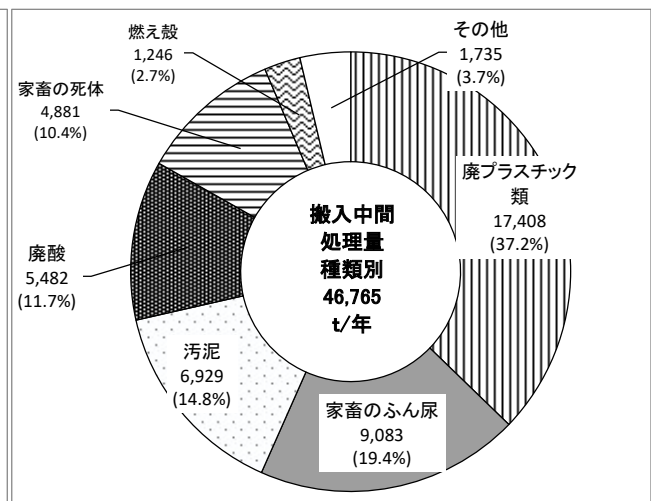
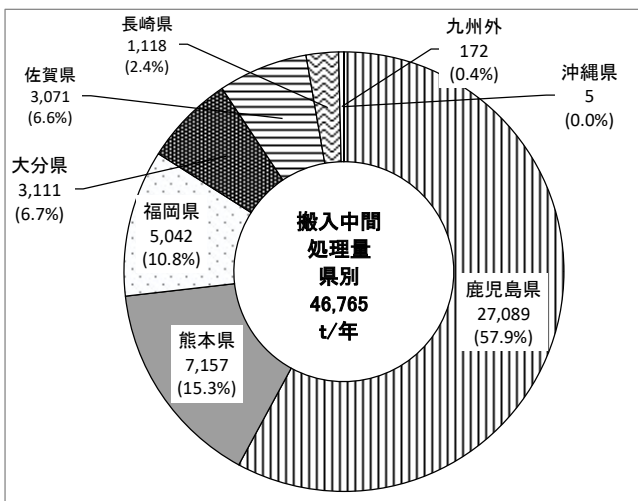


図2-7-5 県外からの県別中間処理搬入量（令和2年度）

図2-7-6 県外からの種類別中間処理搬入量（令和2年度）

また、最終処分目的の搬入状況では、表2-7-7、図2-7-7～8に示すように77千トンとなっている。県別の搬入元でみると、福岡県が29千トン（搬入量の37.6%）で最も多く、次いで熊本県が26千トン（34.0%）、沖縄県が10千トン（13.2%）、鹿児島県が9千トン（11.9%）、長崎県が3千トン（3.3%）となっている。なお、九州外からの搬入はない。

種類別では、ガラス・コンクリート・陶磁器くずが39千トン（搬入量の51.0%）で最も多く、次いで廃プラスチック類が18千トン（23.2%）、燃え殻が13千トン（16.6%）、シュレッダーダストが4千トン（5.1%）、がれき類が3千トン（4.1%）となっている。

表2-7-7 県外からの搬入状況（最終処分目的）

(単位:t/年)	合計	燃え殻	廃プラスチック類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	がれき類	シュレッダーダスト
福岡県	28,784	2,982	16,834	5,846	2,577	547
佐賀県						
長崎県	2,527	2,380		147		
熊本県	26,034	2,636		22,647		751
大分県						
鹿児島県	9,152	4,541	955	2,416	537	703
沖縄県	10,123	219		8,035		1,869
合計	76,620	12,757	17,789	39,091	3,114	3,870

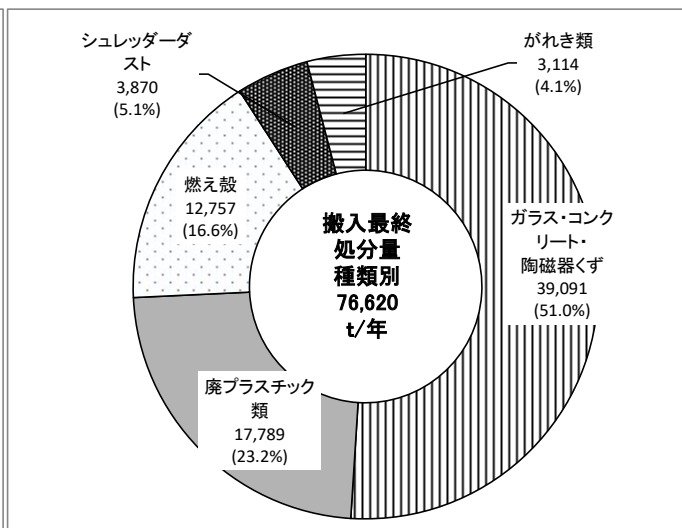
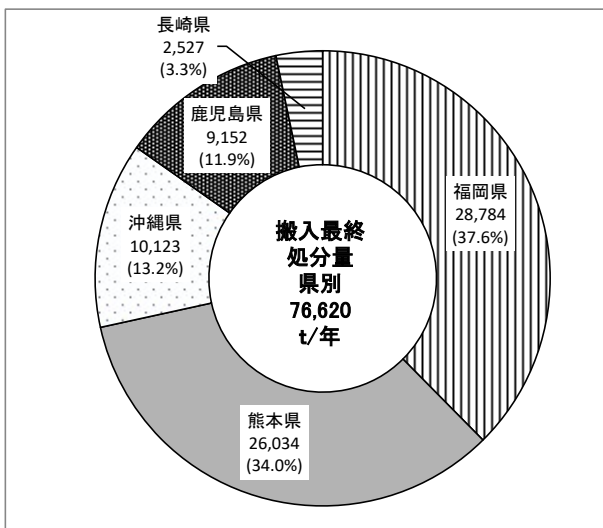


図2-7-7 県外からの県別最終処分搬入量（令和2年度）

図2-7-8 県外からの種類別最終処分搬入量（令和2年度）

第3章 産業廃棄物の推移と目標の達成状況

平成28年3月に改定した「宮崎県循環型社会推進計画」（以下、「計画」という。）の現況値（平成25年度）及び目標値（令和2年度）に対する評価については、以下のとおりである。

第1節 計画の現況値（平成25年度）との比較

1. 排出状況の比較（家畜ふん尿を除く）

令和2年度の排出量を平成25年度と比較すると、図3-1-1～2に示すとおりである。この7年間で、排出量は2.5%減少している。

種類別では汚泥や廃酸などが減少しており、業種別では製造業で減少している。

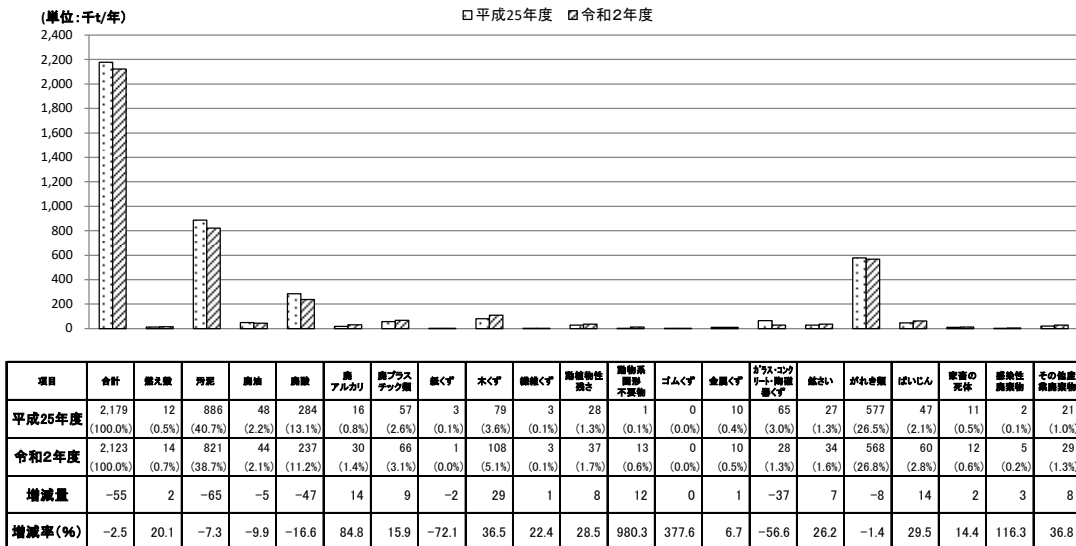


図3-1-1 種類別排出量の比較（家畜ふん尿を除く）

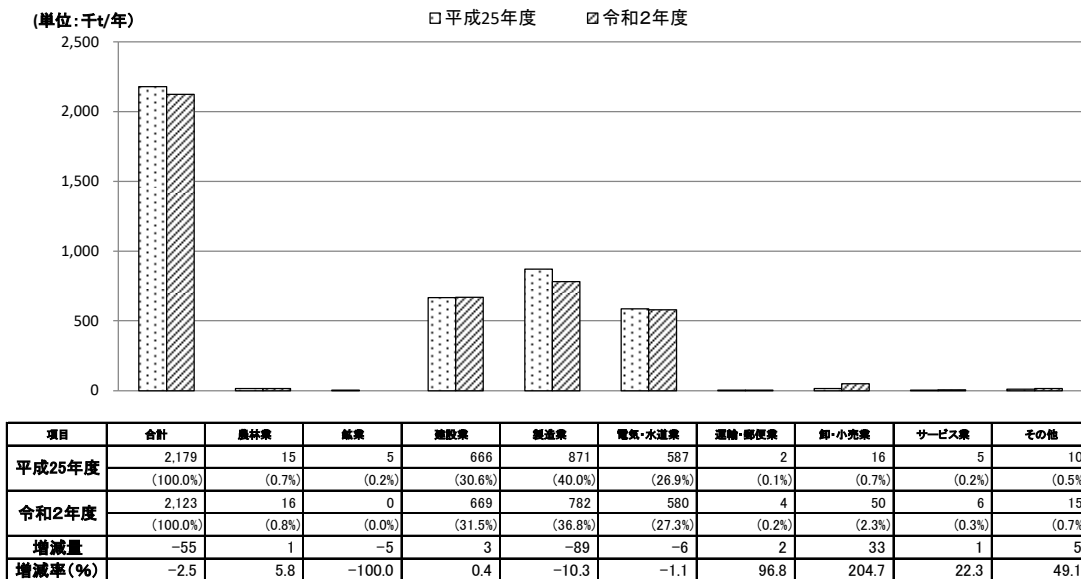


図3-1-2 業種別排出量の比較（家畜ふん尿を除く）

2. 処理・処分状況の比較（家畜ふん尿を除く）

令和2年度の処理・処分状況を平成25年度と比較すると、表3-1-1、図3-1-3に示すとおりである。

排出量は2,179tから2,123tに、再生利用量は969t(44.5%)から855t(40.3%)に、最終処分量は154t(7.1%)から137t(6.4%)に減少している。

表3-1-1 処理・処分状況の比較（家畜ふん尿を除く）

(単位:千t/年)						
項目	平成25年度		令和2年度		増減量	増減率(%)
排出量	2,179	(100.0%)	2,123	(100.0%)	-55	-2.5
再生利用量	969	(44.5%)	855	(40.3%)	-114	-11.8
減量化量	1,055	(48.4%)	1,129	(53.2%)	74	7.0
最終処分量	154	(7.1%)	137	(6.4%)	-17	-11.0
その他量	1	(0.0%)	2	(0.1%)	1	215.4

(注)千トン未満を四捨五入して表示しているため、合計や増減量、増減率が単純計算と一致しないものがある。

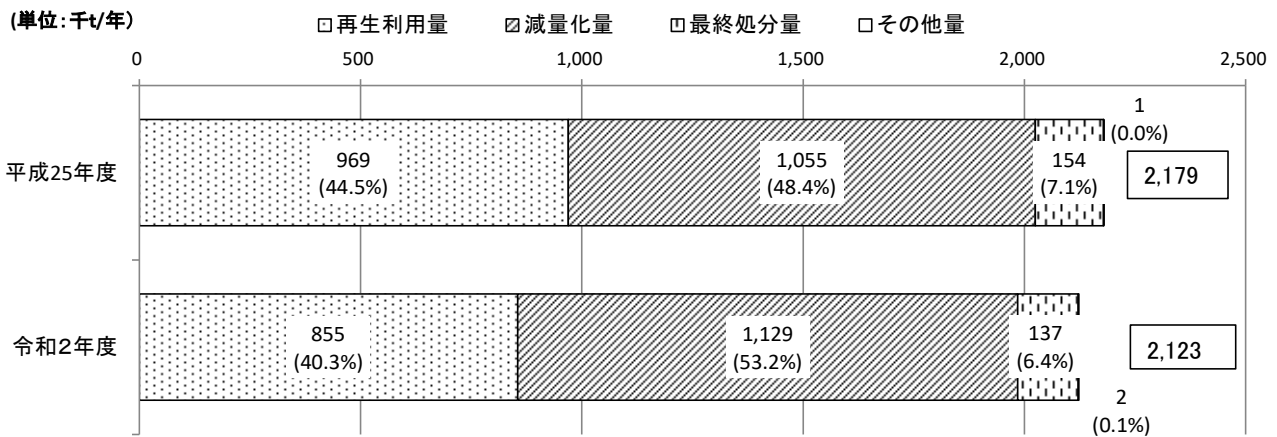


図3-1-3 処理・処分状況の比較（家畜ふん尿を除く）

第2節 目標の達成状況

1. 家畜ふん尿を除く目標値に対する評価

① 排出量

令和2年度の排出量は2,123千トンで、令和2年度の目標値(2,014千トン)を109千トンほど上回っている。

② 再生利用量

令和2年度の再生利用量は855千トン(再生利用率40.3%)で、令和2年度の目標値(906千トン(同45.0%))を51千トン(4.7ポイント)下回っている。

③ 最終処分量

令和2年度の最終処分量は137千トン(最終処分率6.4%)で、令和2年度の目標値(151千トン(同7.5%))を14千トン(1.1ポイント)下回っている。

表3-2-1 数値目標の達成状況(家畜ふん尿を除く)

項目	実績値		今回調査		循環型社会推進計画(改定計画) 令和2年度(目標値)	評価
	平成25年度	令和2年度(現状値)	令和2年度(現状値)	令和2年度(目標値)		
排出量(家畜ふん尿を除く)	2,179 (100.0%)	2,123 (100.0%)	2,123 (100.0%)	2,014 (100.0%)	2,014 (100.0%)	目標を達成していない。
再生利用量(家畜ふん尿を除く)	969 (44.5%)	855 (40.3%)	855 (40.3%)	906 (45.0%)	906 (45.0%)	目標を達成していない。
減量化量(家畜ふん尿を除く)	1,055 (48.4%)	1,129 (53.2%)	1,129 (53.2%)	-	-	-
最終処分量(家畜ふん尿を除く)	154 (7.1%)	137 (6.4%)	137 (6.4%)	151 (7.5%)	151 (7.5%)	目標を達成している。

※()内は排出量に対する割合。
※その他量(保管等)を記載していないので、排出量と個々の合計値が一致しない。

(単位:千t/年)

注)中間処理による減量化量は、排出量から再生利用量、最終処分量、その他量を差し引いた計算上の値のため、評価の対象外とする。

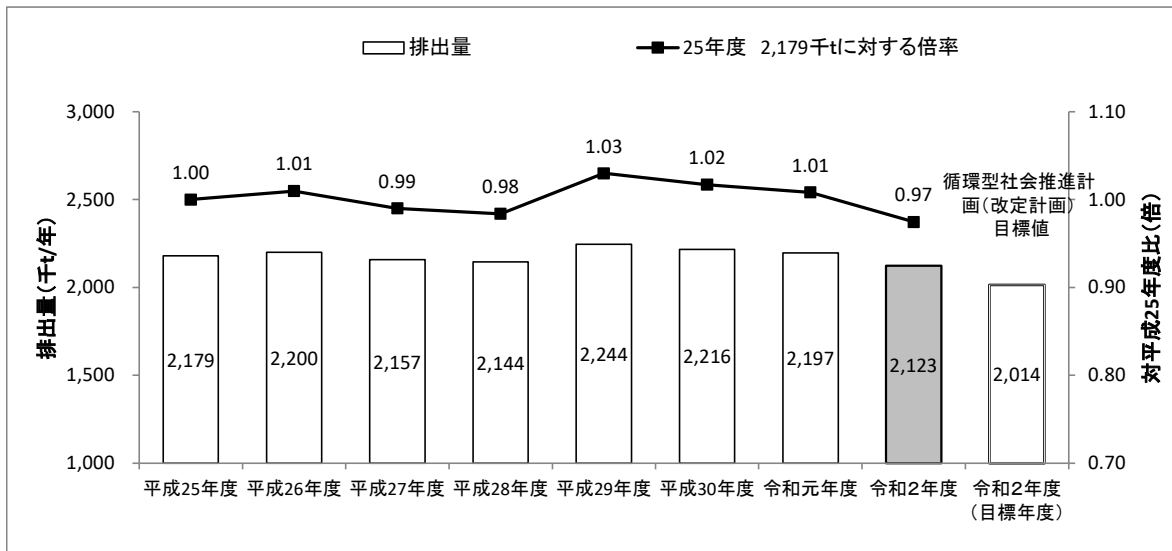


図3-2-1 数値目標の達成状況（排出量・家畜ふん尿を除く）

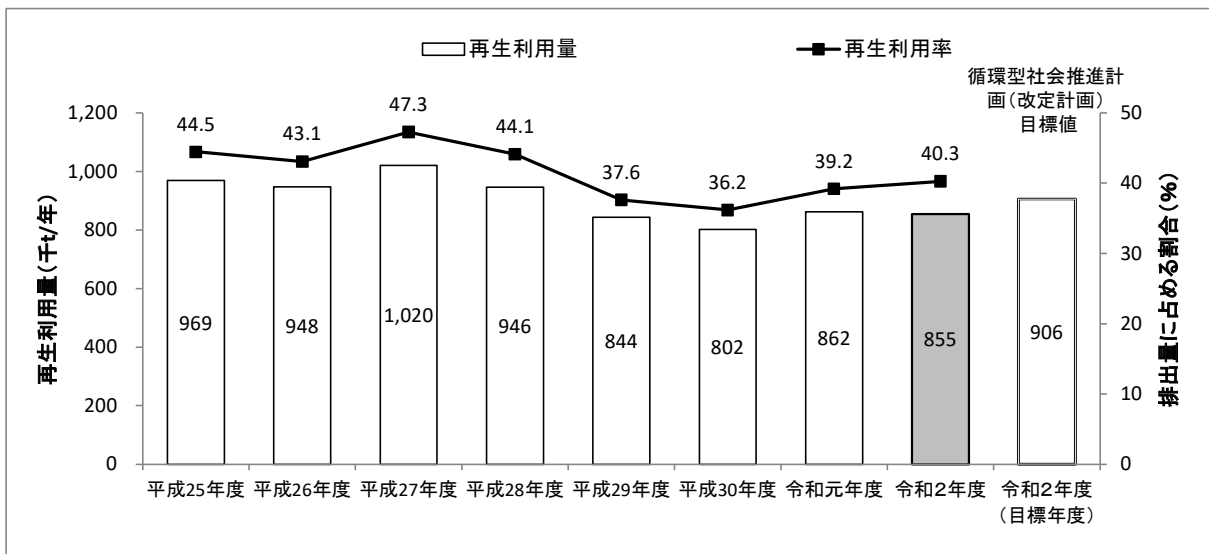


図3-2-2 数値目標の達成状況（再生利用量・家畜ふん尿を除く）

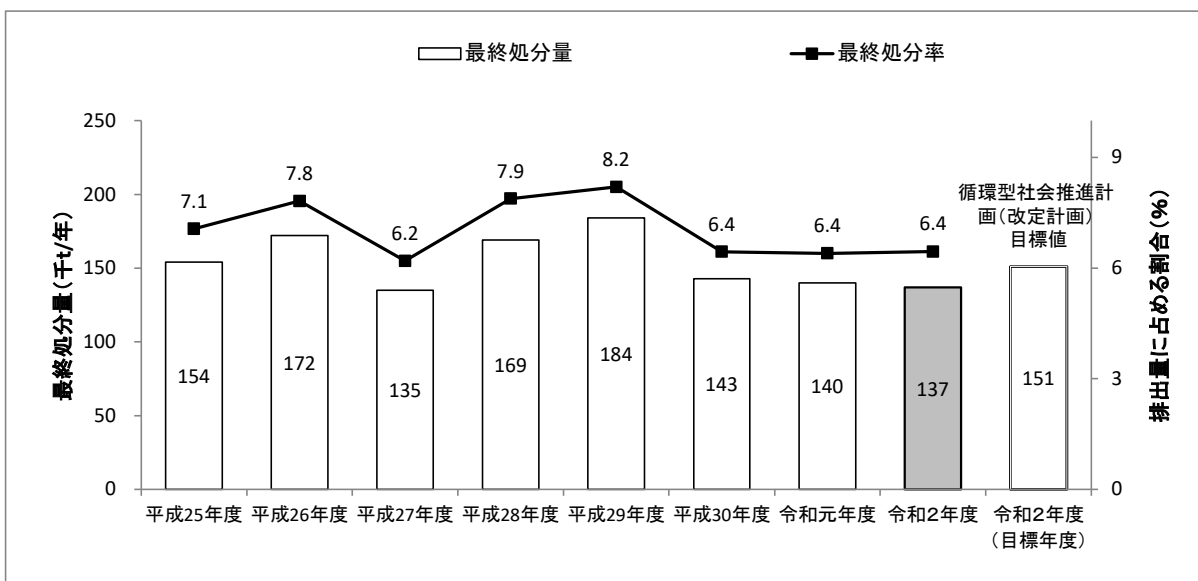


図3-2-3 数値目標の達成状況（最終処分量・家畜ふん尿を除く）

2. 家畜ふん尿を含む目標値に対する評価

① 排出量

令和2年度の排出量は5,845千トンで、令和2年度の目標値(5,977千トン)を132千トンほど下回っている。

② 再生利用量

令和2年度の再生利用量は3,830千トン(再生利用率65.5%)で、令和2年度の目標値(4,005千トン(同67.0%))を175千トン(1.5ポイント)下回っている。

③ 最終処分量

令和2年度の最終処分量は137千トン(最終処分率2.3%)で、令和2年度の目標値のうち、最終処分量(151千トン)は14千トン下回っているが、最終処分率(2.2%)は0.1ポイント上回っている。

表3-2-2 数値目標の達成状況(家畜ふん尿を含む)

項目	実績値	今回調査
	平成25年度	令和2年度 (現状値)
排出量(家畜ふん尿を含む)	6,096 (100.0%)	5,845 (100.0%)
再生利用量(家畜ふん尿を含む)	4,032 (66.1%)	3,830 (65.5%)
減量化量(家畜ふん尿を含む)	1,911 (31.3%)	1,876 (32.1%)
最終処分量(家畜ふん尿を含む)	154 (2.5%)	137 (2.3%)

※()内は排出量に対する割合。
※その他量(保管等)を記載していないので、排出量と個々の合計値が一致しない。

(単位:千t/年)

循環型社会推進 計画(改定計画)	評価
令和2年度 (目標値)	
5,977 (100.0%)	目標を達成している。
4,005 (67.0%)	目標を達成していない。
1,821 (30.5%)	-
151 (2.2%)	量は目標を達成しているが、率は目標を達成していない。

注) 中間処理による減量化量は、排出量から再生利用量、最終処分量、その他量を差し引いた計算上の値のため、評価の対象外とする。

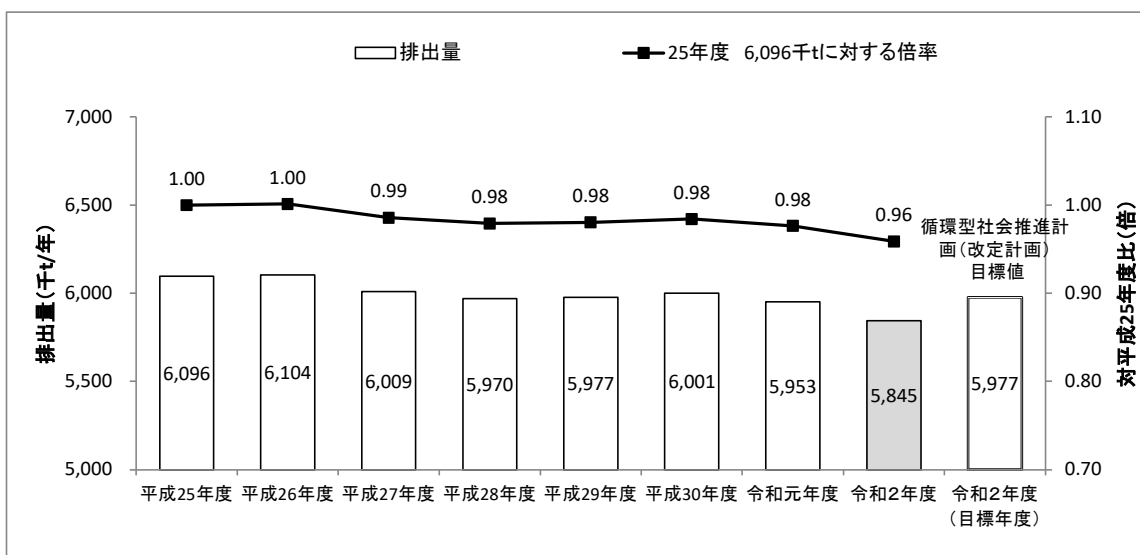


図3-2-4 数値目標の達成状況（排出量・家畜ふん尿を含む）

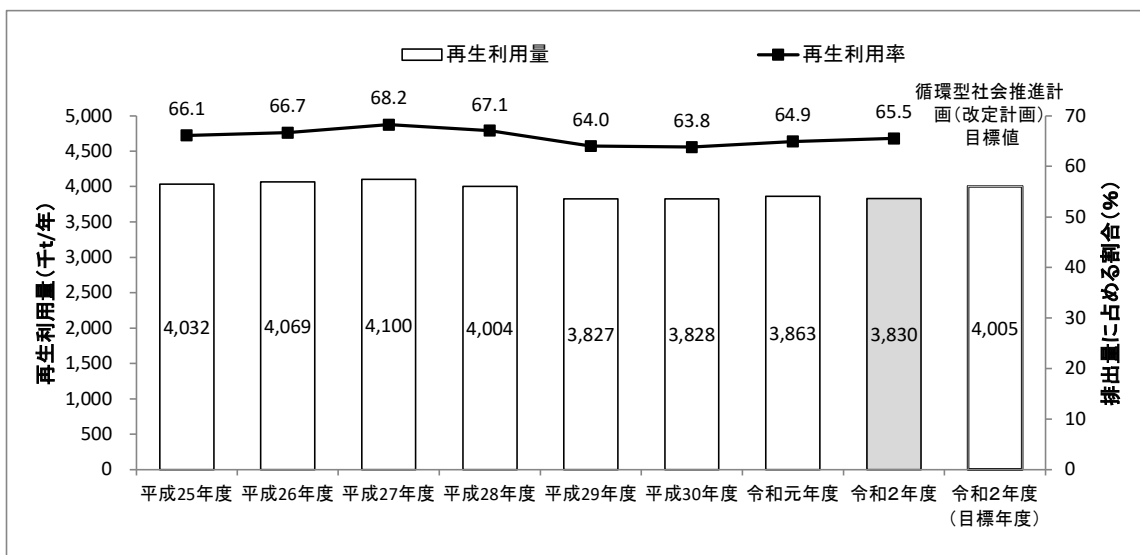


図3-2-5 数値目標の達成状況（再生利用量・家畜ふん尿を含む）

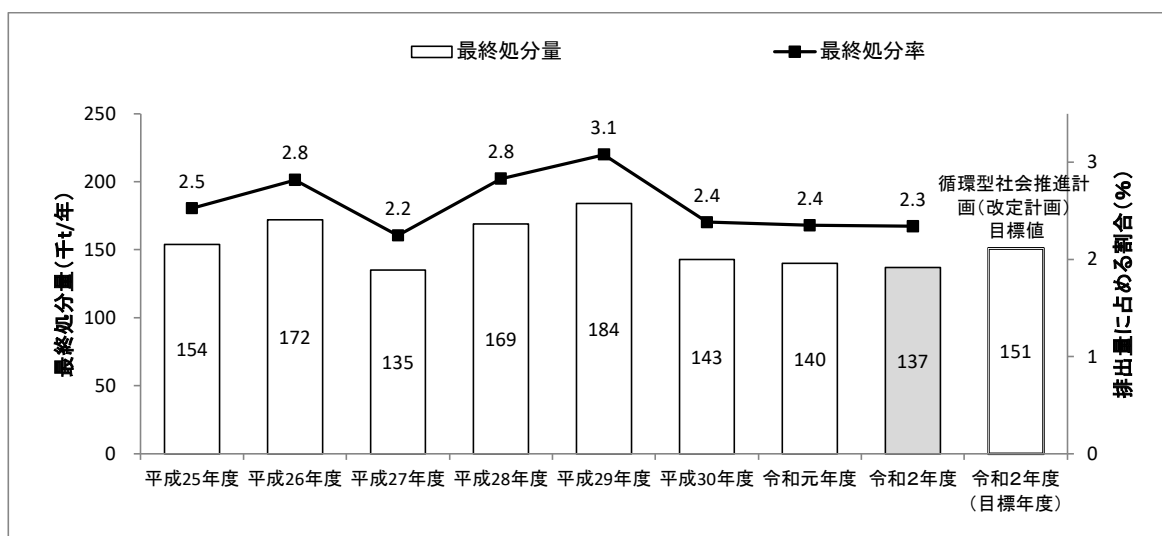


図3-2-6 数値目標の達成状況（最終処分量・家畜ふん尿を含む）

3. 目標達成率と評価及び今後の対応

令和2年度の計画目標に対する現状（令和2年度）の達成状況、評価・今後の対応等をまとめると表3-2-3に示すとおりである。

計画目標の達成状況を達成率%（増加目標の場合：現状値／目標値×100、抑制・削減目標の場合：目標値／現状値×100）で見ると、家畜ふん尿を除く産業廃棄物では、排出量は減少傾向にあるが、目標は達成していないため、引き続き排出抑制の取組が必要である。また、再生利用量に関しても目標値を達成していない。一方、最終処分量は目標値をほぼ達成している状況となっている。

家畜ふん尿を含む産業廃棄物では、排出量は減少傾向にあり目標値は達成している。また、最終処分量に関しても目標値を達成している。一方、再生利用量は目標値を達成していない状況となっている。

表3-2-3 数値目標の達成率

区分	項目	家畜ふん尿を除く	家畜ふん尿を含む	評価・今後の対応
		達成率(%)	達成率(%)	
排出量		94.9%	102.3%	■家畜ふん尿を除く排出量は目標を達成していない。 ■製造業は、平成30年度以降減少傾向で推移しているが、建設業に関しては増加傾向に推移している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で製造業が停滞していたことも考えられるため、今後正常時に戻った際には、引き続き排出抑制に取り組んでいく必要がある。
		$(2,014 \div 2,123) \times 100$	$(5,977 \div 5,845) \times 100$	
再生利用量		94.4%	95.6%	■再生利用量はいずれも目標を達成していない。 ■平成27年度以降、減少傾向にあったが、令和元年度に前年度を上回り、令和2年度も同水準での推移がみられた。引き続き、排出量の多い製造業と建設業の再生利用量を引き上げる取組が必要である。特に製造業において動植物性残さや汚泥の再生利用率が減少傾向にあるため、引き続き再生利用に係る取組を進めていく必要がある。
		$(855 \div 906) \times 100$	$(3,830 \div 4,005) \times 100$	
再生利用率		89.5%	97.8%	
		$(40.3 \div 45.0) \times 100$	$(65.5 \div 67.0) \times 100$	
中間処理による減量		-	103.0%	---
		-	$(1,876 \div 1,821) \times 100$	
	減量率	-	105.4%	
最終処分量		-	$(32.10 \div 30.47) \times 100$	
		110.3%	110.3%	
		$(151.0 \div 136.9) \times 100$	$(151.0 \div 136.9) \times 100$	
最終処分率		116.3%	94.0%	■最終処分量及び最終処分率は概ね目標を達成している。 ■建設業は、平成29年度以降減少傾向にある。製造業も平成28年度以降、減少傾向にあるが、令和2年度は前年度を上回った。引き続き、最終処分量の多い建設業のがれきり類、製造業のガラスくず、鉦さいなどの再生利用や減容化に係る取組を継続し、最終処分量を削減していく必要がある。
		$(7.50 \div 6.45) \times 100$	$(2.20 \div 2.341) \times 100$	

統計表

- 1 - 1 業種別－種類別－発生量
- 2 - 1 業種別－種類別－排出量
- 3 - 1 業種別－発生及び処理・処分状況
- 4 - 1 種類別－発生及び処理・処分状況
- 4 - 2 種類別－発生及び処理・処分状況（種類：無変換）
- 5 - 1 種類別－発生及び処理・処分状況〈宮崎県北部〉
- 5 - 2 種類別－発生及び処理・処分状況〈西都・児湯〉
- 5 - 3 種類別－発生及び処理・処分状況〈宮崎・東諸県〉
- 5 - 4 種類別－発生及び処理・処分状況〈日南・串間〉
- 5 - 5 種類別－発生及び処理・処分状況〈都城・北諸県〉
- 5 - 6 種類別－発生及び処理・処分状況〈西諸県〉
- 6 - 1 業種別－種類別－発生量（特管）
- 6 - 2 業種別－種類別－排出量（特管）
- 6 - 3 種類別－発生及び処理・処分状況（特管）
- 7 - 1 種類別－発生及び処理・処分状況（農業を含む）

表4-1 種類別一発生及び処理・処分状況【令和2年度】（家畜ふん尿を除く）

(その1)

(単位：t/年)

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理量						自己未処理量						搬出量		自己最終処分量	
				自己中間処理後量			自己中間処理後の処理内訳			自己未処理量			自己未処理の処理内訳			(H) (I+K+J)	(1) (E2+E2)		
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	その他量 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	その他量 (G5)	再生利用量 (G3)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)						
														(D)	(E)	(E3)	(E4)	(E4)	(E3)
合計	2,224,441	101,178	2,123,263	978,579	50,837	511	45,514	1,396	6	1,144,684	10,767	33,999	1,025,549	72,466	1,902	1,181,343	34,511	34,511	
燃え殻	15,986	1,632	14,355	5,957	118	511	4,563	759	6	14,355	67	10,953	1,459	1,875	1,875	184,352	578	578	
汚泥	822,454	970	821,484	26,587	3,661	91	22,834	91	0	161,464	37	153,674	7,753	184,352	184,352				
有機性汚泥	719,869	432	719,437	581,191	19,025	719	18,297	9		138,246	37	135,515	2,693	156,515	156,515				
無機性汚泥	102,585	538	102,047	78,828	2,943	82	4,537	82	0	23,218		18,158	5,060	27,838	27,838				
廃油	49,587	5,922	43,665	20,956	4	4				22,709	4,428	18,273		7	18,281				
一般廃油	23,368	5,866	17,502							17,502		17,495		7	17,502				
廃溶剤	265	2	263	4	4	4				260		260		260					
固形油	33		33							33		33		33					
油でい	24,875	55	24,821	20,189						4,632	4,428	203		203					
油付着物類	1,046		1,046	763						283		283		283					
廃酸	243,041	5,952	237,089	210,011	18,148	7,892	10,256			27,078	5,989	21,089		31,345					
廃アルカリ	30,431		30,431	365						30,065		30,065		30,065					
廃プラスチック類	73,991	7,603	66,388	4,549	3,770	14	3,756			61,839	4	53,631	8,203	65,595	4	4			
廃プラスチック	65,270	7,583	57,687	475	466	14	452			57,212	4	49,005	8,203	57,664	4	4			
廃タイヤ	8,721	20	8,701	4,074	3,304		3,304			4,627		4,626	0	7,931					
紙くず	1,617	740	877	12						866		848	18	866					
木くず	148,059	39,602	108,457	35,418	3,967	3,913	53			73,039		70,600	2,439	73,092					
繊維くず	6,976	3,861	3,115	11						3,104		3,070	35	3,104					
動植物性残さ	42,467	5,848	36,618	10,809	2,162	138	2,024			25,809		25,681	129	27,833					
動物系固形不要物	12,790		12,790							12,790		12,790		12,790					
ゴムくず	498	149	349							349		347	1	349					
金属くず	39,122	28,857	10,264	557	557		557			9,707		8,868	840	10,264					
ガラス・セラミック・陶磁器くず	28,124	0	28,124	372	372	67	306			27,752		18,128	9,624	28,057	0	0			
鉛さい	34,473		34,473							34,473		719	4	34,473					
がれき類	568,442		568,442	35,500	35,080	35,031	49			532,942	313	2	505,181	27,447	532,679	2	2		
コンクリート片	261,794		261,794	11,554	11,134	11,084	49			250,240	10	237,603	12,627	250,280					
廃アスファルト	269,136		269,136	23,946	23,946	23,946				245,190	303	243,213	1,674	244,887					
その他	37,511		37,511							37,511		2	24,364	13,146	37,511	2	2		
ばいじん	60,261		60,261	1,661	1,114	546	1,114			60,261		176	60,044	41	61,922	176	176		
家畜ふん尿																			
家畜の死体	12,497		12,497							12,497		12,497		12,497					
その他産業廃棄物	33,625	40	33,585	0	0	0	0			33,585		1	19,092	14,472	20	33,585	1	1	
感染性廃棄物	4,993		4,993							4,993		4,993		4,993					
リサイクル固形化物(13号)																			
石棉含有廃棄物	865		865							865		147	719	865					
安部理命廃棄物	24,281	0	24,281							24,281		1	11,744	12,516	20	24,281	1	1	
管理型混合廃棄物	1,928		1,928							1,928		813	1,115	1,928					
混合物等	1,559	40	1,518	0	0	0	0			1,518		1,395	123	0	1,518				

表4-1 種類別一発生及び処理・処分状況【令和2年度】（家畜ふん尿を除く）

区分 種類	委託処理量																	再生利用量					最終処分量				その他量		資源化量 (S) (B+R)
	委託直接最終処分量				委託中間処理量				委託先地域の内訳				委託中間処理後量					再生利用量		最終処分量				その他量 (J) (E+G5)					
	(K) (O+L)		(M)		(N)		(O)		(P)		(Q)		(R)		(S)			(T)		(U) (V+W+X)									
	事業者		自治体		県内		県外		事業者		自治体		県内		県外		(委託処理後の処理内訳)		(委託処理後の処理内訳)		(R)		(U)						
	(O)		(L)		(M)		(N)		(O)		(P)		(Q)		(R)		(S)			(T)		(U)							
合計	1,144,925	73,862	73,120	742	73,854	8	1,071,063	1,069,962	1,101	958,589	112,473	821,995	793,500	28,495	855,104	136,867	34,511	742	101,615	1,908	956,282								
燃え殻	17,734	2,218	1,510	707	2,218		15,517	15,517		5,819	9,697	10,881	7,220	3,661	7,338	6,457	578	707	5,172	1,881	8,969								
汚泥	184,352	7,845	7,845		7,845		176,508	176,508		160,331	16,176	51,572	50,066	1,507	53,764	9,351			9,351	0	54,734								
有機性汚泥	156,515	2,702	2,702		2,702		153,813	153,813		145,443	8,370	29,162	28,840	322	29,596	3,025			3,025		30,028								
無機性汚泥	27,837	5,142	5,142		5,142		22,695	22,695		14,888	7,807	22,410	21,226	1,184	24,168	6,327			6,327	0	24,707								
廃油	18,273						18,273	18,273		9,172	9,101	10,129	9,940	189	14,372	189			189	7	20,294								
一般廃油	17,495						17,495	17,495		8,718	8,777	9,739	9,591	147	9,591	147			147	7	15,457								
廃溶剤	260						260	260		39	220	180	0		184	0			0		186								
固形油	33						33	33		33																			
油でい	203						203	203		186	17	162	122	40	4,550	40			40		4,605								
油付汚物類	283						283	283		196	87	47	47		47	1			1		47								
廃酸	31,345						31,345	31,345		23,497	7,848	24,558	24,558		38,439						44,391								
廃アルカリ	30,065						30,065	30,065		22,177	7,888	16,912	16,869	43	16,869	43			43		16,869								
廃プラスチック類	65,591	8,203	8,203	0	8,203		57,387	56,341	1,047	49,685	7,703	45,012	42,442	2,575	42,456	10,783	4	0	10,778		50,059								
廃プラスチック	57,660	8,203	8,203	0	8,203		49,457	48,410	1,047	44,344	5,112	37,217	34,834	2,382	34,848	10,590	4	0	10,586		42,432								
廃タイヤ	7,931	0	0				7,930	7,930		5,340	2,590	7,801	7,608	193	7,608	193			193		7,628								
紙くず	866	18	18				848	848		796	52	461	448		448	31			31		1,188								
木くず	73,092	2,439	2,439				70,653	70,650	3	69,398	1,255	58,880	58,401	479	62,314	2,918			2,918		101,916								
繊維くず	3,104	35	35				3,070	3,020	50	2,772	298	158	158	0	158	35			35		4,019								
動植物性残さ	27,833	129	129				27,704	27,704		26,973	732	6,954	6,953	1	7,091	130			130		12,939								
動物系固形不要物	12,790						12,790	12,790		12,778	12	12,778	12,778		12,778						12,778								
ゴムくず	349	1	1				347	347		54	294	1	1	0	1	1			1		150								
金属くず	10,264	840	839	0	840		9,425	9,425	0	8,889	536	9,076	8,522	555	8,522	1,394	0	1,394		37,379									
ガラス・セラミック・陶磁器くず	28,057	9,624	9,591	33	9,615	8	18,433	18,433	0	18,010	424	17,933	9,579	8,354	9,646	17,978	0	33	17,945		9,646								
銅さい	724	4	4				719	719		719		719	719		719	33,753	33,749	4			719								
がれき類	532,677	27,447	27,447				505,230	505,230		505,230		505,093	5,127	2	535,436	32,576	2		32,574		535,436								
コンクリート片	250,280	12,627	12,627				237,653	237,653		237,653		237,653	234,066	3,587	245,159	16,215			16,215		245,159								
廃アスファルト	244,887	1,674	1,674				243,213	243,213		243,213		243,213	242,402	811	266,651	2,485			2,485		266,651								
その他	37,510	13,146	13,146				24,364	24,364		24,364		24,364	23,625	729	23,625	13,876	2		13,874		23,625								
ばいじん	61,746	587	587				61,158	61,158		13,014	48,145	24,407	24,407		24,407	764	176		587		24,407								
家畜ふん尿																													
家畜の死体	12,497						12,497	12,497		12,497		12,497	12,497		12,497						12,497								
その他産業廃棄物	33,564	14,472	14,471	2	14,472		19,092	19,091	1	17,498	1,594	13,839	7,849	5,991	7,849	20,464	1	2	20,461	20	7,889								
感染性廃棄物	4,993						4,993	4,993		4,944	49																		
形状不規則物(13号)																													
石綿含有廃棄物	865	719	719				147	147		147		147	108	39	108	758			758		108								
安定型混合廃棄物	24,260	12,516	12,516				11,744	11,744		11,475	269	11,653	6,248	5,406	6,248	17,923	1		17,922	20	6,248								
管理型混合廃棄物	1,928	1,115	1,115				813	813		813	0	647	105	542	105	1,656			1,656		105								
混合物等	1,518	123	121	2	123		1,395	1,394	1	1,119	1,276	1,392	1,388	4	1,388	127	2		125	0	1,428								

(単位：t/年)

表4-2 種類別（中間処理による物質変換をしないタイプ）－発生及び処理・処分状況【令和2年度】（家畜ふん尿を除く）

（その1）

区 分 種 類	発生量		有償物量		排出量		自己中間処理量				自己未処理量				自己最終処分量				(単位：t/年)				
	(A) (B+C)	(B)	(C) (D+E)	自己中間処理後				自己未処理				自己最終処分											
				自己中間処理後の処理内訳				自己未処理の処理内訳				自己最終処分の処理内訳											
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(H) (I+K+J)	搬出量		自己最終処分量						
															(1)	(2)	(3)	(4)		(5)	(6)		
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)										
合計	2,224,441	101,178	2,123,263	978,579	98,264	50,837	511	45,514	1,396	6	1,144,684	10,767	33,999	1,025,549	72,466	1,902	1,181,343	34,511	34,511				
燃え殻	15,986	1,632	14,355								14,355		67	10,953	1,459	1,875	14,355	67					
汚泥	822,454	970	821,484	660,019	30,331	3,211	511	26,481	128	0	161,464	37	153,674	7,753		188,548	511	511					
有機性汚泥	719,869	432	719,437	581,191	23,229	719	511	21,953	46		138,246	37	135,515	2,693		160,719	511	511					
無機性汚泥	102,585	538	102,047	78,828	7,102	2,492		4,528	82	0	23,218		18,158	5,060		27,829							
汚油	49,587	5,922	43,665	20,956	21	4		18			22,709	4,428	18,273		7	18,298							
一般廃油	23,368	5,866	17,502								17,502		17,495		7	17,502							
廃溶剤	265	2	263	4	4	4					260		260		260								
固形油	33		33								33		33		33								
油でい	24,875	55	24,821	20,189	9	9		9			4,632	4,428	203		212								
油付着物類	1,046		1,046	763	9	9		9			283		283		292								
廃酸	243,041	5,952	237,089	210,011	18,690	8,364		10,325			27,078	5,989	21,089		31,414								
廃アルカリ	30,431		30,431	365	96	96					30,065		30,065		30,065								
廃プラスチック類	73,991	7,603	66,388	4,549	4,105	14		4,091	0		61,839	4	53,631	8,203		65,930	4	4					
廃プラスチック	65,270	7,583	57,687	475	466	14		452	0		57,212	4	49,005	8,203		57,665	4	4					
廃タイヤ	8,721	20	8,701	4,074	3,639			3,639			4,627		4,626	0		8,266							
紙くず	1,617	740	877	12	2						866		848	18		867							
木くず	148,059	39,602	108,457	35,418	6,846	3,913		1,662	1,264	6	73,039		70,600	2,439		75,972							
繊維くず	6,976	3,861	3,115	11	2				2		3,104		3,070	35		3,106							
動植物性残さ	42,467	5,848	36,618	10,809	2,162	138		2,024			25,809		25,681	129		27,833							
動物系固形不要物	12,790		12,790								12,790		12,790			12,790							
ゴムくず	498	149	349								349		347	1		349							
金属くず	39,122	28,857	10,264	557	557			557			9,707		8,868	840		10,264							
ガラス・コカイト・陶磁器くず	28,124	0	28,124	372	372	67		306			27,752		18,128	9,624		28,057	0	0					
鉱さい	34,473		34,473								34,473		719	4		34,473							
がれき類	568,442		568,442	35,500	35,080	35,031		49			532,942	313	2	505,181	27,447	532,679	2	2					
コンクリート片	261,794		261,794	11,554	11,134	11,084		49			250,240	10		237,603	12,627	250,280							
廃アスファルト	269,136		269,136	23,946	23,946	23,946					245,190	303		243,213	1,674	244,887							
その他	37,511		37,511								37,511		2	24,364	13,146	37,511	2	2					
はいじん	60,261		60,261								60,261		176	60,044	41	60,261							
家畜ふん尿																							
家畜の死体	12,497		12,497								12,497					12,497							
その他産業廃棄物	33,625	40	33,585	0	0			0			33,585		1	19,092	14,472	20	33,585	1	1				
感染性廃棄物	4,993		4,993								4,993		4,993			4,993							
カド・放射性物質(13号)																							
石棉含有廃棄物	865		865								865		147	719		865							
安定型混合廃棄物	24,281	0	24,281								24,281		1	11,744	12,516	20	24,281	1	1				
管理型混合廃棄物	1,928		1,928								1,928		813	1,115		1,928							
混合物等	1,559	40	1,518	0	0			0			1,518		1,395	123	0	1,518							

表4-2 種類別（中間処理による物質変換をしないタイプ）－発生及び処理・処分状況【令和2年度】（家畜ふん尿を除く）

区 分	委託処理量											委託中間処理量		委託先地域の内訳						委託処理後の処理内訳				再生利用量		最終処分量			その他量		資源化量
	委託直接最終処分量		(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		委託中間処理後量		(委託処理後の処理内訳)		再生利用量		最終処分量		(委託処理後の処理内訳)		(委託処理後の処理内訳)		再生利用量		最終処分量		再生利用量		最終処分量		その他量				
	(K)	(O-L)	事業者	自治体	県内	県外	事業者	自治体	県内	県外	(M)	(N)	(O)	(P)	事業者	自治体	県内	県外	(R)	(S)	(T)	(U)	(V)	(W)	(X)	(Y)	(Z)	(AA)			
燃え殻	1,144,925	73,862	73,120	742	73,854	8	1,071,063	1,069,962	1,101	988,589	112,473	821,995	793,500	28,495	855,104	136,867	34,511	742	101,615	742	101,615	1,908	1,875	1,908	956,282	1,875	1,908	956,282			
汚泥	188,036	7,882	7,882	7,882	7,882	7,882	180,155	180,155	180,155	163,389	16,389	50,183	48,882	1,300	52,130	9,693	511	9,182	0	9,182	0	0	0	0	53,101	0	53,101	53,101			
有機性汚泥	160,208	2,739	2,739	2,739	2,739	2,739	157,468	157,468	157,468	148,886	8,583	30,064	29,624	440	30,380	3,691	511	3,180	0	3,180	0	0	0	30,812	0	30,812	30,812				
無機性汚泥	27,829	5,142	5,142	5,142	5,142	5,142	22,686	22,686	22,686	14,880	7,807	20,118	19,259	860	21,750	6,002	0	6,002	0	6,002	0	0	0	22,289	0	22,289	22,289				
廃油	18,291						18,291	18,291	18,291	9,181	9,110	10,296	10,082	233	14,494	233									20,417		20,417	20,417			
一般廃油	17,495						17,495	17,495	17,495	8,718	8,777	9,891	9,707	184	9,707	184									15,573		15,573	15,573			
廃溶剤	260						260	260	260	39	220	183	181	2	185	2									186		186	186			
固形油	33						33	33	33	33	33	33	33	3	33	3															
油でい	212						212	212	212	186	26	167	126	40	4,555	40									4,609		4,609	4,609			
油付汚物類	292						292	292	292	205	87	52	47	5	47	5									47		47	47			
廃酸	31,414						31,414	31,414	31,414	23,497	7,917	25,092	24,710	381	39,084	381									45,016		45,016	45,016			
廃アルカリ	30,085						30,085	30,085	30,085	22,177	7,888	18,847	18,765	82	18,861	82									18,861		18,861	18,861			
廃プラスチック類	65,926	8,204	8,204	0	8,204		57,722	56,676	1,047	49,689	8,033	46,065	42,993	3,072	43,007	11,280	4	0	11,275	0	11,275	0	0	0	50,610		50,610	50,610			
廃プラスチック	57,660	8,203	8,203	0	8,203		49,457	48,410	1,047	44,344	5,112	37,928	35,053	2,875	35,067	11,083	4	0	11,078	0	11,078	0	0	0	42,651		42,651	42,651			
廃タイヤ	8,266	0	0	0	0		8,266	8,266	8,266	5,345	2,920	7,940	7,940	197	7,940	197								7,960		7,960	7,960				
紙くず	867	20	20	20	20		848	848	848	796	52	499	449	50	449	70									1,189		1,189	1,189			
木くず	75,966	3,704	3,704	3,704	3,704		72,262	72,259	3	71,007	1,255	60,883	58,742	2,141	62,655	5,845									102,257		102,257	102,257			
繊維くず	3,106	36	36	36	36		3,070	3,020	50	2,772	298	266	176	89	176	125									4,038		4,038	4,038			
動物性残渣	27,833	129	129	129	129		27,704	27,704	27,704	26,973	732	7,216	6,967	249	7,105	378									12,953		12,953	12,953			
動物系固形不要物	12,790						12,790	12,790	12,790	12,778	12	12,790	12,790		12,790										12,790		12,790	12,790			
ゴムくず	349	1	1	1	1		347	347	347	54	294	36	34	2	34	3									183		183	183			
金属くず	10,264	840	839	0	840		9,425	9,425	0	8,889	536	9,076	8,522	555	8,522	1,394	0	1,394	0	1,394	0	0	0	37,379		37,379	37,379				
ガラス・プラスチック・陶磁器くず	28,057	9,624	9,591	33	9,615	8	18,433	18,433	0	18,010	424	17,933	9,579	8,354	9,646	17,978	0	33	17,945	0	17,945	33	17,945	0	9,646		9,646	9,646			
鋸さい	724	4	4	4	4		719	719	719	719	719	719	719		719	33,753	33,749	4						719		719	719				
がれき類	532,677	27,447	27,447	27,447	27,447		505,230	505,230	505,230	505,230	505,230	505,230	505,230	5,127	535,436	32,576	2	32,574	0	32,574	0	0	0	535,436		535,436	535,436				
コンクリート片	250,280	12,627	12,627	12,627	12,627		237,653	237,653	237,653	237,653	237,653	237,653	237,653	3,587	245,159	16,215								245,159		245,159	245,159				
廃アスファルト	244,887	1,674	1,674	1,674	1,674		243,213	243,213	243,213	243,213	243,213	243,213	242,402	811	266,651	2,485								266,651		266,651	266,651				
その他	37,510	13,146	13,146	13,146	13,146		24,364	24,364	24,364	24,364	24,364	24,364	23,625	729	23,625	13,876	2	13,874	0	13,874	2	13,874	0	23,625		23,625	23,625				
ばいじん	60,085	41	41	41	41		60,044	60,044	60,044	11,968	48,076	24,233	24,233		24,233	217	176	41						24,233		24,233	24,233				
家畜ふん尿	12,497						12,497	12,497	12,497	12,497	12,497	12,497	12,497		12,497										12,497		12,497	12,497			
家畜の死体	33,564	14,471	14,471	2	14,472		19,092	19,091	1	17,498	1,594	14,763	6,838	7,925	7,925	21,312	1	2	21,309	0	21,309	2	21,309	0	7,965		7,965	7,965			
その他産業廃棄物	4,993						4,993	4,993	4,993	4,944	49	924	76	848	76	848									76		76	76			
感染性廃棄物																															
カビ・真菌形廃棄物(13号)																															
石綿含有廃棄物	865	719	719	719	719		147	147	147	147	147	147	108	39	108	758								758		758	758				
安定型混合廃棄物	24,260	12,516	12,516	12,516	12,516		11,744	11,744	11,744	11,475	269	11,653	6,248	5,406	6,248	17,923	1	17,922	0	17,922	1	17,922	0	6,248		6,248	6,248				
管理型混合廃棄物	1,928	1,115	1,115	1,115	1,115		813	813	813	813	0	647	105	542	105	1,656								1,656		1,656	1,656				
混合物等	1,518	123	121	2	123		1,395	1,394	1	1,119	1,276	1,392	1,388	4	1,388	127	2	125	0	125	2	125	0	1,428		1,428	1,428				

(単位：t/年)

表5-1 種類別一発生及び処理・処分状況【令和2年度】（農業を除く）〈宮崎県北部〉

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理量				自己未処理量				搬出量				自己最終処分量		
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	自己最終処分量		
																県内	県外	
																		(J)
(F)	(D)	(E)	(E)	(E)	(E)	(G)	(G)	(G)	(G)	(H)	(H)	(I)	(J)	(K)				
合計	573,219	21,251	551,967	138,399	13,771	5,056	7,709	1,006	0	413,568	4,428	33,749	347,911	27,369	111	417,855	33,749	33,749
燃え殻	8,278	1,632	6,646	1,015			556	460		6,646			6,389	154	104	7,662		
汚泥	194,644	379	194,265	99,860	6,169	67	6,102		0	94,405			92,480	1,945	100,507			
有機性汚泥	189,942	379	189,563	99,741	6,077	67	6,010			89,823			89,306	517	95,833			
無機性汚泥	4,702		4,702	119	92		92		0	4,582			3,154	1,428	4,674			
廃油	37,452	5,267	32,185	20,952						11,233	4,428		6,798		7	6,805		
一般廃油	11,688	5,266	6,423							6,423			6,416		7	6,423		
廃溶剤	193	1	192							192			192					
固形油	11		11							11			11					
油でい	24,728		24,728	20,189						4,539	4,428		111		111			
油付着物類	831		831	763						68			68		68			
廃酸	9,901		9,901	6,250	1,512	1,512				3,652			3,652			3,652		
廃アルカリ	7,778		7,778							7,778			7,778			7,778		
廃プラスチック類	18,895	5,419	13,477							13,477			11,353	2,124	13,477			
廃プラスチック	18,538	5,419	13,119							13,119			10,996	2,123	13,119			
廃タイヤ	358		358							358			357	0	358			
紐くず	362		362							362			360	2	362			
木くず	23,746	543	23,203	6,624	6					16,578			16,076	503	16,585			
繊維くず	6,732	3,861	2,871							2,871			2,868	3	2,871			
動物性残渣	9,230	540	8,690	1,374	138	138				7,317			7,305	11	7,317			
動物系固形不燃物																		
ゴムくず	2		2							2			1	1	2			
金属くず	4,992	3,611	1,381							1,381			1,280	101	1,381			
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	8,544		8,544							8,544			4,861	3,683	8,544			
銅さい	33,753		33,753							33,753			33,749	4	33,753	33,749	33,749	
がれき類	149,864		149,864	3,340	3,340	3,340				146,524			131,971	14,553	146,524			
コンクリート片	99,140		99,140							99,140			90,963	8,177	99,140			
廃プラスチック	44,480		44,480	3,340	3,340	3,340				41,140			40,664	476	41,140			
その他	6,245		6,245							6,245			345	5,900	6,245			
ばいじん	39,116		39,116	1,592			1,045	546		39,116			39,116		40,707			
発着ふん尿																		
発着の死体	12,497		12,497							12,497			12,497		12,497			
その他産業廃棄物	7,430		7,430							7,430			3,145	4,285	7,430			
感染性廃棄物	1,475		1,475							1,475			1,475		1,475			
リサイクル固形化物(13号)																		
石綿含有廃棄物	246		246							246			70	176	246			
安定型混合廃棄物	5,522		5,522							5,522			1,502	4,020	5,522			
管理型混合廃棄物	100		100							100			76	25	100			
混合物等	88		88							88			23	65	88			

(単位：t/年)

表5-2 種類別一発生及び処理・処分状況【令和2年度】（農業を除く）〈西部・児湯〉

(その1)

(単位：t/年)

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理量				自己未処理量				自己未処理の処理内訳				搬出量		自己最終処分量	
				自己中間処理後量				自己未処理の処理内訳				自己未処理の処理内訳				(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	県内	県外
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	委託直接 最終処分量 (E4)	その他量 (E5)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(1)	(2)				
																(D)	(E)	(F)	(G)
合計	246,542	6,965	239,577	99,499	10,698	7,288	3,349	61	141,078	6,292	127,102	7,684	138,195						
燃え殻	788		788	0				0	788		673	115	788						
汚泥	79,907		79,907	70,467	2,205	404	1,741	61	9,441		7,781	1,659	11,242						
有機性汚泥	79,517		79,517	70,311	1,741		1,741		9,206		7,633	1,573	10,946						
無機性汚泥	391		391	156	465	404		61	235		148	87	296						
廃油	1,420		1,420						1,420		1,420		1,420						
一般廃油	1,378		1,378						1,378		1,378		1,378						
廃溶剤	34		34						34		34		34						
固形油																			
油でい																			
油付着物類	8		8						8		8		8						
硫酸	28,419		28,419	13,649					14,770	5,989	8,781		8,781						
廃アルカリ	6,815		6,815						6,815		6,815		6,815						
廃プラスチック類	4,067	209	3,857						3,857		3,252	605	3,857						
廃プラスチック	3,942	209	3,733						3,733		3,128	605	3,733						
廃タイヤ	124		124						124		124		124						
紙くず	33		33						33		29	5	33						
木くず	15,256		15,256	12					15,244		13,935	1,309	15,244						
繊維くず	22		22	0					22		15	7	22						
動植物性残さ	17,495	3,359	14,136	7,487	1,539		1,539		6,649		6,633	16	8,188						
動物系固形不要物	7,558		7,558						7,558		7,558		7,558						
ゴムくず	1		1						1		1		1						
金属くず	4,356	3,397	959						959		952	7	959						
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	1,813		1,813						1,813		609	1,203	1,813						
鋳さい	719		719						719		719		719						
がれき類	76,389		76,389	6,884	6,884	6,884			69,505	303	67,157	2,045	69,202						
コンクリート片	29,254		29,254	25	25	25			29,229		28,574	655	29,229						
廃アスファルト	39,699		39,699	6,859	6,859	6,859			32,840	303	31,977	559	32,537						
その他	7,437		7,437						7,437		6,606	831	7,437						
ばいじん					69														
発着ふん尿																			
発着の死体																			
その他産業廃棄物	1,482	0	1,482						1,482		772	710	1,482						
感染性廃棄物	116		116						116		116		116						
カド・鉛化合物(13号)																			
石棉含有廃棄物	52		52						52				52						
安定型混合廃棄物	1,180	0	1,180						1,180		649	531	1,180						
管理型混合廃棄物	130		130						130		4	126	130						
混合物等	4		4						4		4	0	4						

表5-2 種類別一発生及び処理・処分状況【令和2年度】（農業を除く）〈西部・児湯〉

区 分	委託処理量												再生利用量		最終処分量		その他量		資源化量
	委託中間処理量												(R) (E1+G1+M1)	(Q) (1+O+M2)	(J) (E5+G5)	(S) (B+R)			
	委託直接最終処分量				委託中間処理後量				委託処理後の処理内訳										
	(K) (O+L)		(O)		(L)		業者		自治体		(M)		(M1)		(M2)		(01) (02)	(03)	
	(K)	(O+L)	(O)	(L)	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外			
合計	138,195	7,745	7,745	7,745	0	7,745	130,450	130,450	128,861	1,589	113,465	109,783	3,682	123,363	0	11,427	0	11,427	130,329
燃え殻	788	115	115	673		673	673	673	673		170	107	64	107		179		179	107
汚泥	11,242	1,720	1,720	9,522		9,522	9,522	9,522	9,522		1,428	1,402	26	1,402		1,747		1,747	1,806
有機性汚泥	10,946	1,573	1,573	9,374		9,374	9,374	9,374	9,374		1,402	1,402	0	1,402		1,573		1,573	1,402
無機性汚泥	296	148	148	148		148	148	148	148		27	0	26	0	174		174	404	
廃油	1,420			1,420		1,420	1,420	1,420	1,104	316	1,065	1,065		1,065					1,065
一般廃油	1,378			1,378		1,378	1,378	1,096	282	1,046	1,046		1,046						1,046
廃溶剤	34			34		34	34	34	34		18	18		18					18
固形油																			
油でい				8		8	8	8	8										
油付汚物類	8			8		8	8	8	8										
廃酸	8,781			8,781		8,781	8,781	8,781	8,781	1	8,779	8,779		8,779					14,768
廃アルカリ	6,815			6,815		6,815	6,815	6,559	256	6,740	6,739	1	6,739	1				1	6,739
廃プラスチック類	3,857	605	605	3,252	0	605	3,252	3,181	71	2,471	2,317	154	2,317	154	0	760	0	760	2,526
廃プラスチック	3,733	605	605	3,128	0	605	3,128	3,107	21	2,441	2,287	154	2,287	154	0	760	0	760	2,496
廃タイヤ	124			124		124	124	74	50	30	30	30		30					30
紐くず	33	5	5	29	5	29	29	29	29		9	9		9		5		5	9
木くず	15,244	1,309	1,309	13,935		13,935	13,935	13,935	13,935		12,999	12,959	40	12,959	1,349			1,349	12,959
繊維くず	22	7	7	15		15	15	15	15		4	4		4		7		7	4
動植物性残さ	8,188	16	16	8,172		8,172	8,172	8,029	143	2,093	2,093		2,093	16				16	5,452
動物系固形不要物	7,558			7,558		7,558	7,558	7,558	7,558		7,558	7,558		7,558					7,558
ゴムくず	1	1	1	1		1	1	1	1					1				1	1
金属くず	959	7	7	952		952	952	952	952		951	929	22	929	29			29	4,326
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	1,813	1,203	1,203	609	0	1,203	609	609	609	9	604	563	41	563	1,244			1,244	563
鋸さい	719			719		719	719	719	719		719	719		719					719
がれき類	69,202	2,045	2,045	67,157		67,157	67,157	67,157	67,157		67,154	64,112	3,042	64,112	5,087			5,087	71,299
コンクリート片	29,229	655	655	28,574		28,574	28,574	28,574	28,574		28,574	26,409	2,165	26,409	2,820			2,820	26,434
廃アスファルト	32,537	559	559	31,977		31,977	31,977	31,977	31,977		31,977	31,278	700	31,278	1,259			1,259	38,440
その他	7,437	831	831	6,606		6,606	6,606	6,606	6,606		6,603	6,425	178	6,425	1,009			1,009	6,425
はいじん	69			69		69	69	69	69		69	69		69					69
養畜ふん尿																			
養畜の死体																			
その他産業廃棄物	1,482	710	710	772		772	772	767	5	652	360	293	360	1,003				1,003	360
感染性廃棄物	116			116		116	116	116											
カド・放射性物質(13号)																			
石綿含有廃棄物	52	52	52	52		52	52	52										52	52
安定型混合廃棄物	1,180	531	531	649		649	649	645	4	647	355	292	355	823				823	355
管理型混合廃棄物	130	126	126	126		126	126	4	0	4	3	0	3	127				127	3
混合物等	4	0	0	4		4	4	2	1	2	2	0	2	1				1	2

(単位：t/年)

表5-4 種類別一発生及び処理・処分状況【令和2年度】（農業を除く）〈日南・串間〉

(その1)

(単位：t/年)

区分 種類	発生量		有償物量		排出量		自己中間処理量				自己未処理量				搬出量				自己最終処分量																
	(A) (B+C)		(B)		(C) (D+E)		自己中間処理後量				自己未処理後量				(自己未処理の処理内訳)				(1) (E2+G2)																
	(A)		(B)		(C)		(D)		(E)		(E2)		(E3)		(E4)		(E5)		(G)		(G1)		(G2)		(G3)		(G4)		(G5)		(H) (I+K+J)		(I) (E2+G2)		
	161,251		14,423		146,828		60,631		3,551		14		511		3,005		15		6		86,197		243		79,858		4,325		1,771		89,735		755		
燃え殻	5,733		5,733		5,733		3,456		3,456		6		2,929		10		6		5,733		67		3,886		9		1,771		9,189		578				
汚泥	61,905	538	61,367	57,536	78		78		78		5		73		5		5		3,831		67		1,468		2,363		3,909								
有機性汚泥	59,039		59,039	57,480	66		66		66				66						1,559				1,457		102		1,625								
無機性汚泥	2,866		2,328	57	13		13		13				8		5				2,271				10		2,261		2,284								
漆油	201		27	173															173				173				173								
一般廃油	192		26	166															166				166				166								
廃溶剤	3		1	2															2				2				2								
固形油																																			
油でい	6			6															6				6				6								
油付着物類	1			1															1				1				1								
廃酸	0			0															0				0				0								
廃アルカリ	1,411	153	1,258	14	14		14		14		14		14						1,244				941		303		1,244								
廃プラスチック類	1,382	153	1,229	14	14		14		14		14		14						1,215				912		303		1,215								
廃プラスチック	29		29																29				29				29								
廃タイヤ	741		734	7															7				6		1		7								
紙くず	6,497		6,497	3,079	3		3		3				3						3,417				3,411		6		3,420								
木くず	78		78	1															77				72		5		77								
繊維くず																																			
動物性残渣																																			
動物系固形不要物																																			
ゴムくず	475	149	326																326				326				326								
金属くず	13,158	12,821	337																337				211		126		337								
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	390		390																390				175		215		390								
鋳さい																																			
がれき類	48,633		48,633																48,633				47,897		736		48,633								
コンクリート片	18,477		18,477																18,477				18,457		20		18,477								
廃アスファルト	26,654		26,654																26,654				26,654				26,654								
その他	3,501		3,501																3,501				2,786		716		3,501								
ばいじん	21,103		21,103																21,103				20,926				21,103								
発着ふん尿																																			
発着の死体																																			
その他産業廃棄物	926		926																926				366		560		926								
感染性廃棄物	118		118																118				118				118								
カドニド固形化物(13号)																																			
石棉含有廃棄物	85		85																85				4		81		85								
安定型混合廃棄物	687		687																687				243		444		687								
管理型混合廃棄物	34		34																34					34			34								
混合物等	2		2																2				1		1		2								

表5-5 種類別一発生及び処理・処分状況【令和2年度】（農業を除く）〈都城・北諸県〉

(その1)

(単位：t/年)

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理量				自己未処理量				搬出量				自己最終処分量	
				自己中間処理後量				自己未処理後量				自己未処理の処理内訳				自己最終処分内訳	
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	委託中間 処理量 (E3)	その他量 (E4)	再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	委託中間 処理量 (G3)	委託直接 最終処分量 (G4)	その他量 (G5)	(H) (I+K+J)	(I) (E2+G2)	県内	県外	
																	(D)
合計	461,042	44,940	416,102	275,148	18,917	1,315	17,481	120	140,955	10	1	128,874	12,070	158,547	1	1	
燃え殻	362		362		449		335	114	362			362		811			
汚泥	104,125	53	104,072	78,456	6,456		6,450	7	25,616			25,157	459	32,073			
有機性汚泥	96,783	53	96,730	77,653	6,351		6,351	0	19,077			18,981	96	25,428			
無機性汚泥	7,342		7,342	803	105		99	6	6,539			6,175	364	6,644			
廃油	1,015	275	740						740			740		740			
一般廃油	917	221	697						697			697		697			
廃溶剤	20		20						20			20		20			
固形油	21		21						21			21		21			
油でい	55		55														
油付着物類	1		1						1			1		1			
硫酸	185,528	5,771	179,757	172,758	10,256		10,256		6,999			6,999		17,256			
廃アルカリ	4,195		4,195						4,195			4,195		4,195			
廃プラスチック類	16,168	735	15,433	780	1		1		14,653			11,804	2,848	14,654	1	1	
廃プラスチック	15,307	715	14,592	10	1		1		14,583			11,733	2,848	14,584	1	1	
廃タイヤ	861	20	841	770					71			71		71			
紙くず	33		33						33			28	5	33			
木くず	63,056	35,614	27,442	20,232	85	41	44		7,211			6,985	226	7,255			
繊維くず	5		5						5			4	1	5			
動植物性残さ	5,101	689	4,412	1,338	85		85		3,074			2,973	101	3,159			
動物系固形不要物	5,220		5,220						5,220			5,220		5,220			
ゴムくず																	
金属くず	2,326	1,783	543						543			271	272	543			
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	1,694		1,694	306	306		306		1,388			904	484	1,694			
鋳さい																	
がれき類	68,698		68,698	1,278	1,278	1,274	4		67,419	10		60,786	6,624	67,414			
コンクリート片	14,569		14,569	1,225	1,225	1,221	4		13,344	10		11,211	2,123	13,339			
廃アスファルト	47,800		47,800	53	53	53			47,747			47,447	300	47,747			
その他	6,328		6,328						6,328			2,129	4,200	6,328			
ばいじん	43		43						43			2	41	43			
養蚕ふん尿																	
養蚕の死体																	
その他産業廃棄物	3,474	20	3,453	0	0		0		3,453			2,808	645	3,453			
感染性廃棄物	1,208		1,208						1,208			1,208		1,208			
カド・ト固形化物(13号)																	
石棉含有廃棄物	112		112						112					112			
安定型混合廃棄物	1,675		1,675						1,675			1,472	203	1,675			
管理型混合廃棄物	328		328						328			4	324	328			
混合物等	150	20	130	0	0		0		130			124	6	130			

表5-6 種類別一発生及び処理・処分状況【令和2年度】（農業を除く）〈西諸県〉

(その1)

(単位：t/年)

区分	発生量 (A) (B+C)	有償物量 (B)	排出量 (C) (D+E)	自己中間処理量						自己未処理量						搬出量		自己最終処分量	
				自己中間処理後量			自己中間処理後の処理内訳			再生利用量 (G1)	自己最終 処分量 (G2)	自己最終 処分量 (G)	(自己未処理の処理内訳)			再生利用量 (H1+K+J)	自己最終処分量 (H2+G2)	(H)	(I)
				再生利用量 (E1)	自己最終 処分量 (E2)	自己最終 処分量 (E3)	委託中間 処理量 (E4)	委託中間 処理量 (E5)	委託中間 処理量 (G3)				委託中間 処理量 (G4)	委託中間 処理量 (G5)					
										(D)	(E)	(E)			(E)	(E)	(G)	(G)	(G)
合計	122,121	5,119	117,003	23,120	5,007	3,473	1,363	170	170	93,883	37	0	91,088	2,757	95,379	0	0		
燃え殻					178			161							178				
汚泥	29,220		29,220	18,657	957		947	10		10,563	37		9,661	864	11,482				
有機性汚泥	28,328		28,328	18,450	888		888			9,878	37		9,606	234	10,728				
無機性汚泥	892		892	207	69		59	10		685			56	630	754				
漆油	416	2	414							414			414		414				
一般廃油	347	2	345							345			345		345				
廃溶剤																			
固形油	69		69							69			69		69				
油でい																			
油付着物類																			
硫酸	429		429							429			429		429				
廃アルカリ	3,124		3,124							3,124			3,124		3,124				
廃プラスチック類	1,845	134	1,710							1,710			1,438	272	1,710				
廃プラスチック	1,845	134	1,710							1,710			1,438	272	1,710				
廃タイヤ																			
紙くず	3		3	1						2			2		2				
木くず	12,588	3,445	9,143	603	225	225				8,540			8,373	167	8,540				
繊維くず	12		12	0						11			1	10	11				
動植物性残さ	5,956	1,231	4,725	610	400	400				4,115			4,115		4,514				
動物系固形不要物	12		12							12			12		12				
ゴムくず																			
金属くず	1,684	288	1,396							1,396			1,380	17	1,396				
ガラス・セラミック・陶磁器くず	588		588	67	67	67				522			109	412	522	0	0		
銅さい																			
がれき類	65,183		65,183	3,181	3,181	3,181				62,002			61,749	253	62,002				
コンクリート片	23,997		23,997	1,922	1,922	1,922				22,074			21,951	123	22,074				
廃プラスチック	40,079		40,079	1,259	1,259	1,259				38,820			38,820		38,820				
その他	1,108		1,108							1,108			978	130	1,108				
はいじん																			
発着ふん尿																			
発着の死体																			
その他産業廃棄物	1,062	19	1,043							1,043			282	762	1,043				
感染性廃棄物	79		79							79			79		79				
カド・放射性物質(13号)																			
石棉含有廃棄物	193		193							193			2	191	193				
安定型混合廃棄物	374		374							374			182	192	374				
管理型混合廃棄物	393		393							393			17	376	393				
混合物等	25	19	5							5			2	3	5				

表7-1 種類別一発生及び処理・処分状況【令和2年度】（農業を含む）

(その1)

区 分 種 類	発生量			有償物量			排出量			自己中間処理量			自己中間処理後量			自己未処理量			自己未処理の処理内訳			搬出量			自己最終処分量					
	(A)			(B)			(C)			(D)			(E)			(F)			(G)			(H)			(I)	(J)				
	(B+C)			(D+E)			(F+G)			(H+I)			(J+K)			(L+M)			(N+O)			(P)	(Q)							
	再生利用量	自己最終処分量	その他量	再生利用量	自己最終処分量	その他量	再生利用量	自己最終処分量	その他量	再生利用量	自己最終処分量	その他量	再生利用量	自己最終処分量	委託中間処理量	委託直接最終処分量	その他量	再生利用量	自己最終処分量	委託中間処理量	委託直接最終処分量			その他量	再生利用量	自己最終処分量	委託中間処理量	委託直接最終処分量	その他量	
(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(E6)	(E7)	(E8)	(E9)	(E10)	(E11)	(E12)	(E13)	(E14)	(E15)	(E16)	(E17)	(E18)	(E19)	(E20)	(E21)	(E22)	(E23)	(E24)	(E25)	(E26)	(E27)	(E28)	(E29)	(E30)	
合計	6,246,619	401,327	5,845,292	1,874,494	324,213	276,786	511	216,728	1,396	6	3,970,798	2,665,667	33,999	1,025,549	72,466	1,902	1,352,558	34,511	34,511											
燃え殻	15,986	1,632	14,355	5,957	118	4,563	511	4,563	759	6	14,355	1,459	67	10,953	1,459	1,875	18,194	578	578											
汚泥	822,454	970	821,484	660,019	26,587	3,661	91	22,834	91	0	161,464	37		153,674	7,753	184,352														
有機性汚泥	719,869	432	719,437	581,191	19,025	719		18,297	9		138,246	37		135,515	2,693	156,515														
無機性汚泥	102,585	538	102,047	78,828	7,562	2,943	82	4,537	82	0	23,218			18,158	5,060	27,838														
汚油	49,587	5,922	43,665	20,956	4	4	4				22,709	4,428		18,273		18,281														
一般廃油	23,368	5,866	17,502								17,502			17,495		17,502														
廃溶剤	265	2	263	4	4	4	4				260			260		260														
固形油	33		33								33			33		33														
油でい	24,875	55	24,821	20,189							4,632	4,428		203		203														
油付着物類	1,046		1,046	763							283			283		283														
廃酸	243,041	5,952	237,089	210,011	18,148	7,892		10,256			27,078	5,989		21,089		31,345														
廃アルカリ	30,431		30,431	365							30,065			30,065		30,065														
廃プラスチック類	73,991	7,603	66,388	4,549	3,770	14	14	3,756			61,839		4	53,631	8,203	65,595														
廃プラスチック	65,270	7,583	57,687	475	466	14	14	452			57,212		4	49,005	8,203	57,664														
廃タイヤ	8,721	20	8,701	4,074	3,304			3,304			4,627			4,626	0	7,931														
紙くず	1,617	740	877	12							866			848	18	866														
木くず	148,059	39,602	108,457	35,418	3,967	3,913		53			73,039			70,600	2,439	73,092														
繊維くず	6,976	3,861	3,115	11							3,104			3,070	35	3,104														
動植物性残さ	42,467	5,848	36,618	10,809	2,162	138		2,024			25,809			25,681	129	27,833														
動物系固形不要物	12,790		12,790								12,790			12,790		12,790														
ゴムくず	498	149	349								349			347	1	349														
金属くず	39,122	28,857	10,264	557	557						9,707			8,868	840	10,264														
ガラス・コカイト・陶磁器くず	28,124	0	28,124	372	372						27,752			18,128	9,624	28,057														
銅さい	34,473		34,473								34,473			719	4	34,473														
がれき類	568,442		568,442	35,500	35,080	35,031	49				532,942	313	2	505,181	27,447	532,679														
コンクリート片	261,794		261,794	11,554	11,134	11,084	49				250,240	10		237,603	12,627	250,280														
廃アスファルト	269,136		269,136	23,946	23,946	23,946					245,190	303		243,213	1,674	244,887														
その他	37,511		37,511								37,511		2	24,364	13,146	37,511														
ばいじん	60,261		60,261	1,661	1,661						60,261		176	60,044	41	61,922														
発着ふん尿	4,022,178	300,149	3,722,029	895,915	225,949	225,949		171,214			2,826,114	2,654,900				171,214														
畜舎の死体	12,497		12,497								12,497			12,497		12,497														
その他産業廃棄物	33,625	40	33,585	0	0			0			33,585		1	19,092	14,472	33,585														
感染性廃棄物	4,993		4,993								4,993			4,993		4,993														
シカド固形化物(13号)																														
石棉含有廃棄物	865		865								865			147	719	865														
安定型混合廃棄物	24,281	0	24,281								24,281		1	11,744	12,516	24,281														
管理型混合廃棄物	1,928		1,928								1,928			813	1,115	1,928														
混合物等	1,559	40	1,518	0	0			0			1,518			123	0	1,518														

(単位: t/年)

